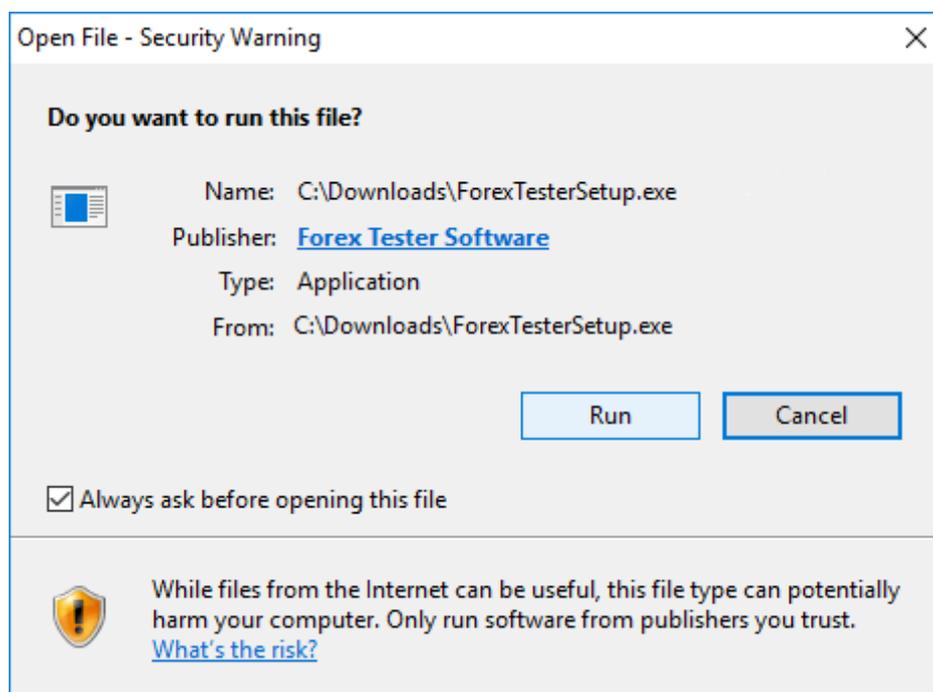


Forex Tester5のダウンロードとインストール方法

フォレックステスター5バージョンをインストールするには、ソフトウェアをダウンロードする必要があります。

ファイルを保存したら、ファイルをダブルクリックして、インストーラーが立ち上がったら実行ボタンをクリック。プログラムがPCへ変更を加えてよいか、聞いて来た場合は"はい"をクリック。

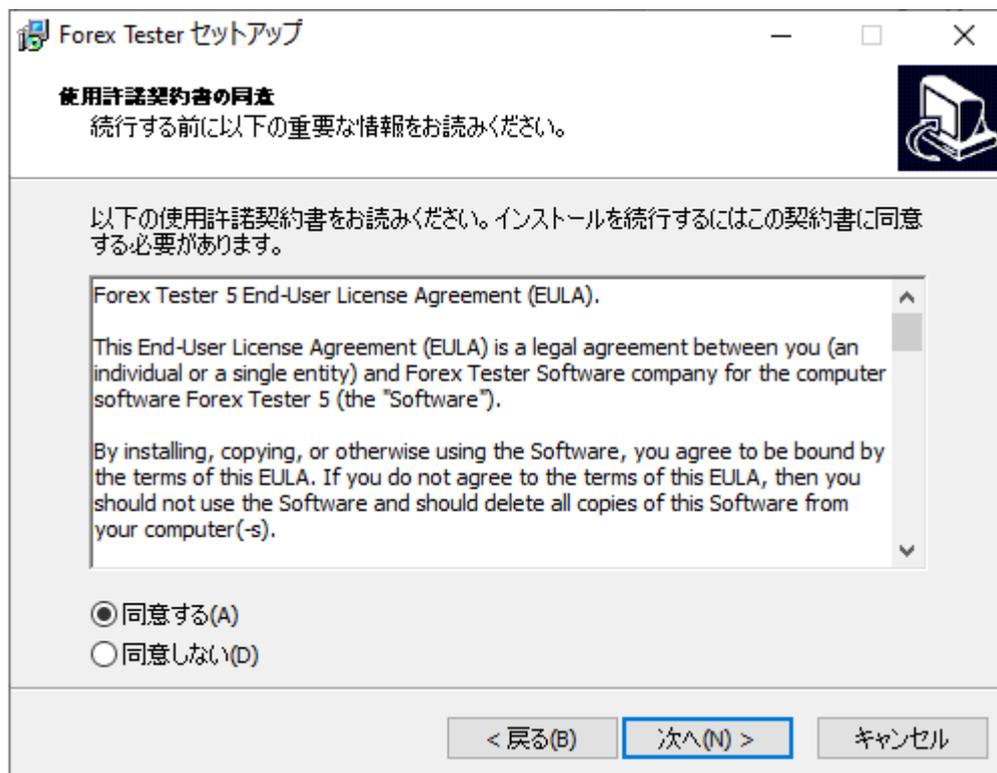


Forex Testerのセットアップウィンドウがでたら、"次へ (N)"をクリック

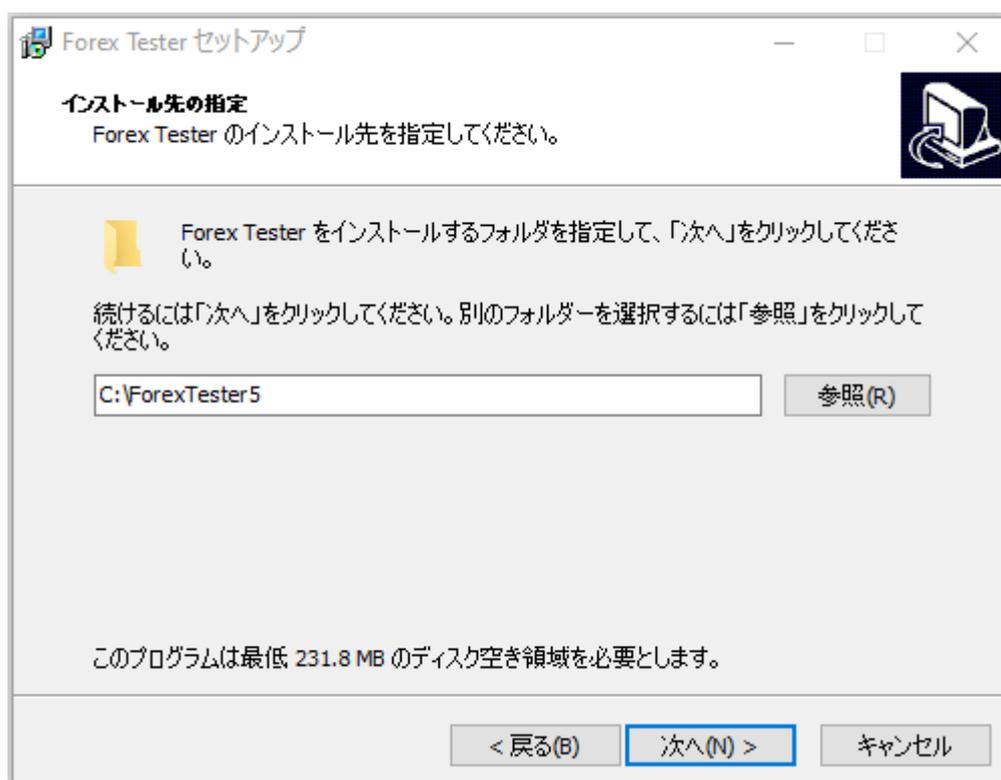


エンドユーザーライセンスを一読し、同意される場合は“同意する(A)”を選択し“次へ(N)”をクリック

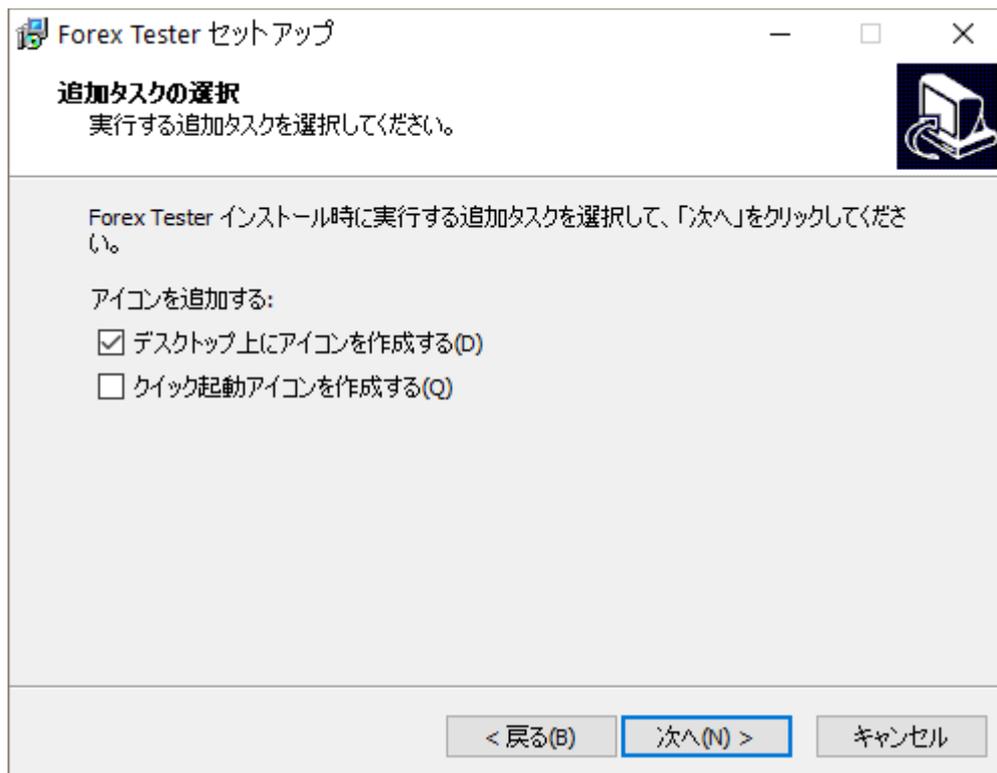
次の画面で“次へ(N)”をクリック



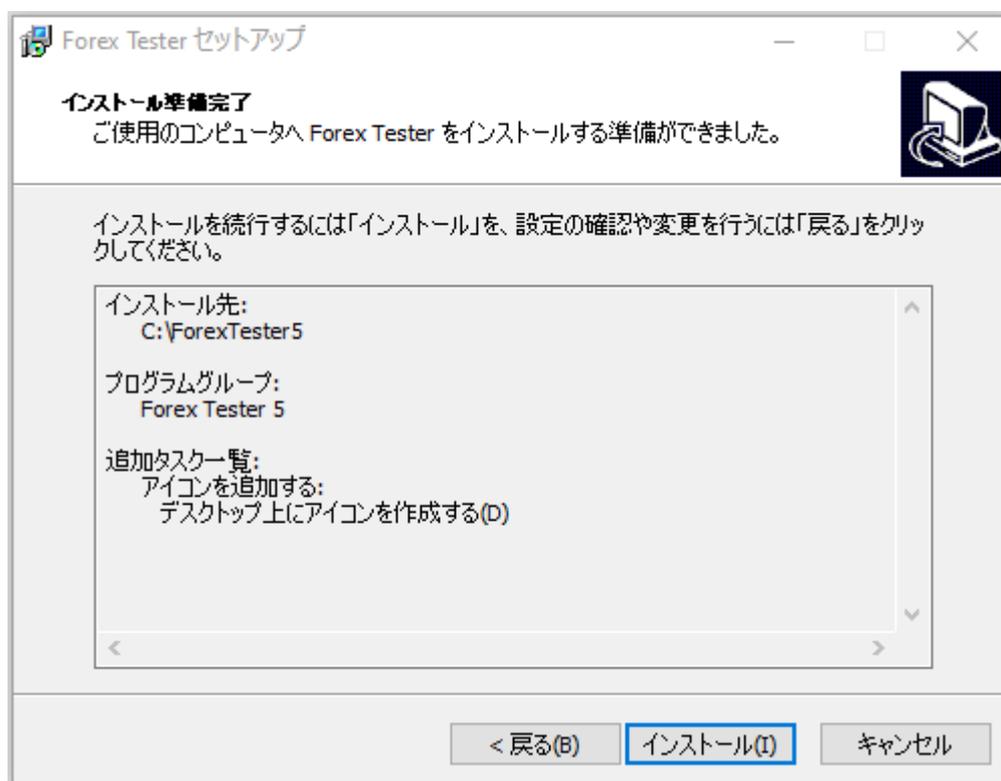
Forex Tester5をインストールするフォルダを選び、“次へ(N)”ボタンをクリック。
フォレックステスター5は デフォルト設定でのインストールを推奨(C:\ForexTester5)。
Cデスクのプログラムフォルダ(C:\Program Files\)の中へForex
Tester5をインストールすると、不具合が起きる可能性が高いため、お勧めしていません。



デスクトップアイコンを作る場合は、"デスクトップアイコンを作成する(D)"にチェックを入れたままにし"次へ(N)"をクリック。



そして、次の画面で"インストール(I)"ボタンをクリック。

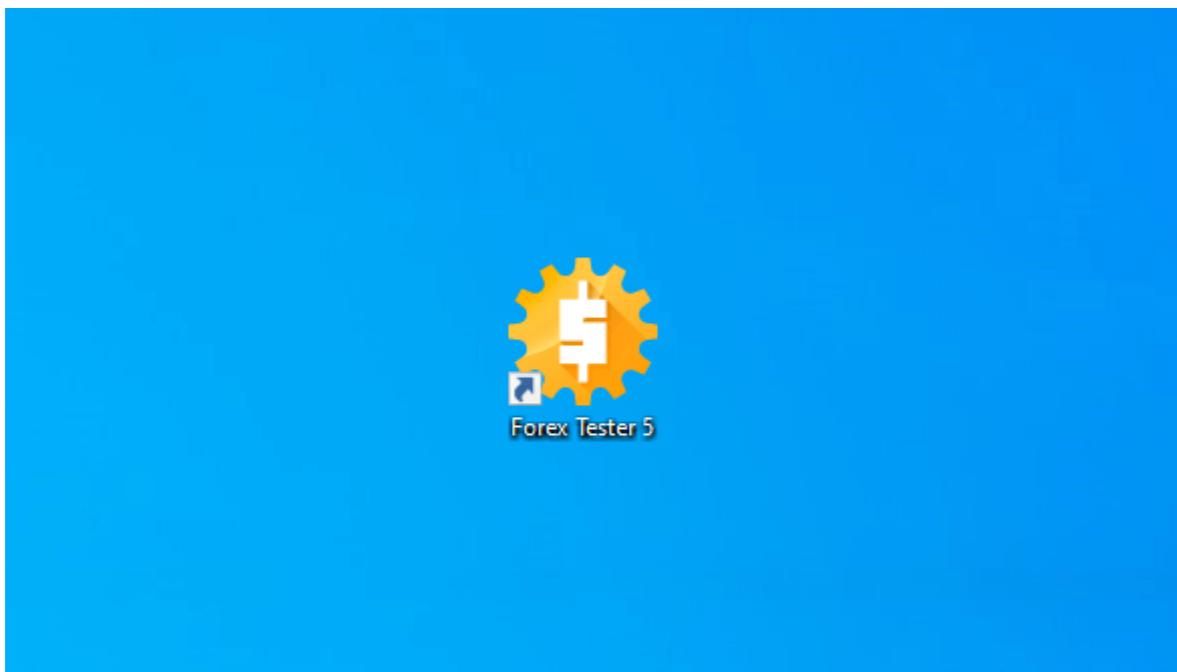


インストールされるまで、少々お待ちください。インストール終了後、"Forex Testerを実行する"オプションをそのままにし、"完了(F)"ボタンをクリックして、Forex Tester5を起動する。もしくは、"Forex Testerを実行する"のチェックをはずし、後でForex Tester5を起動する。



これで終了です。あなたのPCにインストールされました。

デスクトップアイコンを作る選択をした場合は、このアイコンがPC上にでていることでしょう。



チャート調整

フォレックステスターのチャート・ディスプレイ・モードは、6つあります。チャートタブから、ライン・バー・ローソク足の3つの組み合わせで選べます。

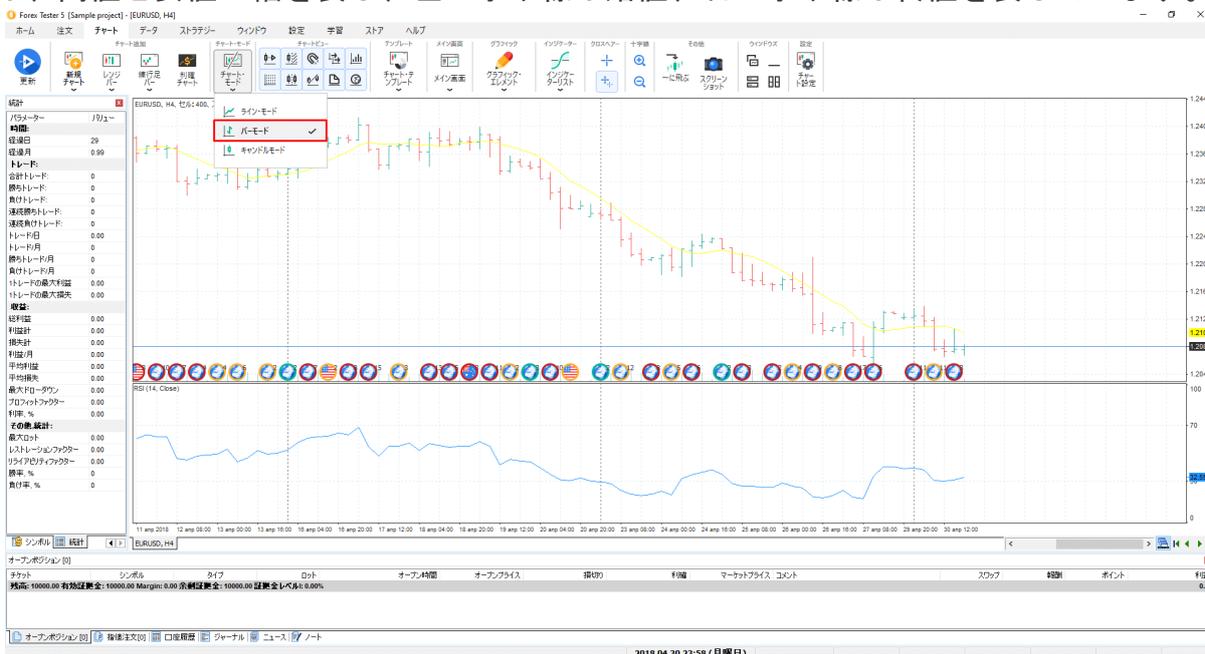


1つ目はキャンドルモードです。フォレックステスターのデフォルトの設定は、ローソク足です。ローソク足は2色の四角に、上ひげや下ひげがついています。

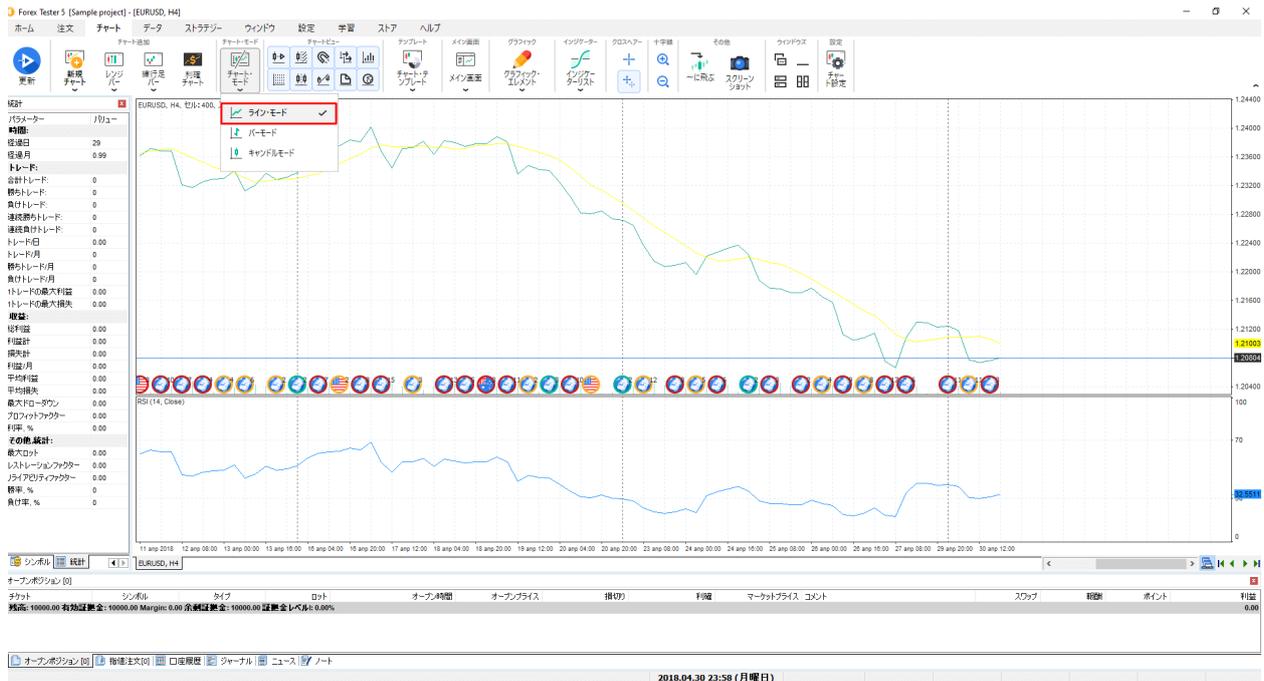


2つ目はバーモードです。

このモードは垂直線に水平の区切りがついたバーで構成されます。垂直線は、高値と安値の幅を表し、左の水平線は始値、右の水平線は終値を表しています。



ラインモードは、すべての終値を結ぶ曲線からなる3番目のタイプのチャートです。



4つ目はレンジバーモードです。デフォルト設定の変更には、チャート→レンジバー・ボタンをクリック→レンジバー・チャートを開きたい通貨ペアをクリックしてください。

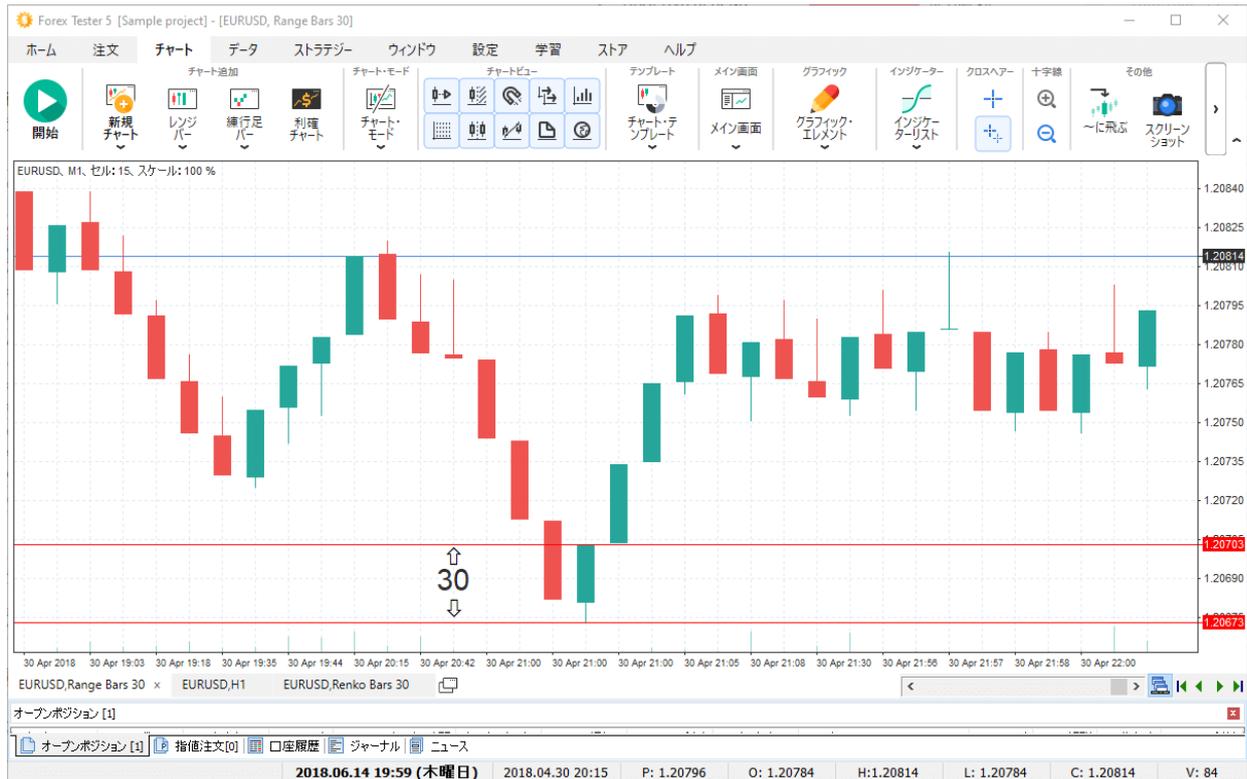


この後、Forex Testerは"レンジバーサイズ"を聞いてきます。数値をいれ、OKをクリックしてください。

レンジバーサイズ: ✕

レンジバーサイズ(ポイント): ↑ ↓

各ロウソク足、またはバーのスペリッドは、入力した数値と同じになります。



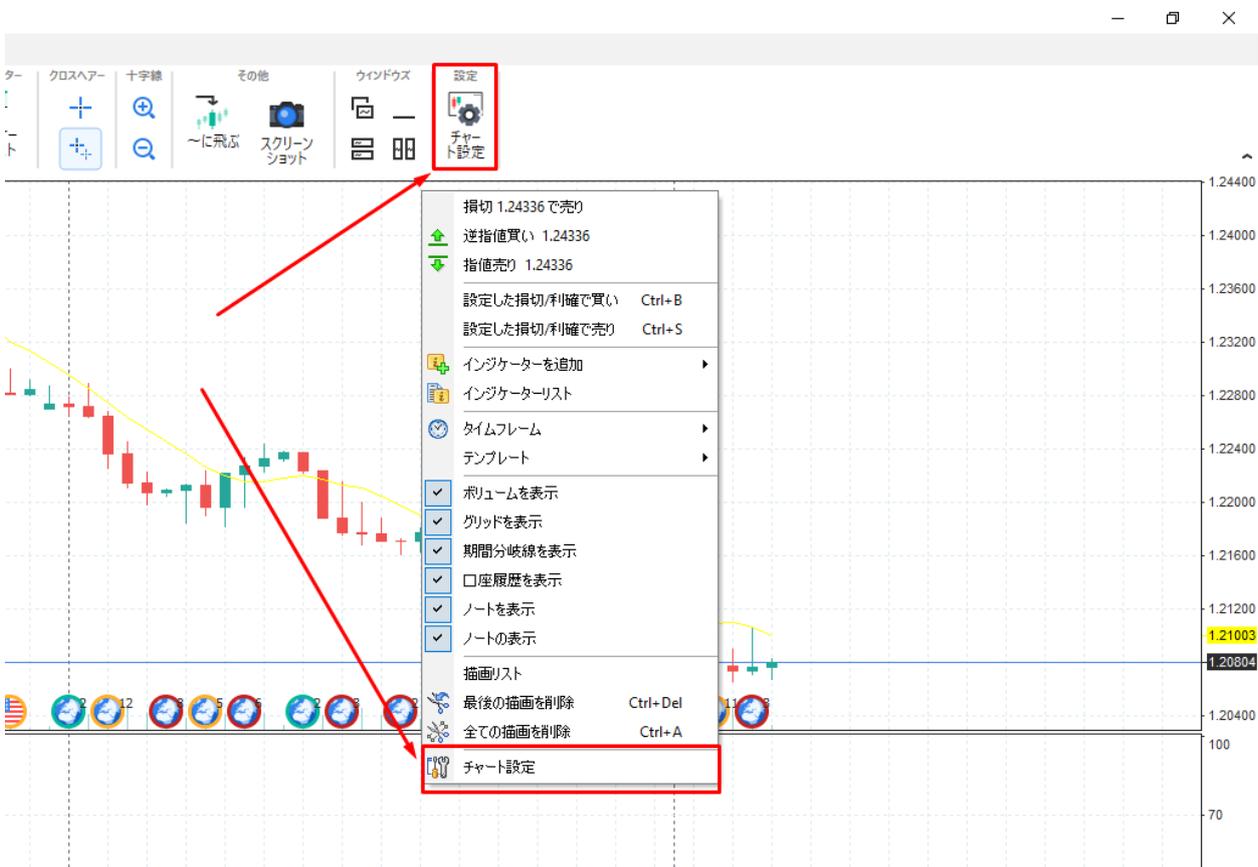
5つ目のモードは、レンコーバーモードです。特定通貨の練行足チャートを開く場合、チャート→練行足バーボタン→必要なシンボルを選択してください。開いたウィンドウでpip数を指定し、OKを押してください。練行足バーには線がなく、ローソク足本体の数値でサイズが定義されます。



最後に、6番目のモードはティックチャートモードです。これは、現在のデータ範囲の中における価格の変化を表示します。ティックチャートに戻るためには、画面上部左側の”ティック”タブをクリックしてください。



初期設定では、陽線は黒色でライム色の枠線になっています。陰線は白色でライム色の枠線になっています。ローソク足の色やチャートの背景は変更可能です。チャートの上で右クリックをして、"チャート設定"オプションを選択してください(または、チャート→チャート設定ボタンを使ってください。)



Forex Testerには、9つの配色設定が組み込まれています。試しに、デフォルトの配色を、"Black on White"の配色に変更してみましょう。

この設定にすると、ロウソク足の枠を黒にし、配色を変更します。

陽線は白に、陰線は黒になります。



下記の配色を変更です。

- 背景色
- フレームとテキスト
- グリッド
- ロウソク足の枠線
- ロウソク足のボディーの色
- 期間区切り線

"その他の色"タブで、チャート上に表示されるその他の重要なラインの色を変更できます。

デフォルトでは、損切、利確、負け取引、買いマーカは赤色に設定されています。

その他の項目（注文レベル、勝ち取引、売りマーカ、ボリューム）は緑色になっています。

これらの色は、右についているドロップダウンメニューから、お好きな色に変更ができます。



また、"チャート設定"タブでは、各オプションの表示/非表示を選択できます。

"ボリュームを表示"のチェックをはずすと、ボリュームインジケータが消えます。

ポジションを入れて決済すると、エントリーと決済ポイントが線につながります。

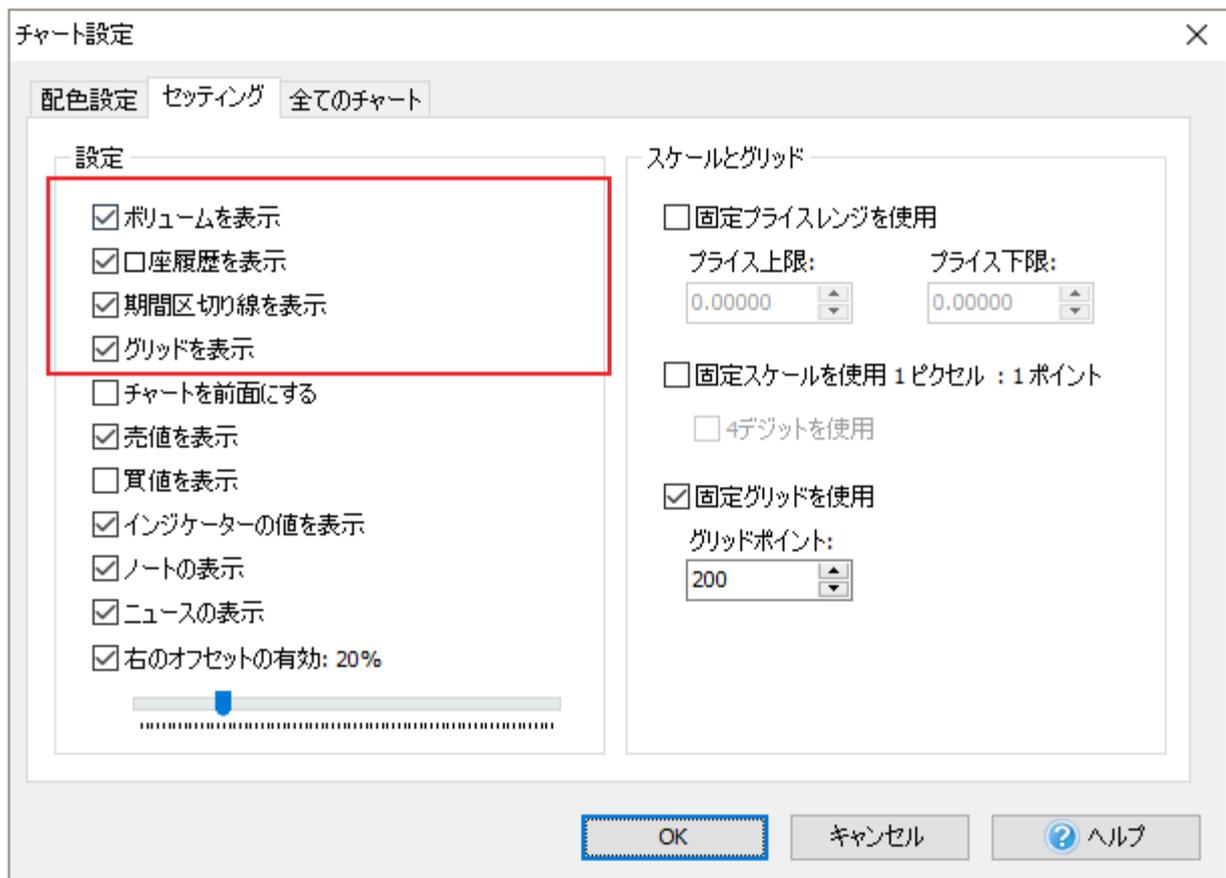
この線も消すことができます。

このラインを消したい場合は、チャート上で右クリックをしてチャート設定をだし、"チャート設定"タブにある"口座履歴を表示"のチェックをはずしてください。

"期間区切り線を表示"にチェックが入っていると、1日の終わりに垂直のドット線が表示されます。"グリッド"も非表示にできます。

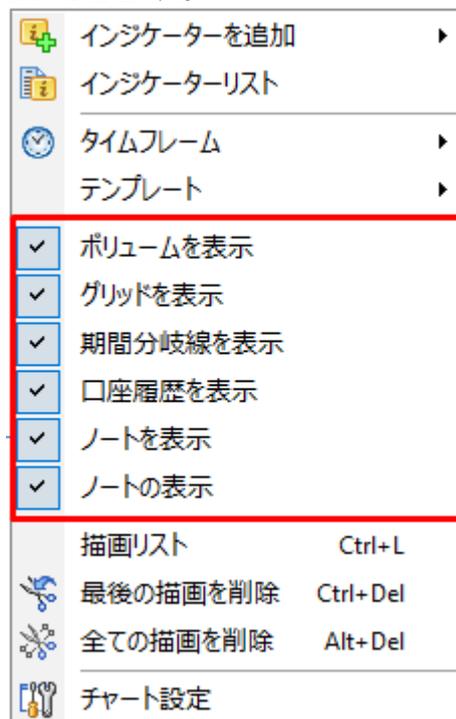
グリッドはチャート上に表示される四角のドット線で、プライスなどを目視するのを助けます。

グリッドはロウソク足のプライスと時間を確認するときに役立ちます。



"期間区切り線"は1日の始まりに表示される垂直なドット線です。
 グリッドは四角のドット線で、チャートのある箇所のプライスなどを把握するときに便利です。

また、"ボリューム"、"口座履歴"、"グリッド"、"期間区切り線"は、チャートを右クリックしたウィンドウから、表示/非表示することができます。



チャートタブ→チャート・ビューからも、オプションの設定状況を確認・変更できます。



インジケータや口座履歴をロウソク足の下に表示したい場合は、"チャートを前面にする"にチェックを入れてください。

売値は売り注文を入れたときに入る売り価格を表示するラインです。

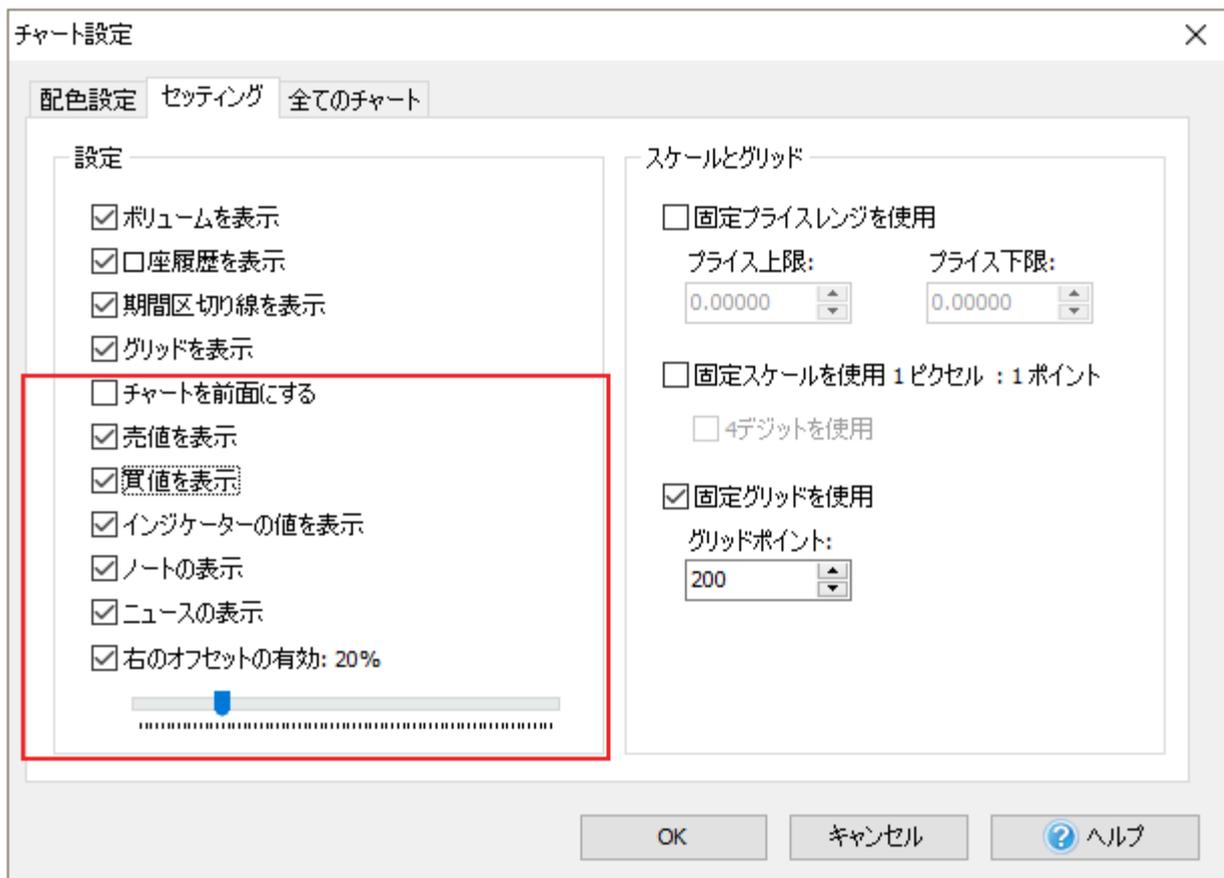
同じように、買値は買い注文を入れたときに入る買い価格を表示します。

"チャート設定"タブからこのラインの表示/非表示ができます。

インジケータをチャートにいれている場合、現在の価格が価格軸に赤く表示されます。"指標バリューを表示する"というこれらのオプションから有効化/無効化を行うことができます。

右のオフセットとは、価格軸と最新のロウソク足のスペースのことです。右のオフセットのチェックをはずすと、ロウソク足と価格軸の間にスペースはなくなります。

スクロールバーを使って、空白の広さを変更できます。



"固定プライスレンジを使用"にチェックを入れ、チャートの上限と下限の数値を設定すれば、チャートはそのプライスレンジに固定されて表示されます。

"固定スケールを使用

1ピクセル:1ポイント"のチェックをはずすと、チャートの最高値と最安値が常時表示されるようになります。

この機能にチェックを入れると、ロウソク足の高さが変更されます。この変更はお使いのPCのモニター解像度に依存します。

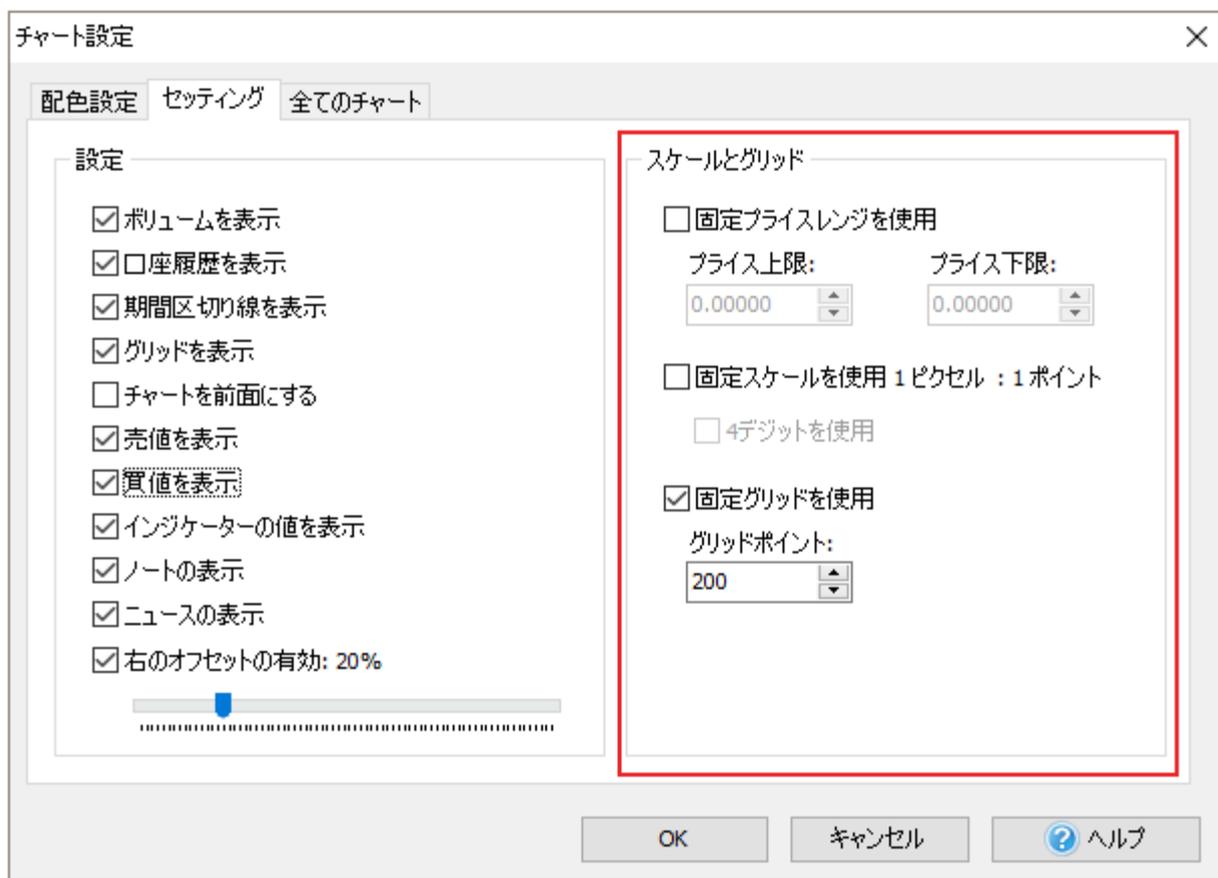
初期値では、水平線のグリッドは5pipsごとに描かれます。

この数値を変更したい場合は、"固定グリッドを使用"にチェックを入れ、お好きな数字を入力してください。たとえば、固定グリッドを"30"に設定したとします。

すぐにグリッドの間が広がったことに気がつくでしょう。

"ラインに対するマウス感度"をテストしたいなら、まずは、チャートヘラインを引いてみてください。ラインをダブルクリックした後、ラインをドラッグして動かしてみてください。

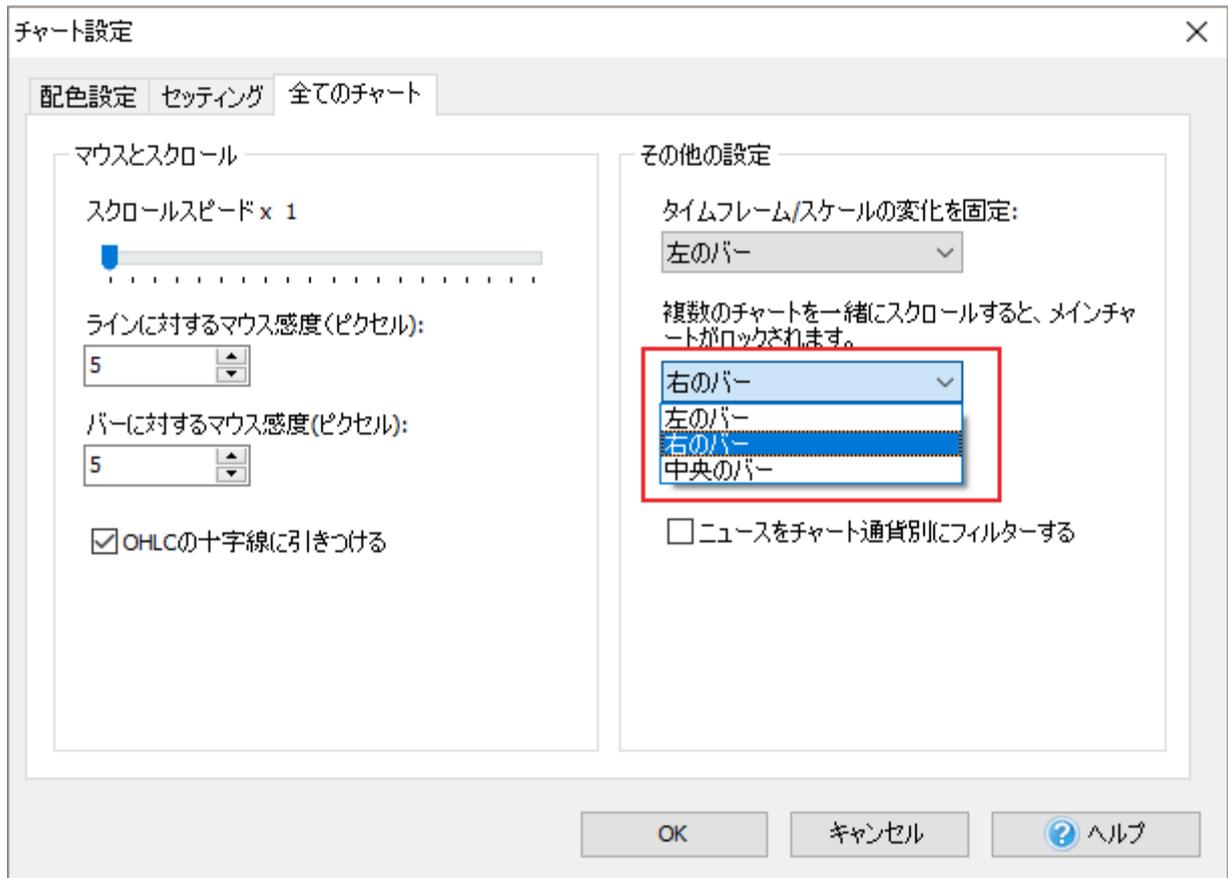
"ラインに対するマウス感度"が3なら、ラインから3ピクセル離れていてもドラッグできるようになります。



[すべてのチャート]タブでは、スクロール速度、マウスおよびマグネットの感度、チャートの同期配置の種類、ローソク足の太さ、および時間枠や目盛が変わったときのチャートの配置を変更できます。

もしスクロールスピードを10にしたら、初期値の"1"よりも10倍早くスクロールすることに気がつきます。

この設定を試したいなら、チャート上で左クリックをしたまま、マウスを左右に動かしてみてください。スクロールスピードが変わったことが分かります。



同じ通貨ペアのすべてのチャートはデフォルトで同期され、同じタイムフレーム内でスクロールします。他のチャートはすべて正しい計算で自動的にスクロールされます。

たとえば、H1タイムフレームで1ローソク足分、前方にスクロールしている間、M5タイムフレームチャートはそれぞれ12本前方にスクロールされます。

チャートの下のスクロールツールバーにあるボタンをクリックして、同期スクロールを有効/無効にすることができます。



チャートを縮小して、ロウソク足をもっと表示させるには下記の方法があります。

1. ツールバーの"チャートスケールを縮小"ボタンをクリック
2. メニューバーから、"表示 --> 縮小"をクリック
3. キーボードのマイナスポタンをクリック

ロウソク足を大きく表示させる方法は下記の通りです。

1. ツールバーの"チャートスケールを拡大"ボタンをクリック
2. メニューバーから、"表示 --> 拡大"をクリック
3. キーボードのプラスボタンをクリック

時間枠ウィンドウの配置を変えるには、ウィンドウ→配置を変更できます。チャートタブからも時間枠ウィンドウの配置が変更られます。

1. "重ねて表示"は、チャートを少しづらしながら重ねていきます。
2. "水平分割"は、左から右にチャートを配置していきます。
3. "垂直分割"は、上から下へチャートを配置していきます。
4. "全てを最小化"をクリックし、すべての時間枠ウィンドウをメイン画面で最小化します。
5. "復元する"をクリックして、最小化したウィンドウを通常モードに戻します。

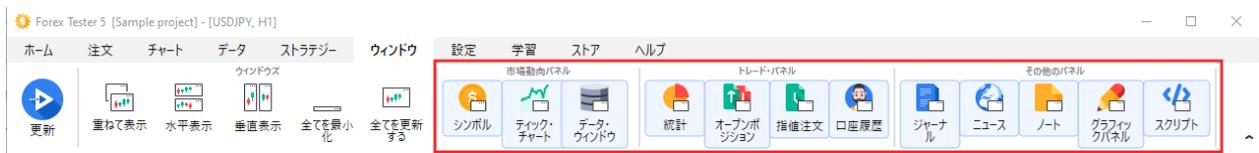


Forex Testerに入っている12つのパネルは、いつでも有効/無効に切り替えられます。

必要なパネルを表示/非表示にするには、ウィンドウ→必要なパネルボタンをクリックしてください。

1. "シンボル"パネルは、現在のプロジェクトに入っている通貨ペア名がリストされます。売値、買値、スプレッドも表示されます。
2. "ティックチャート"は、ロウソク足の価格の変更を表示します。
3. "データ"ウィンドウは、現在のロウソク足の情報が表示されます。日付、ロウソク足の時間、始値、安値、高値、終値、ボリューム、バーインデックスです。
ロウソク足の情報をみるには、カーソルをそのロウソク足まで持って行ってください。
常にロウソク足の情報を表示させておきたいのであれば、"ロックインデックス"にチェックを入れ、表示させたいバーの番号を設定してください。
ロウソク足は、0からカウントします。1ではありません。また、右から左に向かってカウントします。
4. "統計"ウィンドウでは、ストラテジーのパフォーマンスについて各種情報が表示されます。
5. "オープンポジション"タブは、すべてのオープンポジションを表示します。
6. "指値注文"タブは、すべての指値/逆指値注文を表示します。

- "口座履歴"タブは、決済した注文の一覧です。
- "ジャーナル"は技術的な情報を表示します。インジケーターのロード、注文の執行、変更、決済、テストの開始など。



"ジャーナル"の記載内容を消したい場合は、ツールバーの"ジャーナルを消す"ボタンをクリックしてください。

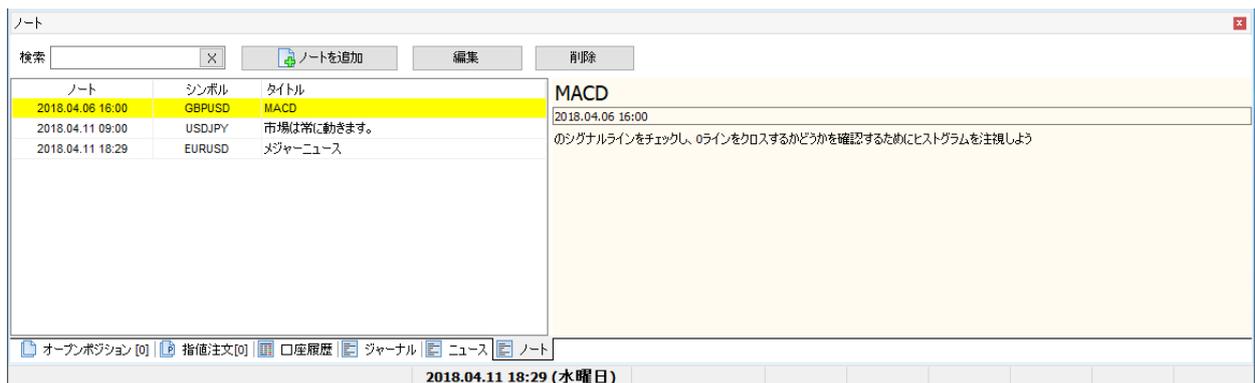
9. "ニュース"-

カレンダー上のニュースの詳細情報を知るには、**をクリックすると**、フォレックステスターで用いるニュースの詳細が読めます。

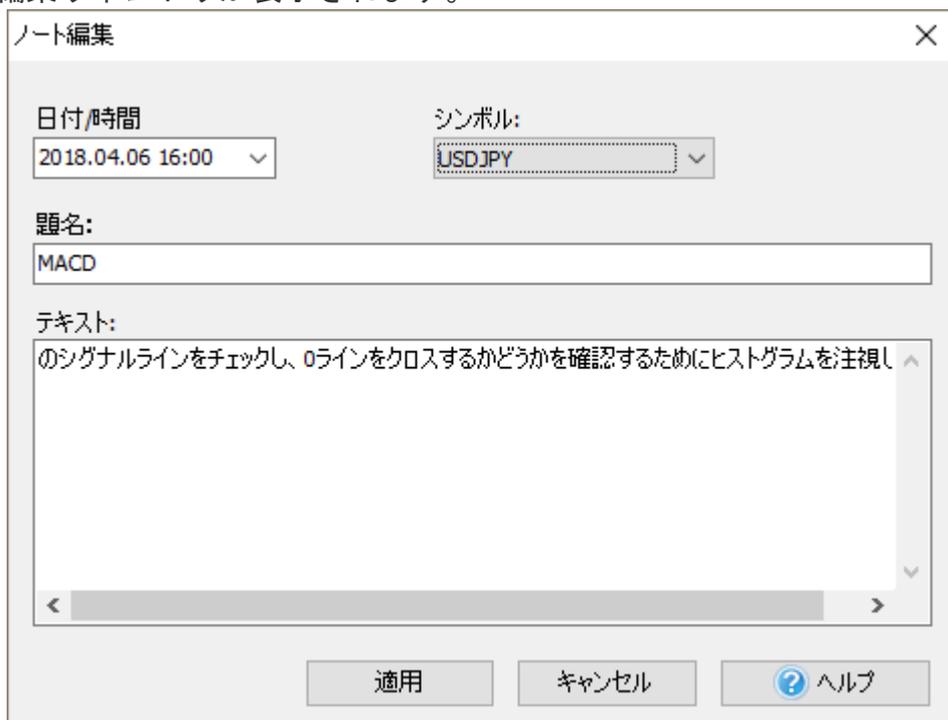
10."メモ帳"ここで、[メモを追加]ボタンを使用してメモを作成したり、作成されたすべてのメモの

リストを表示したりできます。メモを追加するもう1つの方法は、ペイントツールバーのボタンをクリックして、メモ作成後にリンクされるローソク足を選択することです。

11."スクリプト"では、使用可能なスクリプトがすべて表示されます。スクリプトはユーザーが設定したアルゴリズムです。



その後、メモを編集ウィンドウが表示されます。



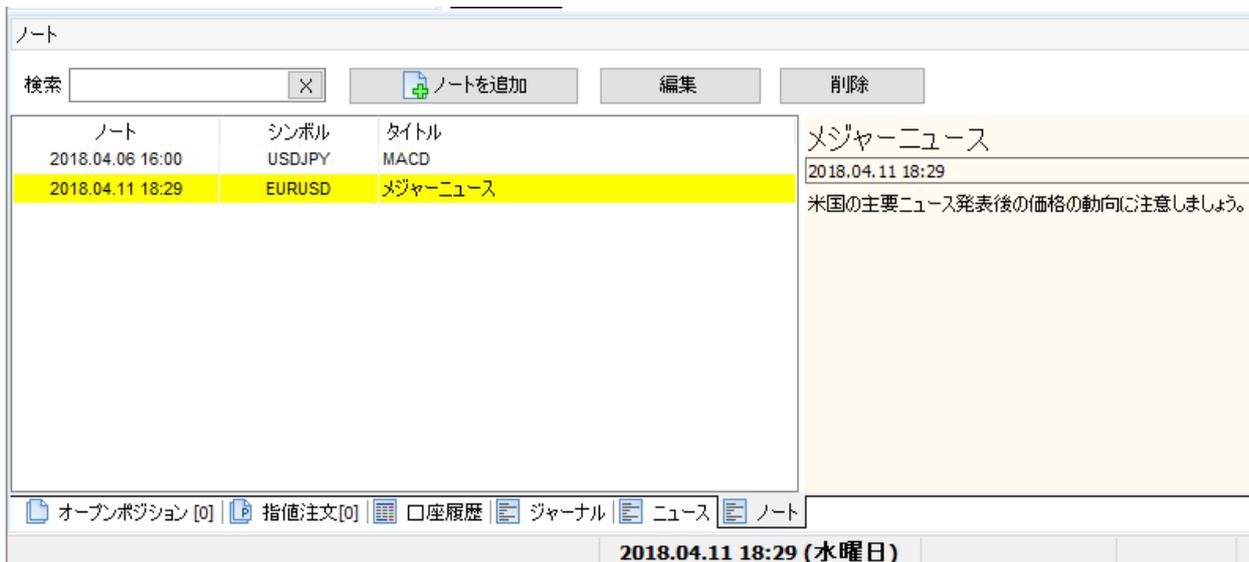
メモの日付と時刻を設定したり、メモをリンクするための1つまたはすべての記号を選択したり、メモのタイトルとテキストを入力したりできます。

メモの行をダブルクリックすると、メモがリンクされているチャートのローソク足に素早くジャンプできます。

メモ付きの行（またはチャートのアイコン）を右クリックすると、メニューを表示して編集または削除できます。メモを削除するもう1つの方法は、削除ボタンをクリックすることです。

チャート上のメモアイコンを非表示にするには、チャートの任意の場所でマウスの右ボタンをクリックし、[メモを表示]メニュー項目のチェックを外します。

検索フィールドを使用して任意のメモを見つけることができます。検索はメモのヘッダー（名前）を通してのみ、機能することに注意してください。



プログラム設定を開くには→設定タブに切り替えます。



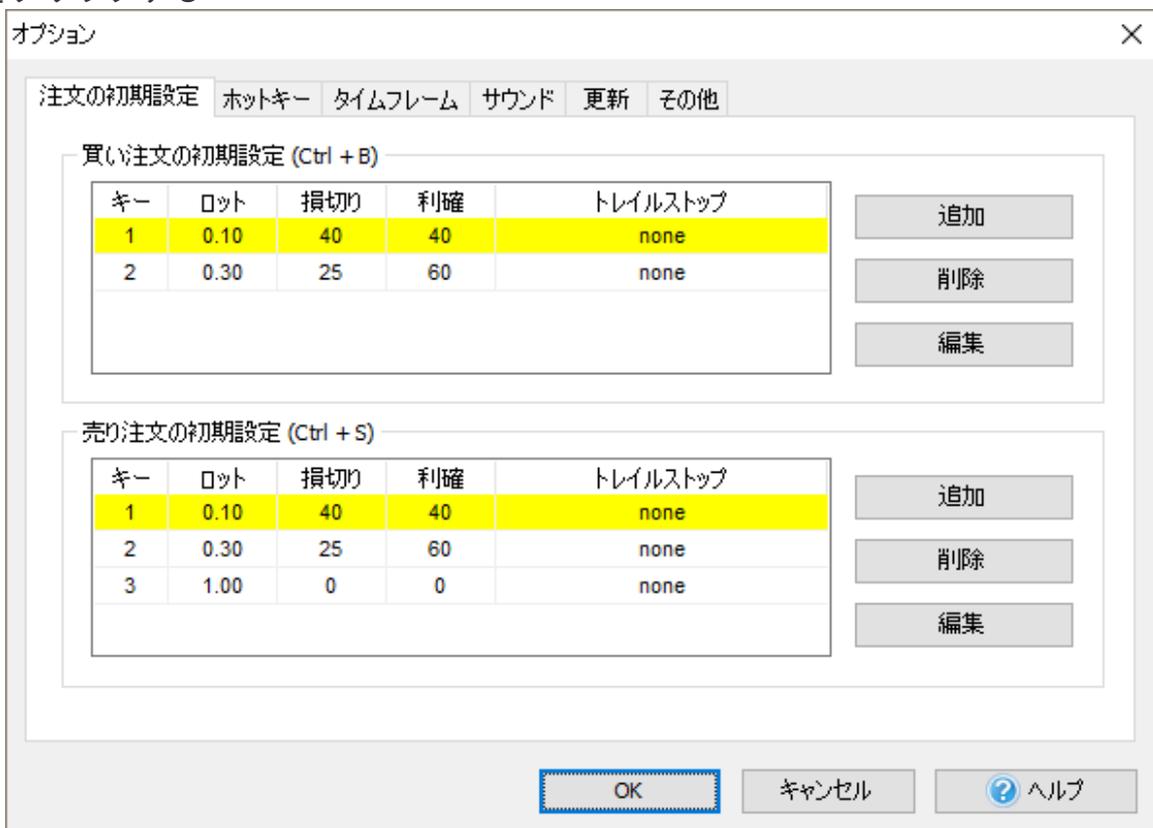
このボタンから次の動作ができます:

1. アップデートをチェック。
2. ホットキー。
3. サウンド - フォレックスステスターのサウンドをカスタマイズできます。
4. 言語 - 環境設定で使用する言語が変更されます。
5. リボン(Ribbon)機能を解除する - 旧インターフェイスに復元し、巻き戻し機能を有効にする。

アップデートをチェック-手動でソフトウェアのアップデートをチェック デフォルトの発注 - 発注?(グループ) を特別に使いたい方にはオススメです。

「デフォルト注文」は、同じパラメータで注文を頻繁に開始する場合に特に役立ちます。例えば、あなたのストラテジーが0.1ロットで40ピップのストップロスと40ピップの利確注文の発注を要求するならば、あなたはそれを簡単に設定することができます。

1. "追加"ボタンをクリックする
2. "ロット"オプションの右にあるドロップダウンメニューから"0.1"バリューをセットする
3. "40"を手動で入力、もしくは"ストップロス"オプションの近くのドロップダウンメニューを使う
4. "40"を手動で入力、もしくは"利益を受け取る"オプションの近くのドロップダウンメニューを使う
5. 必要であればコメントを追加する
6. "OK"をクリックする

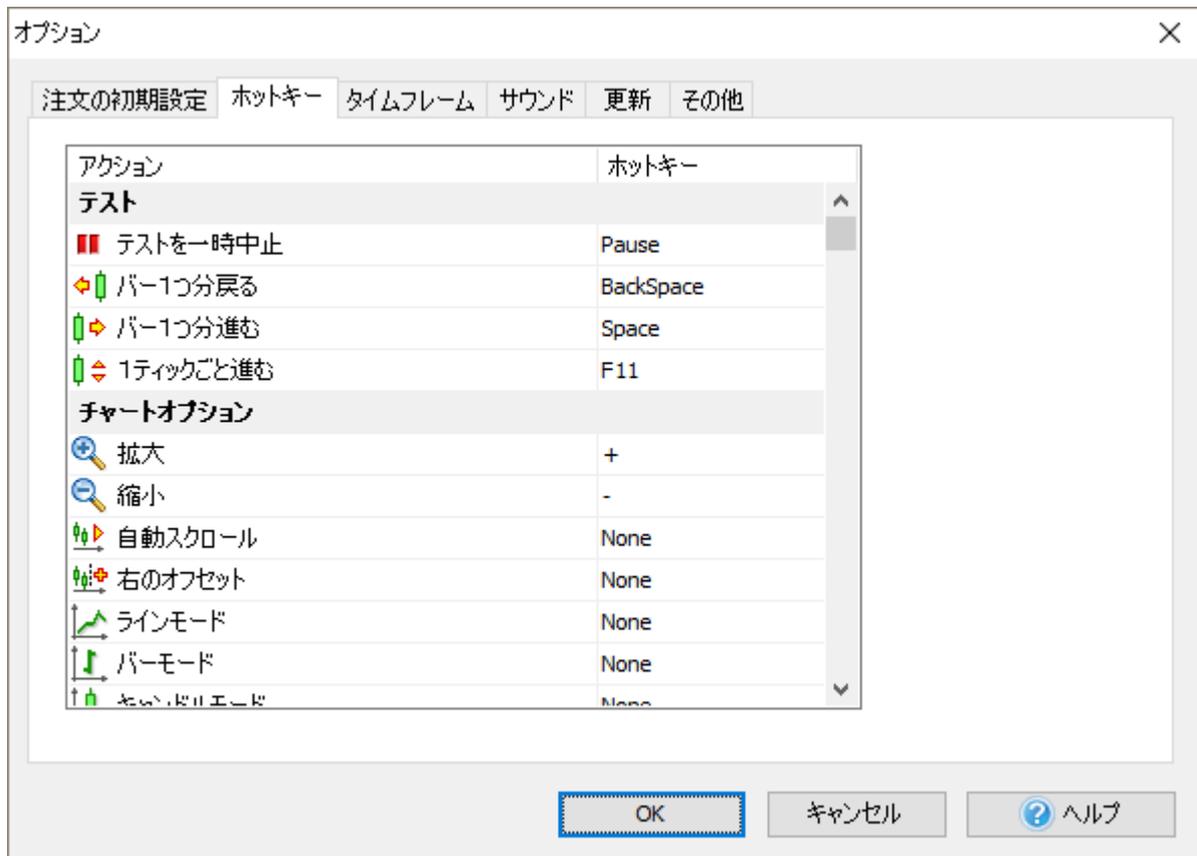


これで、デフォルトの買い注文を追加できました。上記のバリューでスタンダードオーダーを開く必要がある場合、CTRL+Bショートカットキーを利用してください。

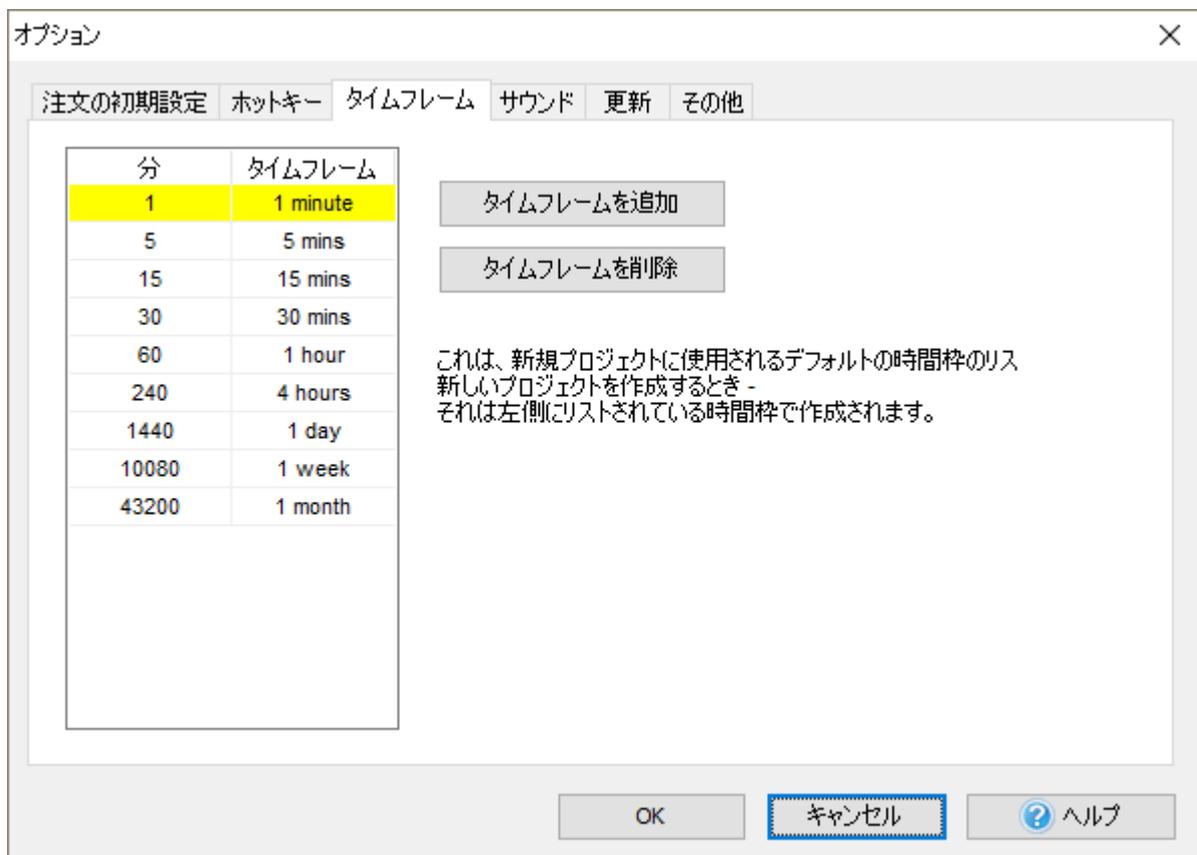
CTRL +

Sのショートカットを使用して配置するという同じ手順で、デフォルトの売り注文を設定することができます。

ふたつめのタブは、「ホットキー」と呼ばれるものです。ForexTesterで適用できる全てのアクション、そして対応するホットキーを見つめることができます。すでにあるホットキーのバリューを変更する必要がある場合、または、バリューを無効化する場合、ショートカットの名前をダブルクリックし、ドロップダウンメニューから必要なショートカットを選択します。

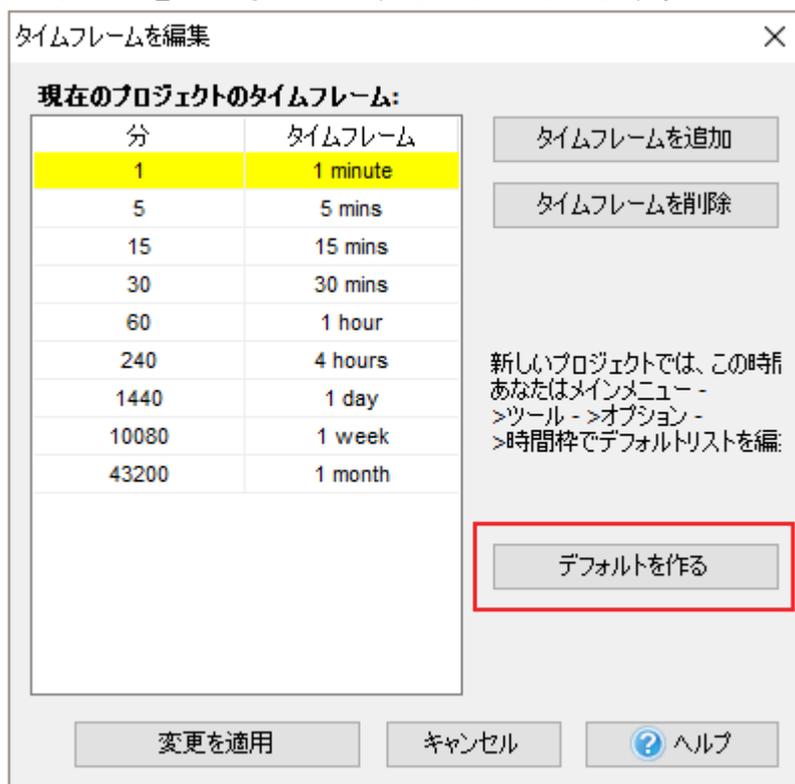


[タイムフレーム]タブでは、新しいプロジェクトに使用されるデフォルトの時間枠を追加または削除できます。



メインツールバーの[タイムフレームの管理]ボタン  をクリックして、カスタムのタイムフレームを追加できます。

[タイムフレームの編集]ウィンドウで、[デフォルトにする]ボタンをクリックして、新しいプロジェクトのタイムフレームのリストをデフォルトにすることができます。



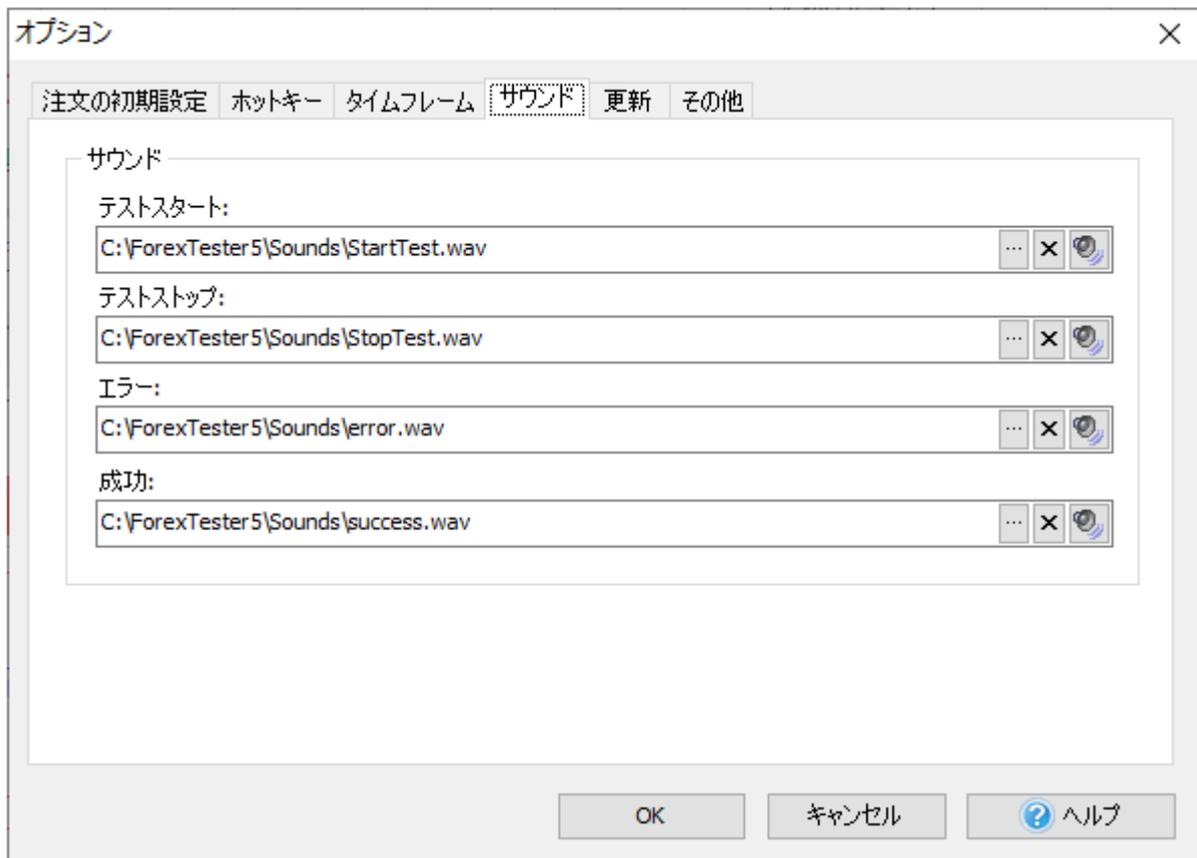
新しいプロジェクトごとにカスタムのタイムフレームを作成する必要はありません。1回だけ実行し、新しいタイムフレームのリストをデフォルトとして保存するだけです。新しいプロジェクトを作成すると、カスタムのタイムフレームも他のデフォルトのタイムフレームの中に表示されます。

“サウンド”タブで、ForexTesterにある4サウンドを消す、または聞く、を設定することができます。これらのサウンドは、間違いもしくは成功の時やテストを開始したり終えた時に流される.wav filesを表すものです。

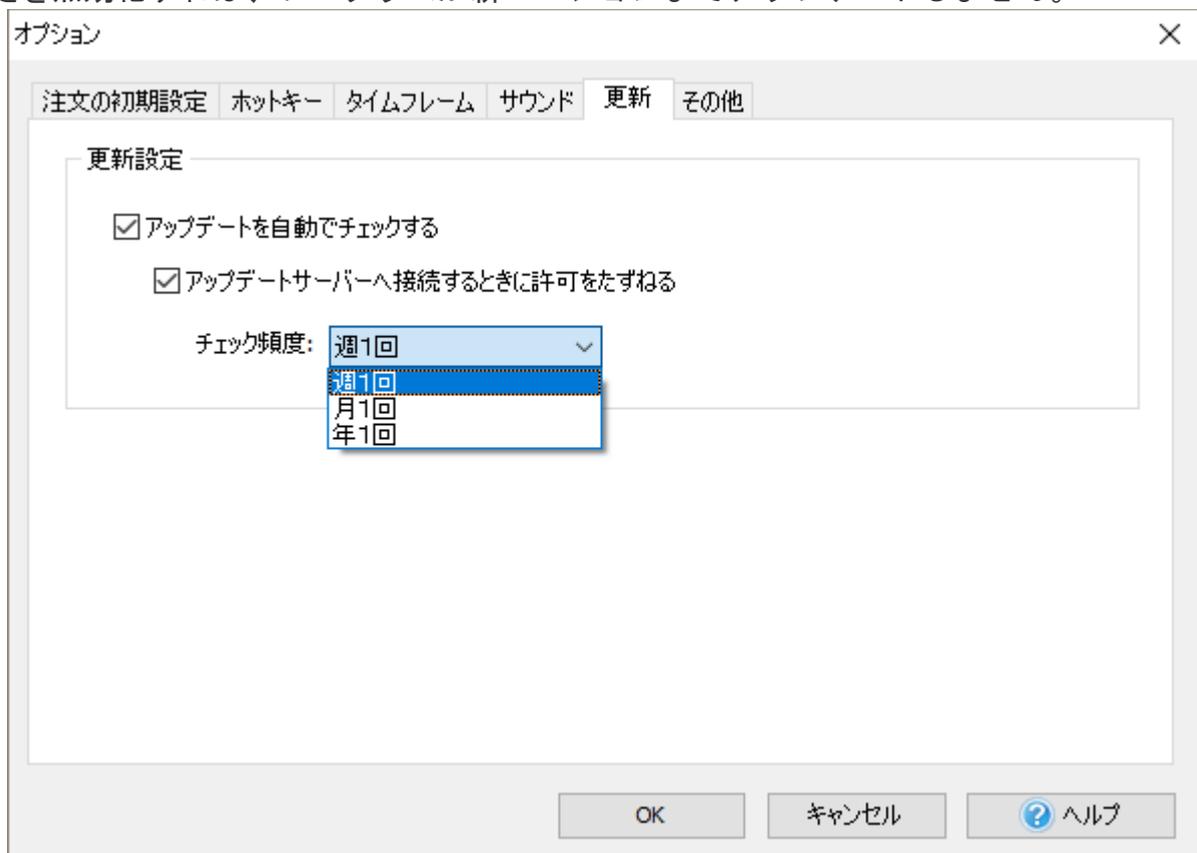
自身のオーディオファイルを設定するには、“オープンファイルダイアログ”ボタンをクリックしてください。

サウンドを消去する場合、“クロス”ボタンを押してください。

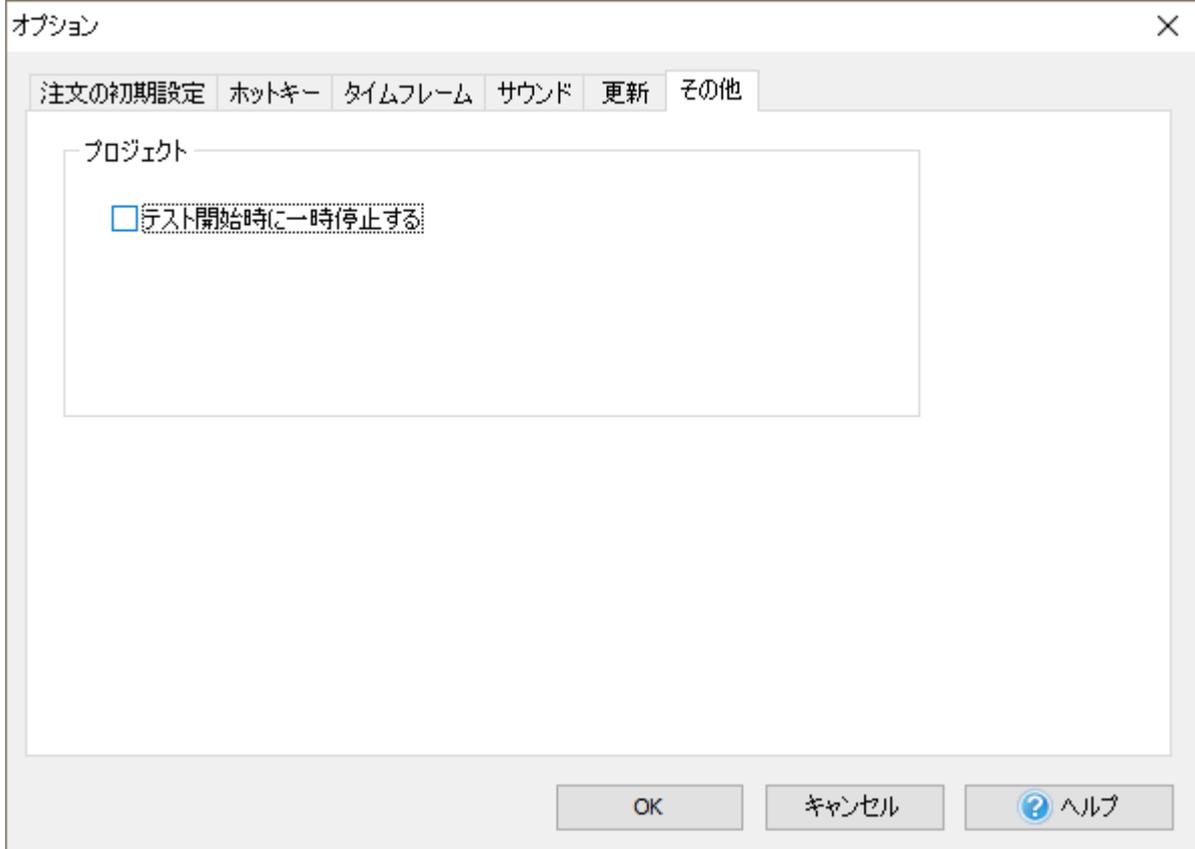
すでにあるサウンドを聞く場合、“スピーカー”アイコンをクリックしてください。



“アップデート”タブではサーバーリクエストからの定期アップデートを設定することができます。この設定を無効化すれば、プログラムが新バージョンまでアップデートしません。



“オーダー”内で“スタートテスト後の一時停止を設定する”をアクティブ化することができます。このオプションが有効化され、“テスト開始”ボタンをクリックすると“一時停止”をクリックするまで新規バーは表示されません。



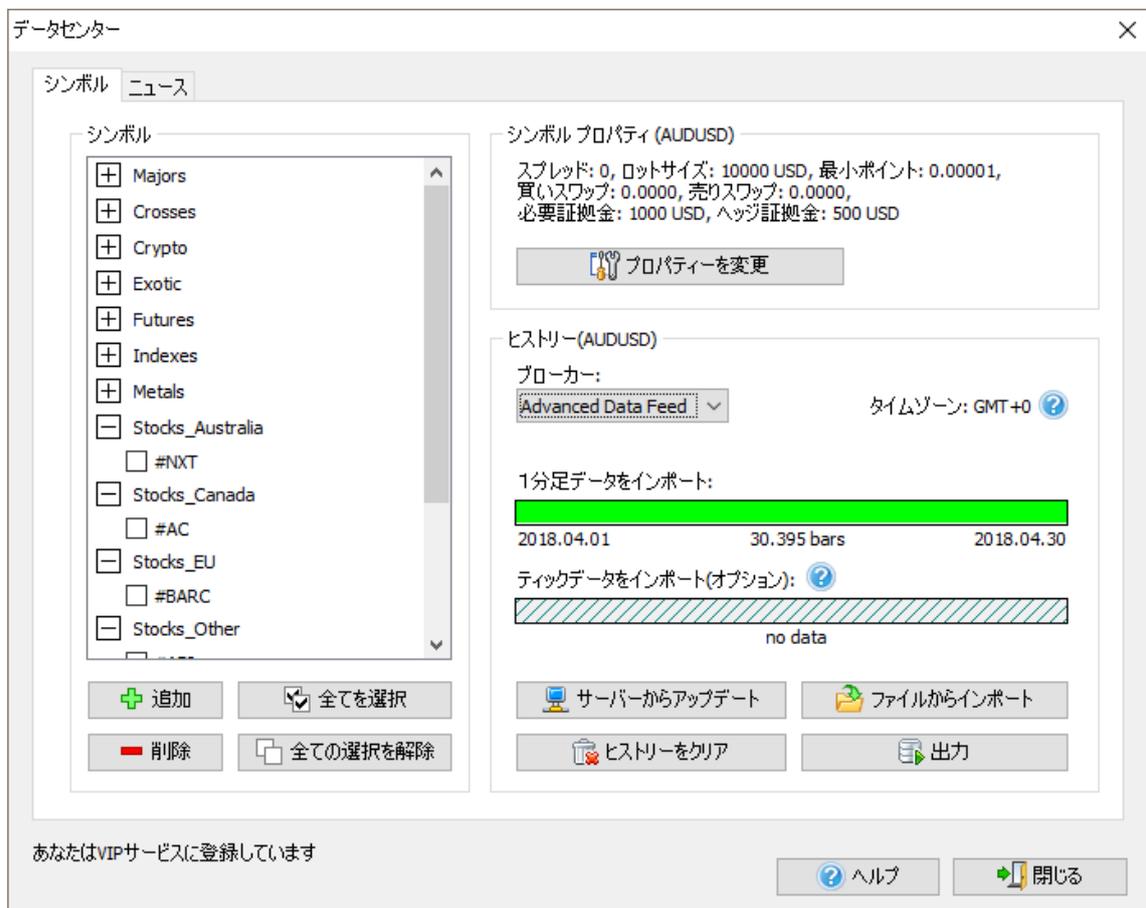
データセンター

データセンターは、過去データを管理するために機能です。下記が可能です。

- 通貨ペアの追加/削除
 - 通貨ペアの設定の確認、および編集
 - 1分足データをサーバーからダウンロード
 - ファイルから過去データを読み込む
 - ティックデータをサーバーからダウンロード
 - 通貨ペアをグループ化し設定を同時に変更
 - データをCSV形式で出力
- データタブに表示された専用ボタンをクリックすると、データセンターのダイアログ・ウィンドウが立ち上がります。



データセンターウィンドウは下記の項目があります。



上部の指標（スクリーンショット上の緑もの）は、インポートされた1分データの品質を表しています。無料ミディアム品質データは、ForexTesterのデータセンターもしくはフォーラムページより[直接ダウンロードできます](#)。

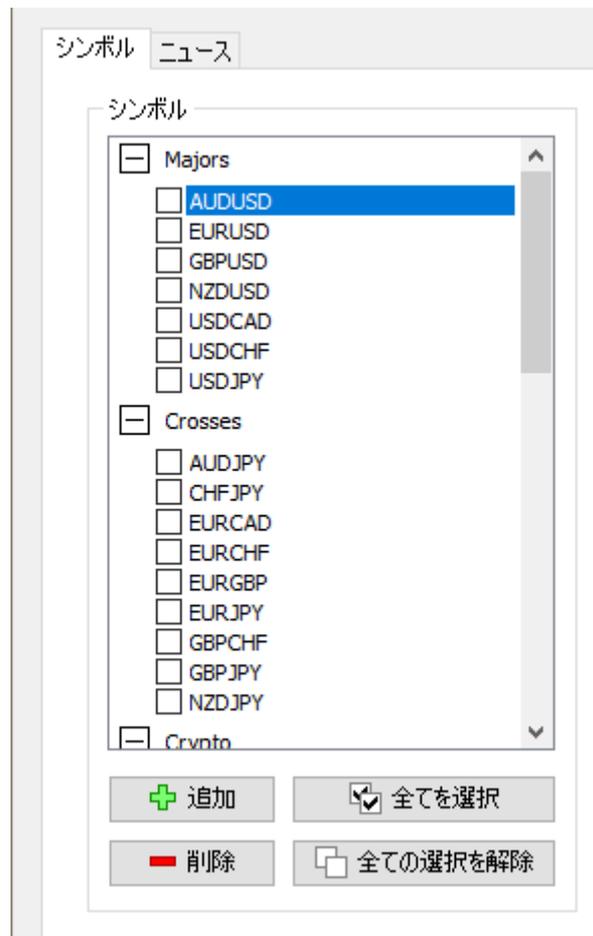
最も性格なデータを手に入れたい場合、お手頃な価格で有料データを購入できます。[過去データ](#)

低品質のデータは、正確性に欠けるテスト結果へと導く可能性が高いということに注意してください。これは、リアルマーケットで自身のバックテスト済みトレーディングシステムを使う場合、ライブアカウントのトレーディングの結果にも相応の結果が及ぼされる可能性があるかもしれないということです。

下部の指標（スクリーンショット上の斜線が入った灰色のもの）は、例の中でティックデータが不足していることを示しています。ティックデータは、短期テストやスキャルピング戦略にとってとても重要なものです。M1-M30タイムフレームでトレーディングをしているならば、有料過去データを定期購入することは、良い投資になるはずです。

メイン機能を確認してください。

1) 通貨ペアのリスト



このリストでできること:

- バックテスト用に通貨ペアの選択
選択した通貨ペアの詳細情報と可能な設定は、ウィンドウの右に表示されます。
- 通貨ペアのデータ削除（リストの下にある削除ボタンをクリック）削除ボタンをクリックすると、選択したすべての通貨ペアが削除されます。

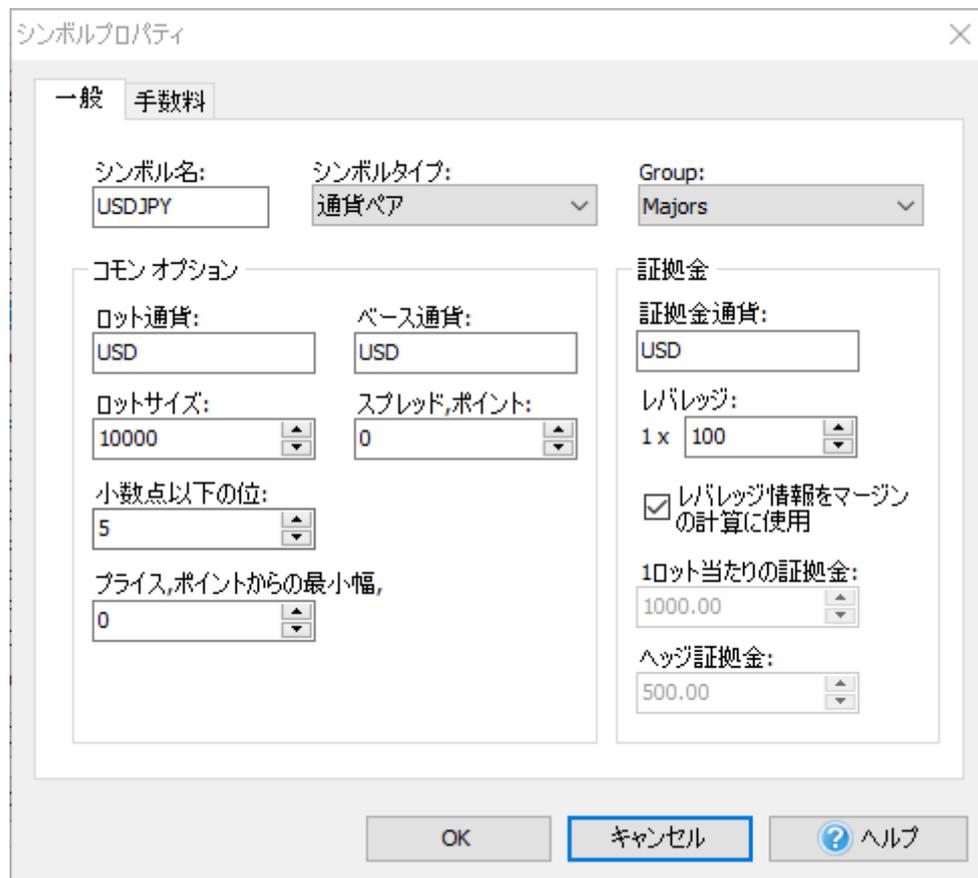
- 通貨ペアの追加（リストの下の追加ボタンから）
- グループ設定をした通貨ペアの選択と非選択
例えば、リストにある全ての通貨ペアを選択し、全ての過去データを同時にダウンロードできます。

通貨ペア名の横にあるボックスにチェックを入れ、同時にグループ設定（ダウンロードデータ、レバレッジの変更など）ができます。

2) 通貨ペアプロパティの詳細



"プロパティを変更"ボタンから通貨ペアのプロパティを変更できます。
[シンボルプロパティ]ダイアログウィンドウには、[一般]タブと[コミッション]タブの2つのタブがあります。



[共通]タブでは、以下の設定を変更できます。

- シンボル名 - シンボル（通貨など銘柄）の名前。
- シンボルタイプ - シンボルタイプ（通貨ペアまたは株式）
- グループ - シンボルが参照するシンボルリストのグループ
- ロット通貨 - ロットの通貨。

- **基本通貨** - 基本通貨
 - **ロットサイズ** - ロット通貨での1ロットのコスト。
 - **レバレッジ** - 1ロットのロットサイズとマージンの比率。
ブローカーはそれぞれ異なるレバレッジを使用するため、ブローカーが使用しているレバレッジを使用することをお勧めします
 - **小数点以下の桁数** - 小数点の後の桁数。例えば。1.2500は4桁の値、1.25001は5桁の値です
 - **スプレッド、ピップス** - ピップスのスプレッド。
スプレッドとは、買値と売値の差を意味します
 - **価格までの最小幅** - 未決注文を出すことができる現在の価格までの最小幅のピップス。
「価格までの距離」は2つの選択肢を定義します
1. 未決注文を出すことができる現在の市場の価格からの最小幅。そこに20を設定した場合に、現在の価格より15ポイント上/下の未決注文を行おうとすると、始値が近すぎるというメッセージが表示されます。
 2. **SL / TPレベルでの最小幅** ここに20を設定した場合、SL / TPレベルを20ポイント未満に設定することはできません。

注文を出してSLを設定するとき、ストップロスは「価格までの最小幅」+「スプレッド」の値以上で設定する必要があります。この場合、注文は問題なく実行されます。

- **証拠金通貨** - 証拠金の通貨です
- **1ロットのマージン** - 1ロットのマージン
- **ヘッジマージン** - 1ロットのヘッジポジションに対して計算されるマージン。
マージンの値を手動で入力する場合は、[レバレッジ情報を使用]オプションを無効にする必要

があります

シンボルプロパティ

一般 手数料

手数料

1ロット毎の手数料, USD:
3.00

注文時と決済時に適用
 ポジションの注文時に適用
 決済時に適用

スワップ

買いスワップ,ポイント: 0.0000
売りスワップ,ポイント: 0.0000

OK キャンセル ヘルプ

コミッションタブでは、次のプロパティを設定することができます。

- **1ロットあたりのコミッション、米ドル -**

ポジションの執行および（または）決済時のコミッションを設定します。

ここでは、テスト中にコミッションをいつ適用するか（あなたの状況に応じて）オプションを選択することができます：ポジションを執行および決済する時や、オーダーを執行するときの両方、またはオーダーを決済するときだけにコミッションを支払うように設定します。また、ポジションを部分的にクローズすると、コミッションはクローズしたいポジションの中から計算されます。

ポジション決済後のコミッションの金額は、画面下部の[アカウント履歴]タブで確認できます。

- **スワップロング** - ロングポジションのピップス単位でのスワップ。
- **ショートスワップ** - ショートポジションのポイントでのスワップ。

必要なオプションを変更したら、[OK]ボタンをクリックしてください。

3) ダウンロードしたデータの情報

下記の項目により、ダウンロードしたデータの情報を確認でき、プロパティの変更ができます。

詳細は下記をご覧ください。

シンボル ニュース

シンボル

Majors

- AUDUSD
- EURUSD
- GBPUSD
- NZDUSD
- USDCAD
- USDCHF
- USDJPY

Crosses

- AUDJPY
- CHFJPY
- EURCAD
- EURCHF
- EURGBP
- EURJPY
- GBPCHF
- GBPJPY
- NZDJPY

Crypto

追加 全てを選択 削除 全ての選択を解除

シンボル プロパティ (EURUSD)

スプレッド: 0, ロットサイズ: 100000 USD, 最小ポイント: 0.00001, 買いスワップ: 0.0000, 売りスワップ: 0.0000, 必要証拠金: 1000 USD, ヘッジ証拠金: 500 USD

プロパティを変更

履歴 (EURUSD)

ブローカー: Forexite 時間ゾーン: GMT+0

1分足データをインポート:

2001.01.02 7.109.151 bars 2021.03.01

ティックデータをインポート(オプション):

2018.04.01 1.782.231 ticks 2018.04.30

サーバーからアップデート ファイルからインポート

履歴をクリア 出力

あなたはVIPサービスに登録しています

ヘルプ 閉じる

1. タイムシフト

タイムゾーン: GMT+0

このメッセージは過去データのタイムゾーンを表示しています。デフォルトの設定では、GMT+0のタイムゾーンになっています。タイムゾーンは、新しいプロジェクトを作成するときに変更が可能です。

2. データクオリティインジケータ:

1分足データをインポート:

2015.01.01 29.480 bars 2015.01.30

ティックデータをインポート(オプション):

no data

このウィンドウでは過去データのクオリティを確認できます。

赤い箇所はデータがなく、薄暗い箇所は少しデータが飛んでいる箇所です。

3. データ管理ボタン:

サーバーからアップデート ファイルからインポート

履歴をクリア 出力

これらのボタンで、下記のアクションを行います。

- "サーバーからアップデート"ボタンは、当社サーバーから過去データをダウンロードするときに使用します。データのダウンロードについて詳しい情報は[こちらへ](#)。
- "ファイルからインポート"ボタンは、他のソースから入手した過去データファイルを取込むときに使用します。ファイルは、.txt, .csvに対応しています。データのダウンロードについて詳しい情報は[こちらへ](#)
- "出力"ボタンは、Forex Testerに入っている過去データを、テキストファイルとして出力するときに使用します。例えば、エクセルを使って、分析やストレテジーの開発を行うときに使用します。Forex Testerはどのタイムフレームでも出力ができます。

この機能について詳しい情報は[こちらへ](#)。

- "履歴をクリア"ボタンは、選択した通貨ペアの過去データを削除するときに使用します。このボタンをクリックすると、1分足、ティックデータが削除されます。

4. インフォメーションライン

あなたはVIPサービスに登録しています

これは、データウィンドウの左下に出ている情報です。

この情報はデータサーバーへの接続状況を表示しています。

サーバーに接続中であれば、"データサーバーへ接続中"とでます。このメッセージがでている間は、何もしないことをお勧めします。また、データサービスの購入状況について表示がされます。データサービスおよび購入については[こちら](#)をご覧ください。[過去データ](#)。

5. ニュースタブについて。

データセンター

シンボル ニュース

通貨:

- ✓ AUD
- ✓ CAD
- ✓ CHF
- ✓ CNY
- ✓ EUR
- ✓ GBP
- ✓ JPY
- ✓ NZD
- ✓ USD

影響力大のニュース (USD): ?

2007.01.01 2019.04.05

中程度のインパクトがあるニュース (USD): ?

2007.01.01 2019.04.05

インパクトの低いニュース(USD): ?

2007.01.01 2019.04.05

2019.04.06 17:39での最後のアップデート

サーバーからニュースをアップデートする

あなたはVIPサービスに登録しています

ヘルプ 閉じる

このタブでは利用可能な過去ニュースについての情報を得ることができます。あなたのサブスクリプションをアップグレードするためのリンクを踏むか、マニュアルでダウンロードしてください。カレンダー上のニュースの詳細情報を知るには、[をクリックすると](#)、フォレックステスターで用いるニュースの詳細が読めます。

データのダウンロード/インポート

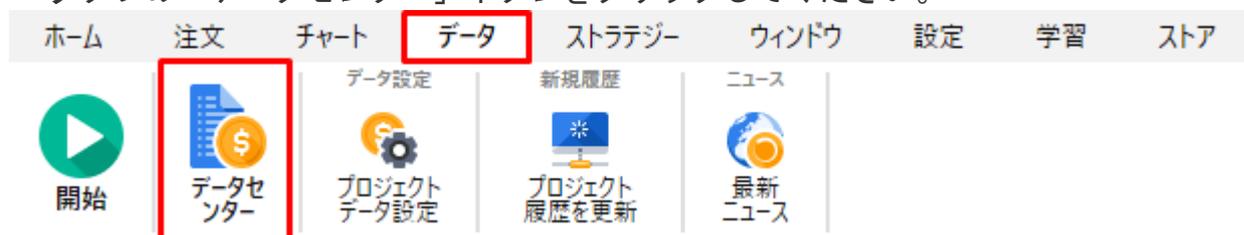
Forex Testerは当社サーバーから過去データをダウンロードできます。
また、テキストファイルから直接過去データを取込むこともできます。
当社は2001年1月1日から現在までの過去データを無料で提供しています。

過去データはForex Testerのデータセンターウィンドウからダウンロードできます。
また、当社サイトからもダウンロードできます。(データセンター)

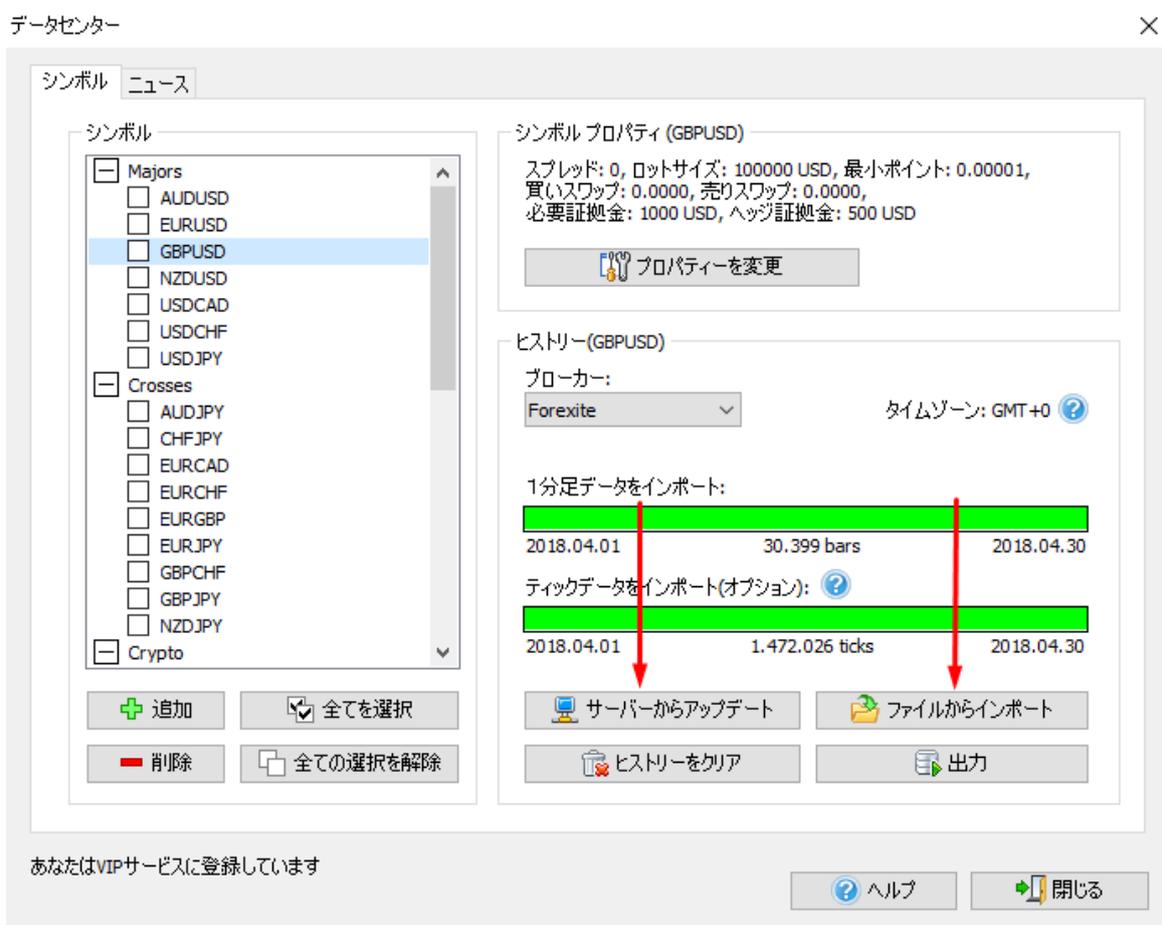
Forex Testerは過去データを自動で他のタイムフレーム用にコンバートします。

そのため、1分足の過去データを取込むことをお勧めします。そうすれば、Forex Testerはどのタイムフレームのチャートでも作ります。

過去データはデータセンターウィンドウからしか取込めません。データセンターにアクセスするには、データタブの「データセンター」ボタンをクリックしてください。



"サーバーからアップデート"ボタンをクリックして当社サーバーから過去データをダウンロードします。また"ファイルからインポート"ボタンを使って、テキストファイルからデータを取込むこともできます。



サーバーから過去データをアップデート

過去レートを使いたい場合：

- より良い品質の
- ポイントの後の5桁（日本円を含む通貨ペア向けのポイント後3桁）
"スタンダード"データサービスをお申込みください。
M1からM30のタイムフレームでトレードを行う場合、"VIP"データパッケージがあなたのニーズに合っているかと思います。

VIPデータサービスでは下記が行えます。

- ティックデータの利用
- スプレッドを使う
- 最も正確で品質の高い結果を受け取る
各データサービスタイプについての詳細は[こちら](#)をご覧ください。

"サーバーからアップデート"ボタンをクリックした後、ウィンドウダイアログがでてきます。

サーバーからデータを更新(AUDJPY)

情報

ブローカー 'Forexite'のシンボルAUDJPYに対し、1分足では2001.01.01から2016.08.05までのデータを当社は保有しています。ティックデータはありません。

データレンジ

最新の過去データをダウンロード(推奨:最後の更新時以降のデータをダウンロード)

一部の過去データをダウンロード

開始: 2001.01.01 終了: 2016.08.05

週末は無視する ?

ダウンロードするデータを選択

1分足、ティックデータをダウンロード

1分足データのみダウンロード

ティックヒストリーをダウンロード

アップデート キャンセル

このダイアログを使って、入っていない過去データを追加できます。(Forex Testerは自動で現在の通貨ペアに入っていないデータを判別します。) または、特定の期間だけ過去データをダウンロードすることもできます。
"情報"ボックスには、通貨ペア、データ期間、データタイプが表示されます。
データサーバーは2タイプ(1分足とティックデータ)の過去データを提供しています。ティック

データはリアルなティックを含み、バックテストのクオリティが高くなります。
ティックデータは、VIPサービス購入者のみダウンロード可能です。

"データレンジ"ボックスは、ダウンロードしたい過去データの期間を設定できます。

"最新の過去データをダウンロード"オプションを選択すると、

例えば、2015年1月1日までダウンロードしていた場合、2015年1月1日から最新のデータまでをダウンロードし、元々あったデータと統合します。

常時過去データを更新したいときに便利な方法で、いつも過去データを最新の状態にできます。

もし、過去データが何もない（もしくは、過去データを削除した）場合は、選択した通貨ペアの全過去データをダウンロードします。

"一部の過去データをダウンロード"オプションを選択した場合は、選択した期間の過去データを取得します。すでに過去データが入っているときは、適切な形でデータを統合します。

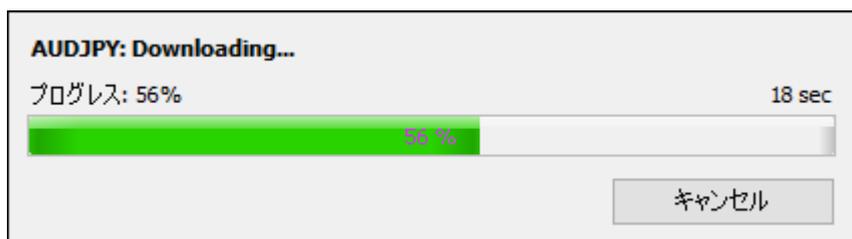
"ダウンロードするデータを選択"ボックスの中では、ダウンロードする過去データのタイプを選べます。

- 1分足、ティックデータをダウンロード（推奨）
- 1分足データだけをダウンロードしたい場合は、このオプションを用いてください。ティックデータが提供されていないとき（データサービスの購入状況による）や過去データを調査したいときに役立ちます。
- ティックデータのみダウンロード場合、非常に正確なチャートを復元でき、バックテストの精度も上がります。

注意:ティックデータはVIPデータサービス購入者にのみ提供しています。

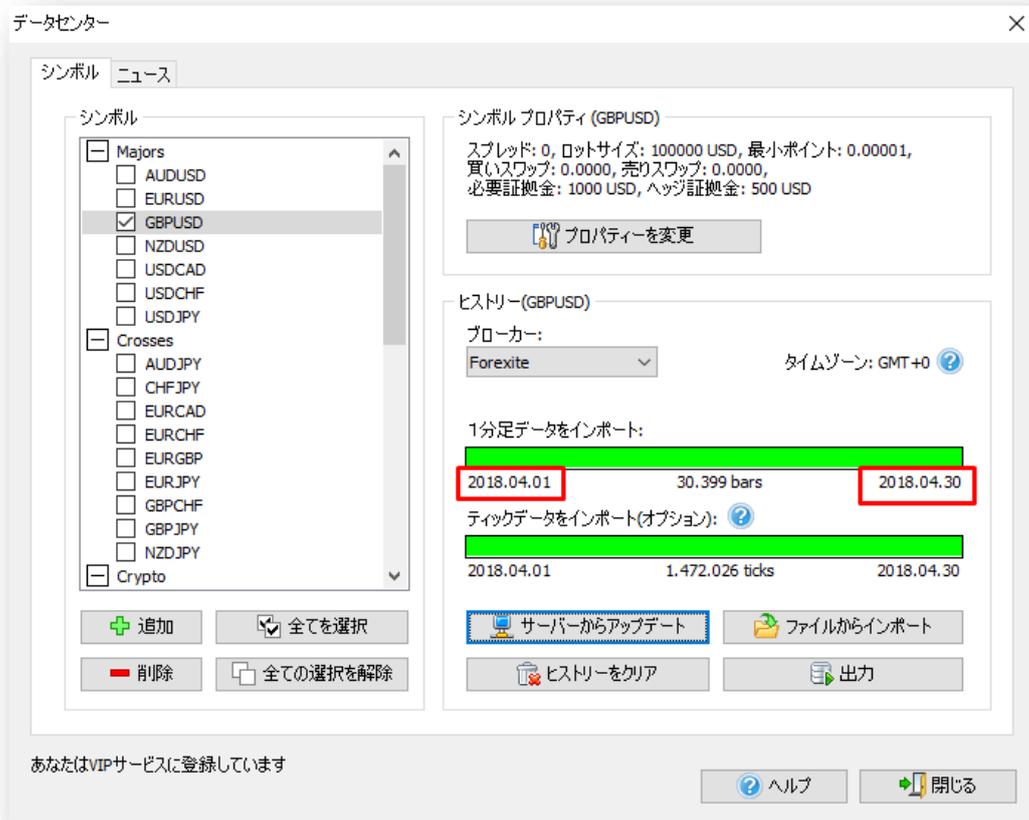
データサービスについては詳細情報をご覧ください。

"アップデート"ボタンをクリックし、ダウンロードを開始してください。



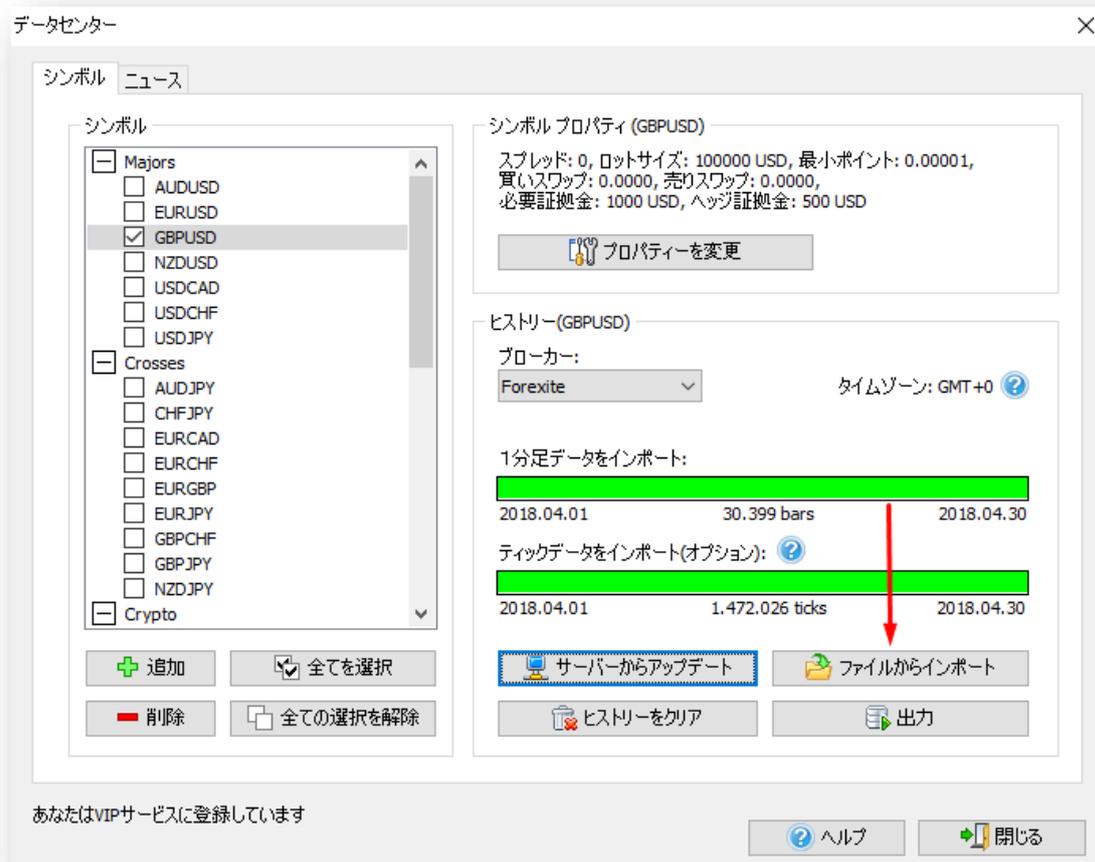
注意:選択した通貨ペアや期間が長い場合、データダウンロードの準備に時間がかかることがあります。

データの開始日と終了日は、緑のバーの下に表示されています。



ファイルからインポート

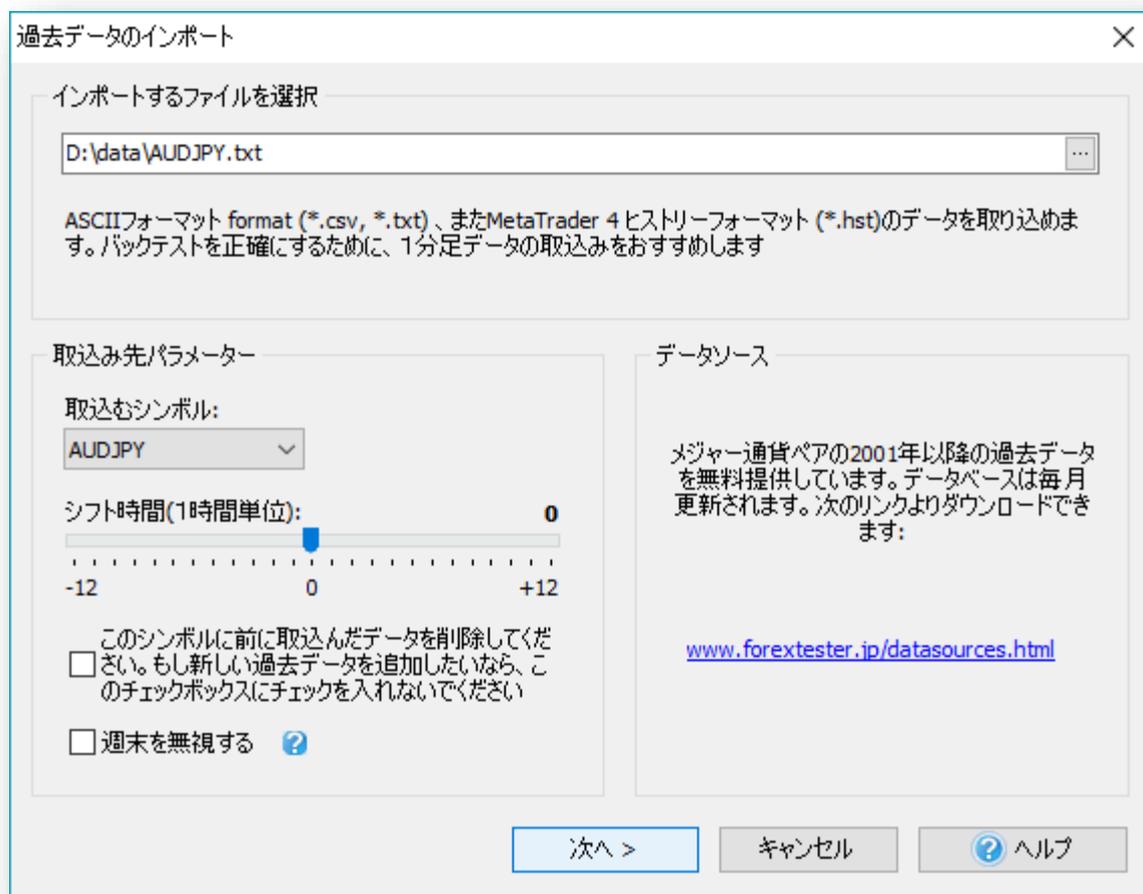
ファイルからデータを取込みたいときは、データセンターの"ファイルからインポート"ボタンをクリックしてください。



"過去データのインポート"ダイアログから、ファイルに入っている過去データを取込むことができます。Forex Testerはテキスト形式のファイルを読み込みます。

1分足よりも短いタイムフレームのデータはエラーになり、テストのクオリティーが下がります。

"過去データのインポート"ダイアログを開くと、下記の項目が表示されています。



ファイル選択後、Forex

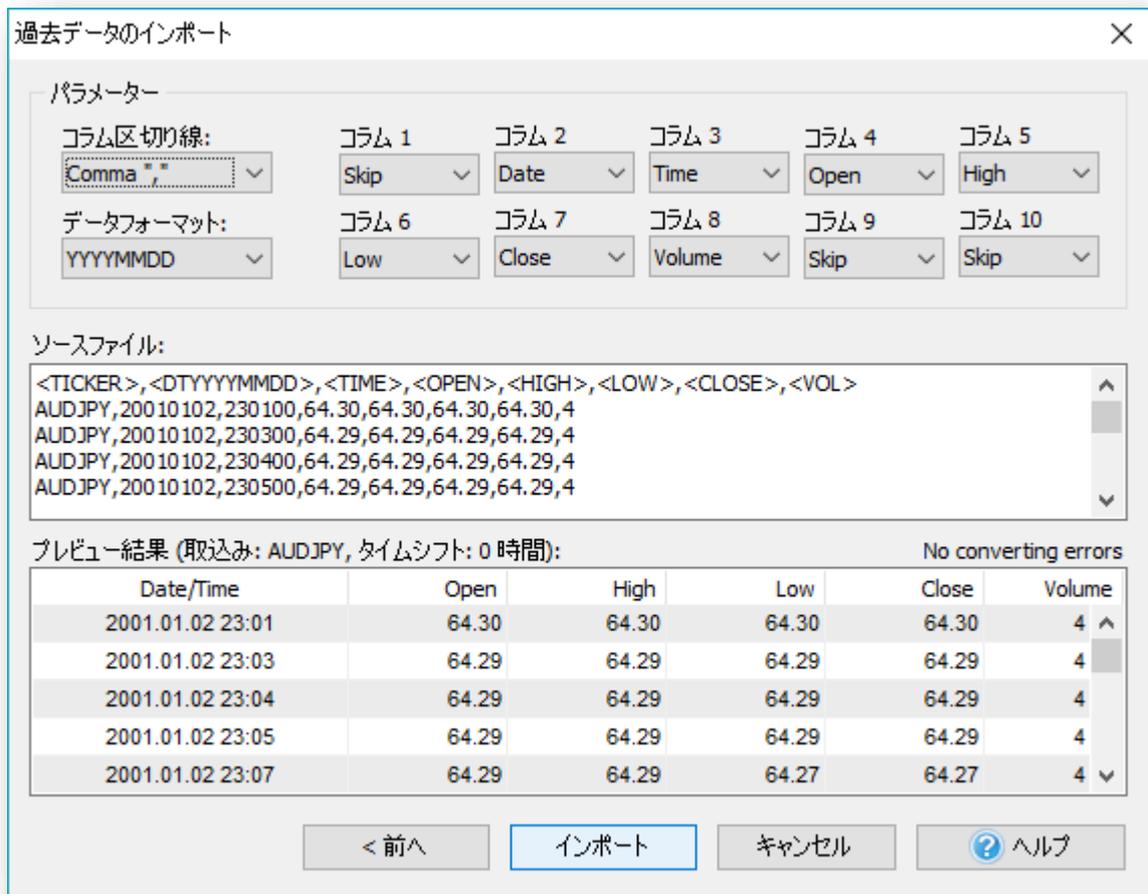
Testerは通貨ペアを自動で判別します。通貨ペア名が違う場合は、ドロップダウンメニューから選択してください。

通貨ペア名のデータがファイルに入っていない場合は、自動判別機能が作動しません。ドロップダウンメニューから手動で選択してください。

また、シフト時間（1時間単位）の機能を使って、取込む過去データのタイムゾーンを変更することもできます。

たとえば、タイムゾーンが違う複数のデータソースを使ったときに、データの時間を揃えるために使います。

オプションとして、"このシンボルに前に取込んだデータを削除してください。もし新しい過去データを追加したいなら、このチェックボックスにチェックを入れないでください"があります。ここにチェックを入れると、以前に保存した過去データを削除してから、新しい過去データを取込みます。



すべての設定が終わったら、"次へ"ボタンをクリックしてください。

テキストフォーマットを選択していれば、上記のダイアログでます。

Forex Testerはすべての項目を自動で判別しますが、手動で変更もできます。

- **コラム区切り線:** テキストファイルの中で、コラムを区切っている記号を設定します。通常はコンマかセミコロンです。
- **データフォーマット** - データ形式 YYYY (YY) - 年, MM - 月, DD - 日
- **Column1 ... Column10** - データコラム 下記の値を含みます。

Skip	Skip this column
Symbol	Currency name
Date	Date
Time	Time
Open	Open value
High	High value
Low	Low value
Close	Close value
Volume	Volume

- ソースファイル - ソースファイルの一部を表示
- プレビュー結果 - 取込むデータの結果を表示

注意：

カラムの設定が間違っていたり情報が入っていないと、エラーが表示されます。

過去データのインポート

パラメーター

コラム区切り線: Comma ",,"

データフォーマット: YYYYMMDD

コラム 1: Skip, コラム 2: Time, コラム 3: Date, コラム 4: Close, コラム 5: High, コラム 6: Low, コラム 7: Close, コラム 8: Volume, コラム 9: Skip, コラム 10: Skip

ソースファイル:

```
<TICKER>,<DTYYYYMMDD>,<TIME>,<OPEN>,<HIGH>,<LOW>,<CLOSE>,<VOL>
AUDJPY,20010102,230100,64.30,64.30,64.30,64.30,4
AUDJPY,20010102,230300,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230400,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230500,64.29,64.29,64.29,64.29,4
```

プレビュー結果 (取込み: AUDJPY, タイムシフト: 0 時間): 198 converting errors found

Date/Time	Open	High	Low	Close	Volume
???.??.??.??.??.??	??.??.??	64.30	64.30	64.30	4
???.??.??.??.??.??	??.??.??	64.29	64.29	64.29	4
???.??.??.??.??.??	??.??.??	64.29	64.29	64.29	4
???.??.??.??.??.??	??.??.??	64.29	64.29	64.29	4
???.??.??.??.??.??	??.??.??	64.29	64.27	64.27	4

< 前へ インポート キャンセル ? ヘルプ

過去データを取込むなら、インポートボタンをクリックしてください。
過去データの取込むが終わったときに、下記メッセージが表示されます。

Forextester

データのインポートは成功しました

OK

新規プロジェクトの作成

テストを始める前に、過去データの準備をお願いします。

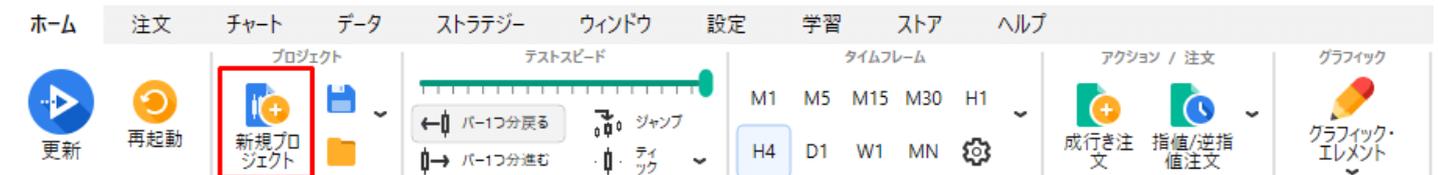
"新規プロジェクト"ボタンをクリックし、バックテストをしたい通貨ペアやテスト期間の選択、証拠金の設定、などができます。

異なる取引戦略や取引戦略の特定の組み合わせをテストするためには、別々のプロジェクトを作成することをお勧めします。そうすることで、どの戦略（または戦略の組み合わせ）が機能し、どの戦略が機能しないのかを容易に理解することができます。

ティックデータを使ってテストが行えます。

(ティックデータは[VIPデータサービス](#)購入者へのみ配信しています)

新規プロジェクトを作成する時にはホーム→新規プロジェクトをクリックしてください。



"新規プロジェクトを作成"ウィンドウがでます。ここで、プロジェクトの名前を入力し、証拠金 (USD)を設定します。

新規プロジェクトを作成 ×

プロジェクト名の定義

プロジェクト名:

プロジェクトは '<FT>\Projects\<Project name>\' フォルダへ保存されます

初期証拠金

入金(USD):

次へ > キャンセル ? ヘルプ

設定後、"次へ"ボタンをクリックします。次の画面で下記の設定を行います。

新規プロジェクトを作成

シンボル選択

- DJI
- EURCAD
- EURCHF
- EURGBP
- EURHKD
- EURJPY
- EURUSD
- GBPCHF
- GBPJPY
- GBPUSD
- NG
- NZDJPY
- NZDUSD
- USDCAD
- USDCHF
- USDJPY
- XAGUSD
- XAUUSD

テスト期間

開始時間: 2018.04.01

終了時間: 2018.04.30

テストクオリティ

1分データを使用する

1分とティックデータを使用する

高度な設定

< 前へ 次へ > キャンセル ? ヘルプ

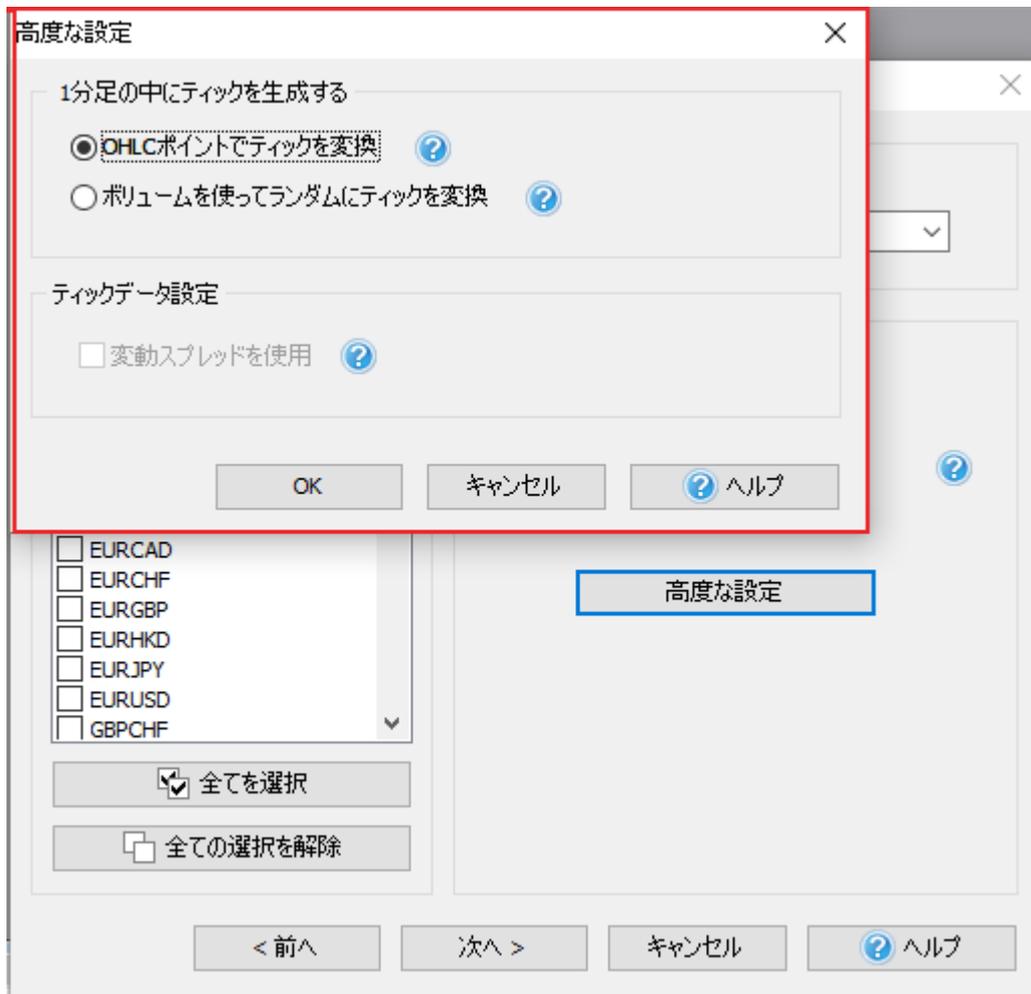
シンボル選択のリストから、テストをしたい通貨ペアを選択。（「全てを選択」ボタンですべての通貨ペアが選択されます。） 1つ以上の通貨ペアを同時にテストできます。

テスト開始期間の"開始時間"と"終了時間"には、テストをしたい期間の日付を入れてください。

"テストクオリティ"は、テストに使用するデータのクオリティを設定します。

あなたが私たちのサーバーからティックヒストリカルデータをダウンロード済の場合は"分足データを使用"または、"分足データとティックデータを使用"を選択してください [\(ティックデータはVIPデータサービスで利用可能です\)](#)。このオプションのテストの精度は最も良いです。

「詳細設定」ボタンをクリックして詳細設定ウィンドウを開きます。



2つの方法があります。

1. "OHLCポイントでティックを変換" -

このオプションを選択すると、各ロウソク足は1から4つのティックを含みます。始値/高値/安値:/終値

2. "ボリュームを使ってランダムにティックを変換" -

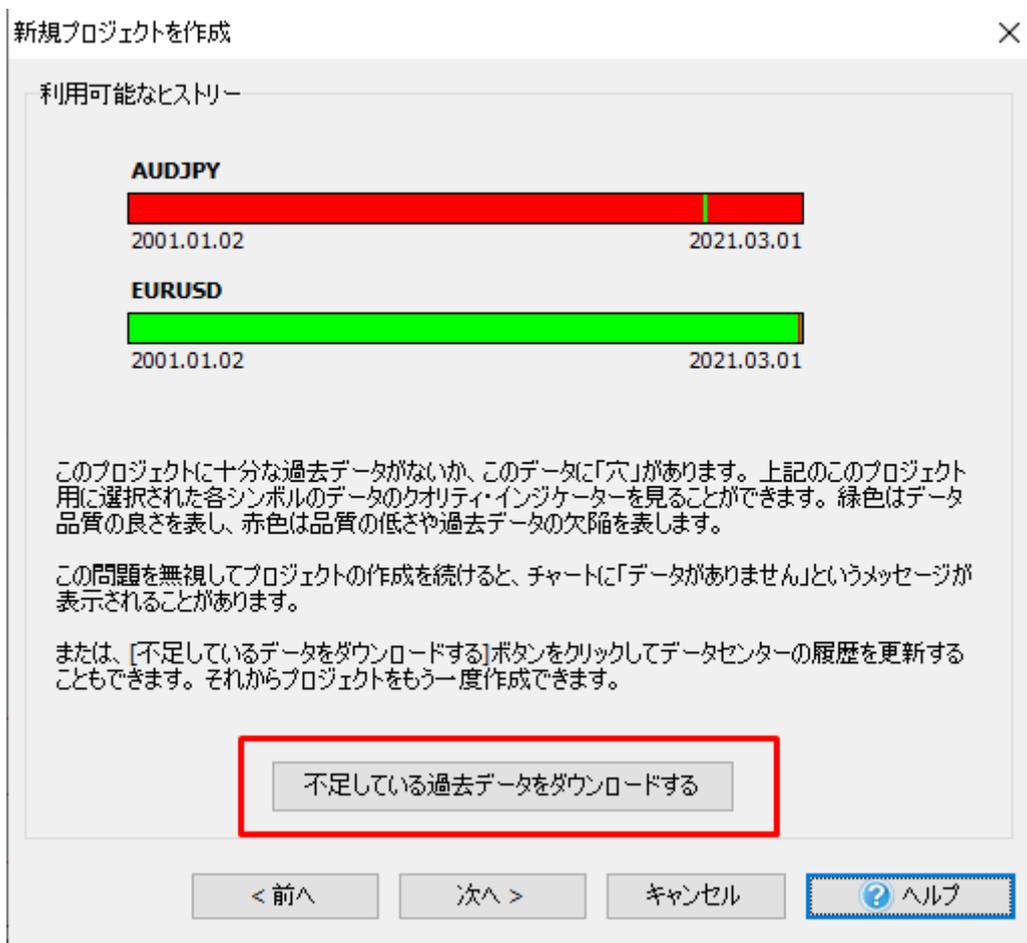
1分足の中に入っているティック数は、そのロウソク足のボリュームと同じになります。ティックは1分足の中にランダムに設置されます。

最初のオプションを使うことを推奨します。なぜなら、その方法が早く、また、良いテストクオリティを提供するからです。

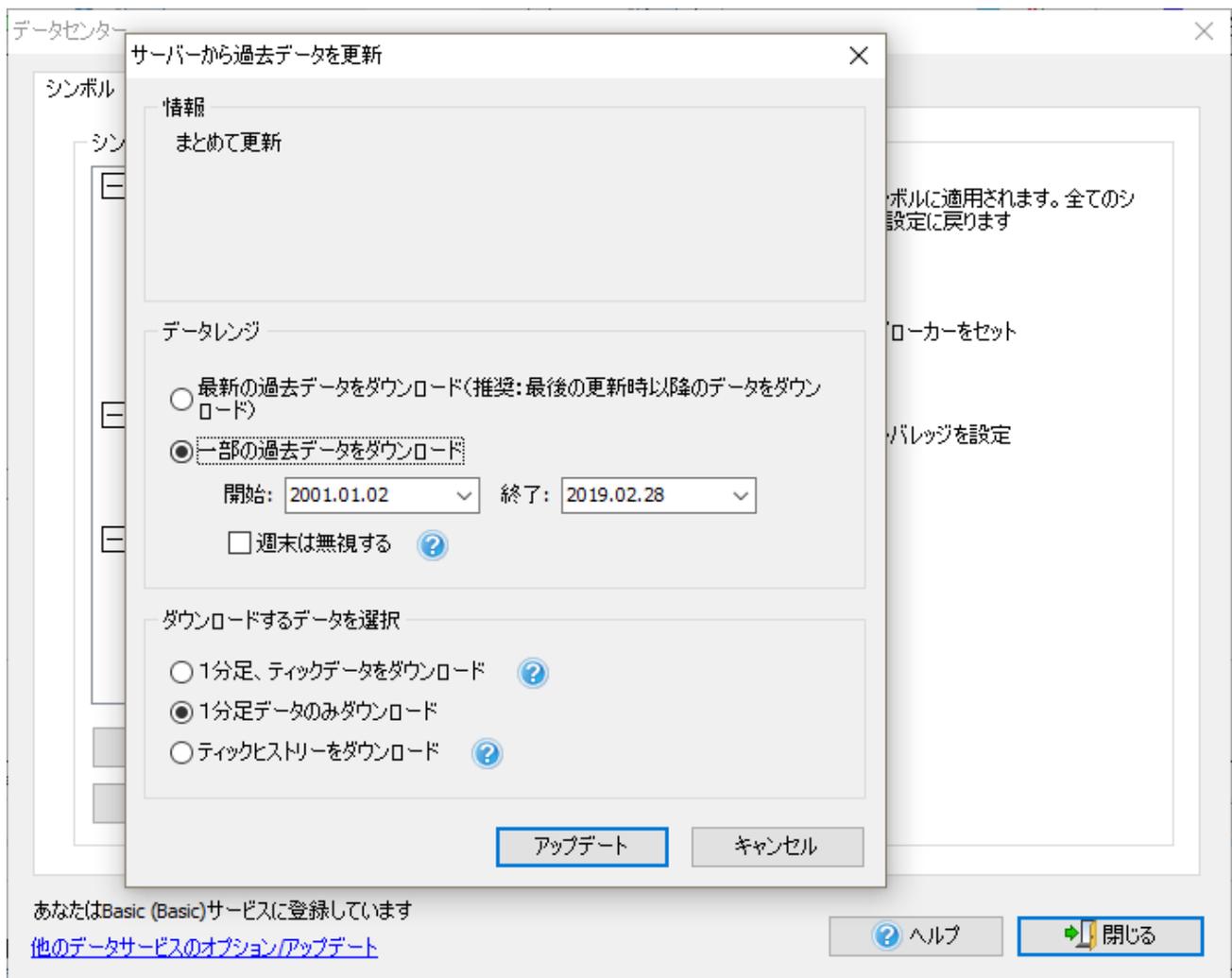
[分足とティックデータを使用する]オプションを有効にした場合、[詳細設定]ウィンドウで[変動スプレッドを使用]オプションが使用可能になります。この機能は、すべてのデイトレーダー（タイムフレームM1、M5、M15、M30、H1）にとって正確なテスト結果を得る為に最も重要です。

設定をしたら、"次へ"ボタンをクリックしてください。

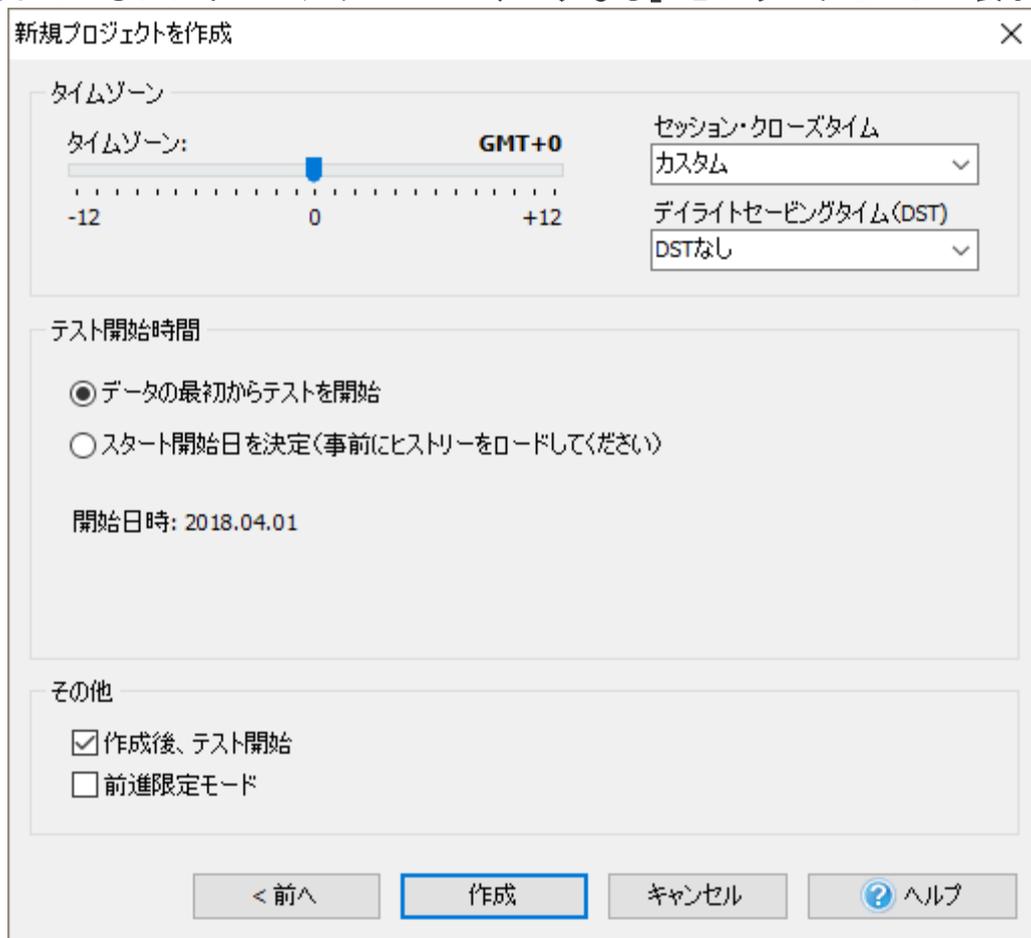
複数の通貨ペア用のプロジェクトを作成し、そのうちの1つにデータがない場合は、次のウィンドウが表示されます。



このステップでは、プロジェクトに同じデータが存在しない期間を確認することができます - 赤で表示されていますこの場合は、“不足データをダウンロード”ボタンをクリックして、この通貨ペアのデータをダウンロードしてください。そして、再度プロジェクトを作成してください。



このステップをスキップしたい場合は、「次へ」ボタンをクリックするだけです。テストの開始後、データが不足しているシンボルのチャートに「データなし」というメッセージが表示されます。



タイムゾーンは選択した全ての通貨ペアに対して、適用されます。
過去データのデフォルトの設定は、GMT+0です。

ドロップダウンメニューの

"セッション終了時間"を使用して、必要なセッションの終了時間に応じてバーの表示を変更することができます。

プログラムには、4つのセッションクローズタイム（シドニークローズ、東京クローズ、ロンドンクローズおよびニューヨーククローズ）とカスタム時間があります。

ドロップダウンメニュー項目の1つを選択すると、タイムゾーンスライダが自動的に対応するGMTに移動します。

デフォルトでは、新しいプロジェクトを作成するときに、サマータイムを適用しないデータが使用されます。必要に応じて、ドロップダウンリストからそれぞれのタイムゾーンに一致するDSTを適用できます。

"データの最初からテストを開始"を選んだ場合は、前のウィンドウで"開始時間"に入れた日付からテストを開始します。

"テスト開始日を決める"オプションを使ってテスト開始日を変更できます。

この場合、好きな日付からテストを開始できます。（"開始日時"へ日付を入れるか、目盛りで選択します）開始日を決めるだけで、全てのデータはチャートに表示されます。

移動平均線などの、昔のデータを使うインジケータやラインを使う場合や、昔のデータを使った分析をする場合に役立つ機能です。

プロジェクトが作成された直後にテストを開始したい場合は、[作成後にテストを開始する]オプションを有効にします。

「フォワードテストオンリーモード」オプションは、実際の状況にできるだけ近いモードを有効にするため、逆戻りしてテストすることはできません。

設定が終わったら"作成"ボタンをクリックし、データの準備をします。

テストは自動的に始まります。

「作成後にテストを開始する」オプションを有効にしなかった場合は、その後「テストを開始する」ボタンをクリックする必要があり、クリック後テストプロセスが開始されます。



テストの開始

過去データを取込み、新規プロジェクトを作って準備をしたら、ストラテジーのテストを開始できます。

テストを開始するには、開始ボタンをクリックしてください。

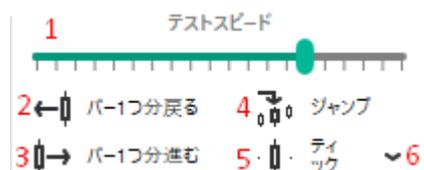


テスト開始後に、開始ボタンは一時停止ボタンに変わります。このボタンを押せば、市場価格分析のため一時停止できます。一時停止ボタンを押すと、表示は再開ボタンになり、再開できます。



注文を入れることができますので、ストラテジーのテストを開始してください。（次のチュートリアルで注文の入れ方について解説しています。）

チャートが動くスピードを変更できますし、一時停止し、「バー1つ分進む」ボタンでロウソク足を進めることもできます。



1. 「テストの速度」スライダーは、価格の変化の速さを定義します。
2. 「バーを戻す」ボタン（一時停止が設定されている場合のみ使用可能）は、現在のタイムフレームから見て1バーを削除します。
例えば、現在のタイムフレームが1時間だったとします。この場合、1時間前に戻り、決済済みの取引があれば、それが復元されることとなります。
*キーボードのBackspaceキーを使ってもこの作業は可能です。
3. 「バーを進める」ボタン（一時停止が設定されている場合のみ使用可能）は、現在のタイムフレームから見て1バー先に進みます。
例えば、現在のタイムフレームが30分だったとします。この場合、30分前に進みます。
*キーボードのSpaceキーでも操作できます。
4. 「ジャンプ」ボタンは、特定の日時へのクイックジャンプ（Go Toオプション）や、時間軸上の必要なポイントの検索（Searchオプション）を行うことができます。



検索

進む

日/時

2018 / 04 / 15 01 : 00

全てのチャートウィンドウで検索する

検索

- お探しの日時を対応する欄に指定してください。
- 「検索」ボタンを押します。

日付を「未来」に設定した場合は、ストラテジールールや損切・利食いによって自動的に注文が執行・決済されますのでご注意ください。過去の日付を入力した場合、注文は削除されます。注文の執行や削除を行わずに、チャート上の特定の日時を検索したい場合は、「検索」オプションを選択してください。

検索

進む

日/時

2018 / 04 / 21 12 : 00

⚠ 注目!

あなたの注文は自動でトレード手法、または損切/利確のルールで決済されます。

検索

- 該当する欄に探している日時を指定します。
- この日付を現在のチャート上だけで探すのか、プロジェクトに関わるすべてのチャートで探すのかを選択します。
- 「検索」ボタンを押します。

5. 1ティックごとに進むボタン。このボタンも一時停止しているときにのみ、使用できます。
(6)で指定したティックパッケージサイズ分でチャートを1つ進めます。
キーボードのF11キーも同じ動作をします。

注意: 設定タブから次の方法で、次の項目を動作するホットキーを変更できます。

Forex TesterはC++やBorland Delphiで書かれた自動売買ストラテジーのテストも行えます。

APIとストレテジーやインジケータの書き方のサンプルは、\Examples\フォルダーを参照ください。

Forex Testerの[ヘルプ]→[APIヘルプ]メニューでAPIヘルプが有効になります。
また、私たちのフォーラムをチェックしてください: [プログラミングレッスン](#)と
[Forex Tester API](#)

クイックテストオプションを使って自動化された戦略をバックテストすることができます (ストラテジータブのクイック・テストボタンをクリック)。

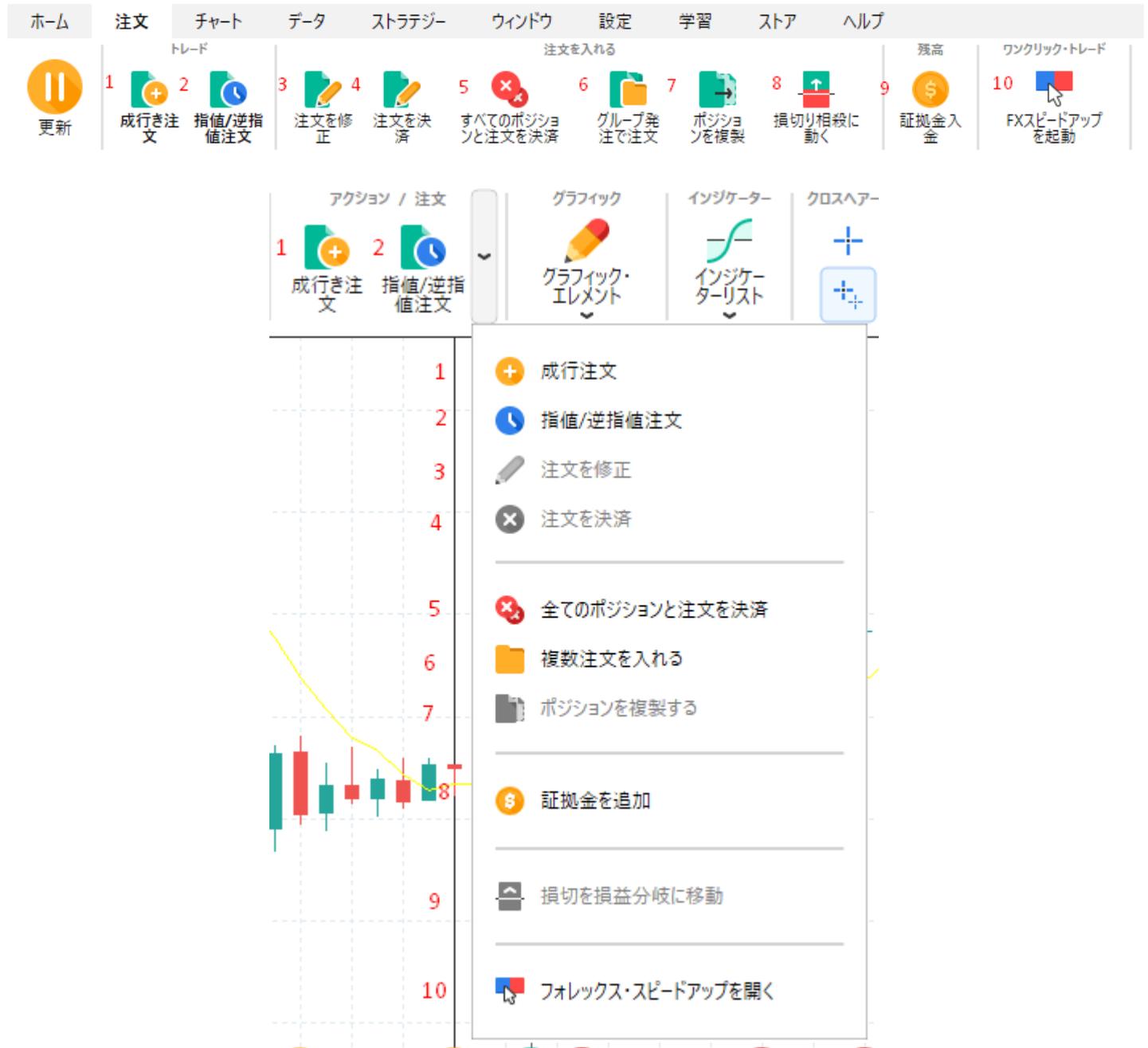


また、ストラテジー開発のため、当社の素晴らしいビジュアル・ストラテジー・ビルダー(EFB)も試せます。

このプログラムの主な主旨は、コード・スキルやトレード経験値の有無に関係なくすべてのトレーダーが、自分にピッタリのEA(エキスパート・アドバイザー)をトレーダーそれぞれの必要に応じ、創作・調整・精度向上が手軽に出来るようつくられました。

注文の入れ方

テスト開始後、注文を入れられるようになります。2つの注文タイプがあります。成行注文（現在のマーケットプライスですぐに売買する）と指値/逆指値注文（プライスを指定し、そのプライ스에チャートがタッチしたら執行される注文）注文タブの次のボタンで、注文・注文の変更・削除できます：



1. 新規成行注文を入れる -

成行注文ダイアログを開きます。（キーボードのF2ボタンでも開きます。）

2. 指値/逆指値注文を入れる - 指値/逆指値注文ダイアログを開きます。（またはF3キー）

3. 注文の修正（F4キー） -

"オープンポジション"タブ、もしくは、"指値注文"タブから、注文を選択してください。注文が入っているポジションの利確と損切を設定できます。

指値/逆指値注文の場合、エントリープライス、利確、損切を設定できます。

また、注文を決済するときにも、このウィンドウから行えます。

4. 選択したポジションの決済 - ポジションを決済します。(F5キー)

最初に、"オープンポジション"タブから注文を選択してください。右クリックのメニューで注文すると指値注文のタブを開けます。このメニューでボタンが追加できます。ホーム(Home)タブの注文メニューから、これらのボタンを複製できます。

5. 全てのポジションと注文を決済(Ctrl+C) -

"オープンポジション"タブ、もしくは、"指値注文"タブにある、エントリーしている全てのポジションを決済し、指値/逆指値注文を削除します。

6. 発注グループを開く(Ctrl+O) - 事前定義したパラメータで発注グループの注文ができます。

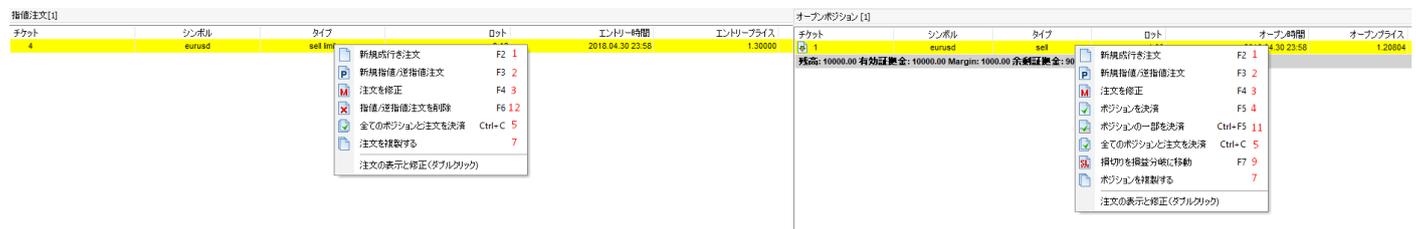
7. ポジションを複製 - 選択した発注と同じ損切り/利確/ロット数の注文を複製できます。

8. 損益分岐点で損切りする - オープンプライスから素速く損切り値の設定ができる。

9. 証拠金の追加 - 仮想口座に証拠金を入金できます。

10. FXスピードアップを開始 - ワンクリック・トレードツールを走らせる。

これらのボタンのほとんどは、「未決済ポジション」と「指値注文」タブのマウス右クリックのポップアップメニューに重複して表示されます。



また、このメニューにはいくつかの追加ボタンがあります：

11. 一部のポジションを決済 (Ctrl+F5)-選択したオーダーを部分的に閉じます。

12. 指値注文の削除 (F6) - 選択した保留中の注文を削除します。

成行注文ダイアログ.

このダイアログから新規に成行注文を入れられます。スポットボタンを使って、チャートから直接プライスを設定します。

また、損切、利確のプライスを直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。

"sell"、"buy"ボタンは、自動計算するときの計算モードの選択になります。売りか、買いか。

「リスク」と「ロット」のラジオボタンを使用して、手動またはリスク管理に基づくロットの計算方法を選択できます。リスクベースのロット計算を選択した場合は、ストップロス値を入力する必要があります。

トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。

1. 「共通」タブ

- シンボル - 取引可能な通貨ペアのドロップダウンリストです。
- ロット - ドロップダウンリストで、手動で設定できる注文のロットサイズを表示します。
- 「リスク%で計算」オプションでは、リスク管理に基づいてロットサイズを定義します。
*
リスクベースのロット計算を選択した場合は、ストップロスの値を入力する必要がありますのでご注意ください。
- 「買い」と「売り」のラジオボタンは、計算モード（売りか買いか）を定義します。
- 「ストップロス」と「利食い」オプションは、SLとTPの値を調整するために使用します。価格を定義するには、単純に直接入力するか、ドロップレットボタンを使ってチャートから直接拾う手動の方法と、右の簡易計算機を使って自動的に行う方法があります。

2. トレーリングストップタブ

この注文のトレーリングストップのパラメータを定義することができます。

1. ブロック状でアクティブ

- すぐに - 注文後すぐにトレーリングストップが有効になります。
- 利益が大きい場合 - 同じ場合 - 注文の利益が選択された値以上の場合にトレーリングストップが有効になります。

2. トレーリング設定ブロック

- トレーリングストップ（ポイント）： - トレーリングストップのサイズをポイントで指定します。

- 変更のステップ(ポイント):-
利益が以前の固定値から選択されたポイント数を超えた場合にストップロスが変更されます。

新規指値/逆指値注文ダイアログ

このダイアログでは新しい指値/逆指値注文を入れることができます。

スポイトボタンを使ってチャートからプライスを選択します。

また、損切、利確のプライスを直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。(この設定により、注文内容が変わる場合があります。)

トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。

指値/逆指値注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: USDJPY

タイプ: Sell Limit

ロット: 0.2 リスク計算 %: 0.01

プライス: 106.95949

損切: 106.95969 × 106.95969 20

利確: 106.95929 × 106.95929 20

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

「共通」タブでは、以下の設定も可能です。

- 買い指値、売り指値、買い逆指値、売り逆指値など、保留中の注文の種類。
- どの価格で注文を執行するか。

注文の種類は、SLとTPの値の計算に影響しますので、ご注意ください。

チャート上で右クリックをして、ポップアップメニューから注文を入れることもできます。

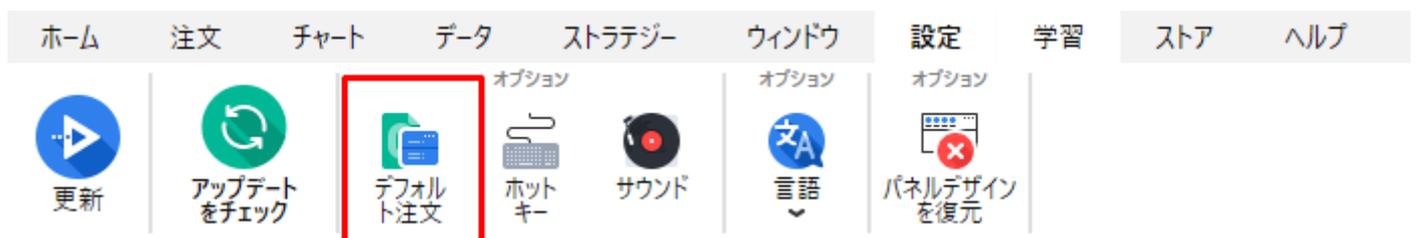


このメニューでは、マウスの右ボタンでクリックした地点の価格をチャート上で表示できます。するとこのように、メニューに価格が表示されます。(107.05508)。この例では、3つの選択肢があります -

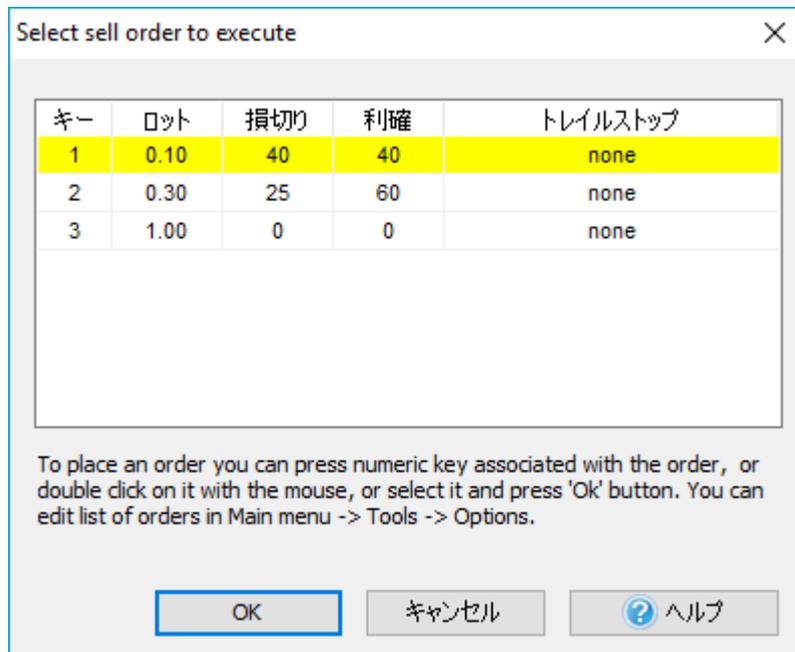
事前に定義されたストップロスで107.05508で売り、その後、この価格で買いストップ注文を出すか、この価格で売り指値注文を出すことができます。

他に2つの注文オプションがあります - 事前に設定したパラメーターで売り、買い注文
ホットキー(Ctrl+B and

Ctrl+S)を使えば、事前に設定したパラメーター（損切、利確、トレイルストップ、ロットなど）で簡単に注文を行えます。設定タブで、デフォルトの発注のパラメータを定義できます。



もし1つの注文しかリストにない場合は、Ctrl+B/Ctrl+S
を押し、注文をすぐにセットできます。もしくは、どの注文を入れるのか、聞かれることでしょう。



注意: 設定タブでこの項目にある動作を定義するホットキーを、変更できます。



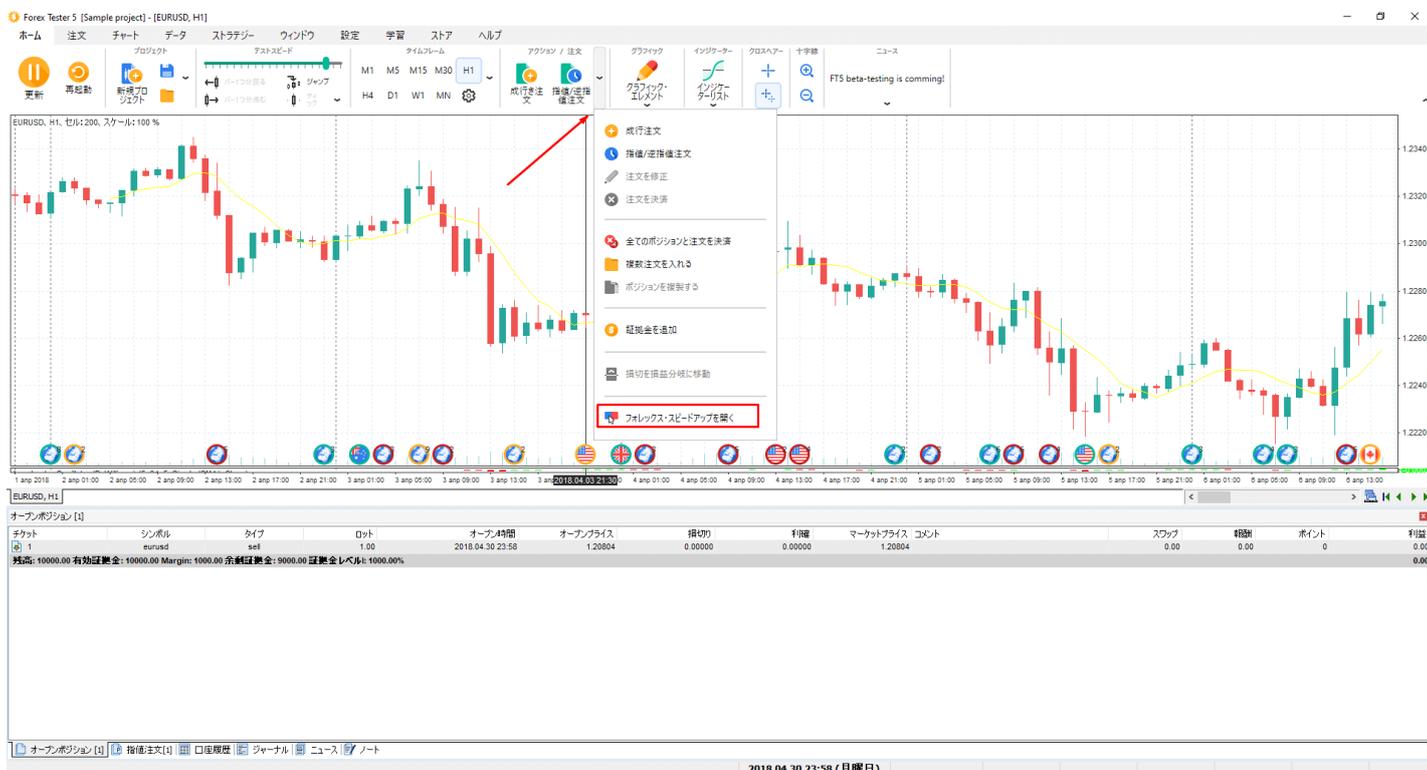
フォレックステスター5には、注文メニューのワンクリック・FXスピードアップツールが搭載されています。では、始めましょう。

FXスピードアップツールを有効にするには、動作/発注-

矢印の先にあるVバーのメニュー→FXスピードアップを開くを選択して開きます。



また、ホーム(Home)タブのアクション/注文メニューからこのボタンを探せます。



初回開始時には、FXスピードアップをインストールできる画面があらわれます。個々の開始ごとに、メイン画面とは異なるツール画面が表示されます。

TYPE	CUR	LOT	SL	TP	ENTRY	OPEN	PROFIT		
30	Buy	EU	0.11	0	0	1.2337	11:49	-2.09	×
29	Buy	EU	0.11	0	0	1.2329	11:24	5.83	×
28	Buy	EU	0.11	0	0	1.2327	10:51	8.91	×
27	Sell	EU	0.11	0	0	1.2327	10:20	-7.92	×
26	Sell	EU	0.11	0	0	1.2328	10:15	-7.26	×

Account Equity: **10029.37** Total profit: **-2.53**

All orders Close orders

ワンクリック・トレード・ツール

- ワンクリックで新規注文
- 損切り値/利確値を一発入力！
- ロットのリスク計算自動機能
- ワンクリックで複数の新規注文
- 注文画面のテンプレートが選べる！

[詳細はこちらへ](#)

ダウンロード

ダウンロードボタンをクリックしてください。ツールはダウンロードされ、あなたのフォレックステスター5に自動追加されます。

一度インストールされたら、ツールは自動で起動します。次の画面があらわれます。



1. 設定ボタン このボタンをクリックすると設定画面を呼びだせます。

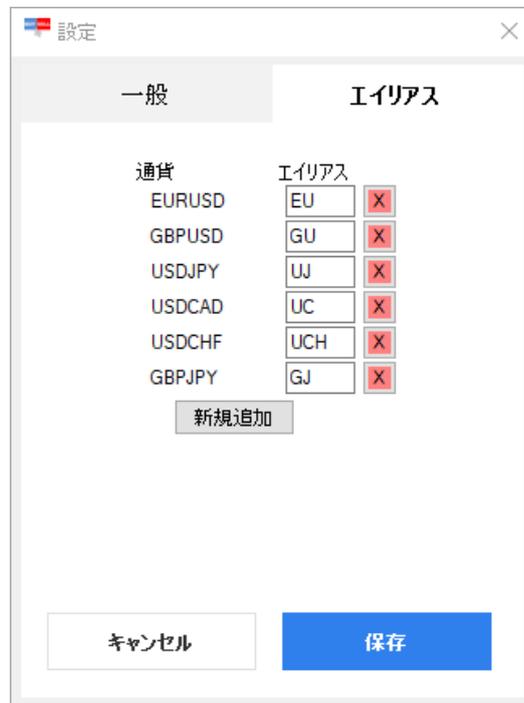
設定画面



画面には2つのタブがあります: 一般とエイリアスです。
一般タブでは、次の設定ができます。

- 不透過率 - 画面表示色の透明性の設定ができます。
- 注文画面を表示 - チェック☑を入れると、注文リストが有効になります。
- 常に最前面に表示 - このモードでは他のソフトウェア画面の最前面に表示できます。
エイリアスタブでは、シンボル・リストの別名が確認できます。
別名を追加したい場合には、新規追加ボタンをクリック→入力欄に入力→エイリアスを追加できます。

エイリアス(別名)を削除する時には、削除したい別名の☒をクリックしてください。



保存するには、**保存ボタン**をクリックしてください。

2. 新規ショートカットボタン

このボタンをクリックすると、新規注文へのショートカット設定画面があらわれます。

新しくなったショートカット画面

注文画面は、おもに2つに分けられます。単独注文とグループ注文です。

単独注文タブの画面表示は次の通りです:



- 成行/指値注文 - 成行き注文と指値注文を選択できます。
- シンボル - シンボル(通貨・取引ペア) の名前。
- 損切り/利確の設定 - 損切りと利確を設定できます。(pips数と価格のオプション設定) 。
- ロット数管理 -
ロット数(口数)のオプション設定では、ロット数(口数)をリスク%とロットサイズ固定値の2種類から選べます。

グループ発注タブでは、パラメーターで定義された複数の発注を同時にエントリーできます。

オーダーグループ追加

単一 複数発注グループ追加

グループ名
sell orders

注文 追加

タイプ	相殺する	ロット	損切	利確
-----	------	-----	----	----

キャンセル 保存

3. 画面を閉じるボタン。

4. 格推移モニター売り/買いの価格をクリックして、売り/買いを変更できます。

5. 注文のためのショートカット。

上記のショートカットはロット数(口数) ベースでリスク%を算出し、発注する場合です。損切り値入力は必須です。

以下では、ロット数(口数) 固定値で発注する場合のショートカットです。

6. 損切り値を入力します。ロット数ベースのリスク%の入力は必須です。

7. 利確値を入れるます。

8. 買いボタン 長いポジションを入れます。

9. 売りボタン 短い売りポジションを入れます。

10. ショートカットの削除ができるボタンです。

FXスピードアップは、スクリーンのどこにでもドラッグできます。ボタン・テキスト・ボックス以外のお望みのどの場所にでも、マウскарソルでつかみ移動できます。

注文の変更

1つまたは複数の注文を出した後（成行き注文または未約定注文）、あなたはその設定の大部分を変更することができます。

成行注文の場合は、ストップロスを変更して利確位置を変更できます。未約定注文の場合は、マーケット価格も変更できます。

また、両方の注文タイプのトレーリングストップパラメータを変更できます。

入れた注文が一つの場合、注文タブ→注文を調整ボタン(またはF4)で注文の変更ができます。

いくつかの注文を出した場合は、最初に未決済ポジションまたは未約定注文のリストから注文を選択する必要があります。

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープンプライス
1	eurusd	sell	1.00	2018.04.30 23:58	1.20804
2	eurusd	buy	1.00	2018.04.30 23:58	1.20804

残高: 10000.00 有効証拠金: 10000.00 Margin: 1000.00 余剰証拠金: 9000.00 証拠金レベル: 1000.00%

オープンポジション [2] | 指値注文 [0] | 口座履歴 | ジャーナル | ニュース | ノート

そして、ツールバーにある"選択した注文を修正"ボタンをクリックしてください。（またはキーボードのF4キーを押してください）



ホーム(Home)タブ→アクション/注文からもこのボタンを探せます。



もしくは、注文の上で右クリックをし、ドロップメニューの"注文を修正"をクリックしてください

。

注文		
	新規成行き注文	F2
	新規指値/逆指値注文	F3
	注文を修正	F4
	指値/逆指値注文を削除	F6
	証拠金を追加	
	出金	
	全てのポジションと注文を決済	Ctrl+C

または、注文をダブルクリックしてください。この場合、注文を入れた時間までチャートが戻りません。注文が入ったところで垂直線引かれ、"注文を修正"ダイアログが表示されます。このダイアログはエントリーしている注文用で、損切や利確の変更を行います。（変更できないパラメーターはグレイになっています。）
"ポジションを決済"ボタンをクリックすれば、決済されます。

注文を修正 #5
✕

一般

トレイルストップ

シンボル:

タイプ:

ロット:

プライス: 

損切: 

利確: 

コメント:

注文を修正

注文を削除

キャンセル

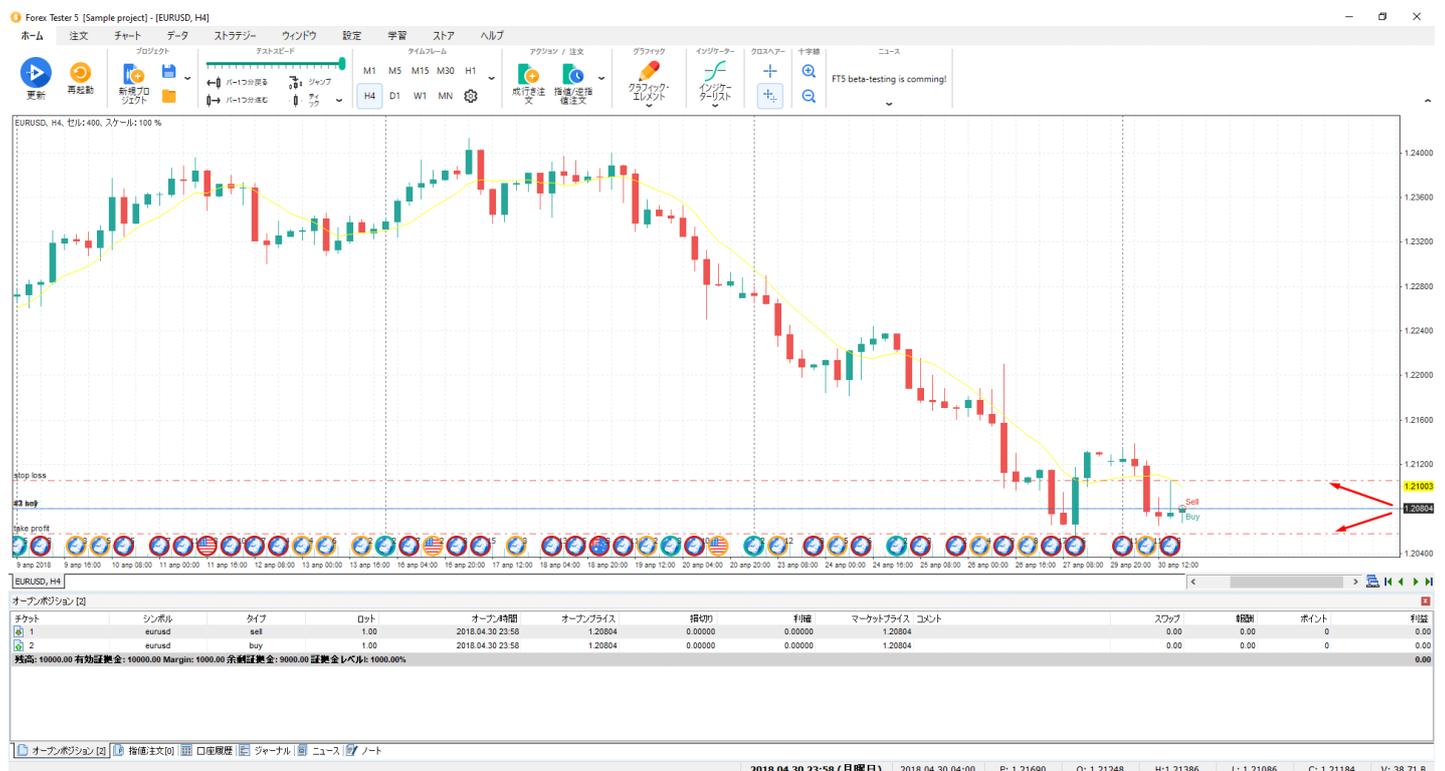
 ヘルプ

このダイアログは指値/逆指値用で、各パラメーターの変更や注文を取り消すことができます。



ツールバーにあるボタン、ホットキー、ドロップダウンメニューからも、注文を決済したり削除したりできます。

さらに、オープンポジションの損切や利確、指値/逆指値注文のエントリープライスの変更は、チャート上にあるラインをドラッグして変更ができます。



表示中のテクニカル指標



ツールバーにあるこのボタン

を使ってチャートへインジケータやオシレーターを追加できます。



また、チャートの上で右クリックをして、"インジケータを追加"を選択して追加することもできます。

あなたの便利さのためにインジケータは機能に従って6つのグループに分けられます：

1. トレンドインジケータ
2. オシレータ
3. ボリュームインジケータ
4. ボラティリティインジケータ

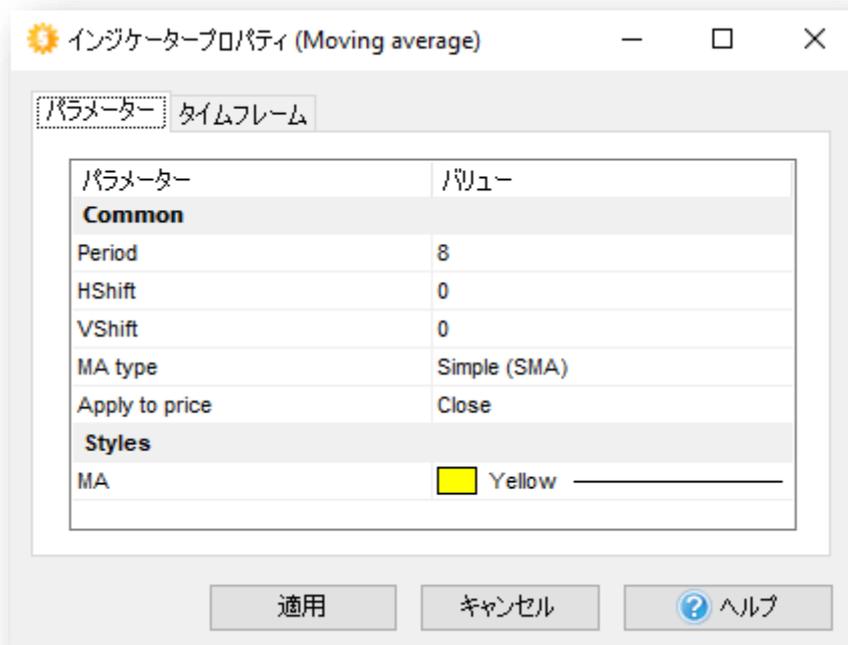
5. アダプティブインジケータ

6. カスタムインジケータ

独自のインジケータを追加した場合、それらはカスタムインジケータサブメニューに表示されます。

注意：インジケータを当社サーバーからダウンロードしてインストール後に、特定インジケータのアイコンが追加されます。

各インジケータを選択後、インジケータのプロパティを設定するダイアログが表示されます。



インジケータのパラメータを変更するには、項目欄をダブルクリックするか、左クリックで選択後、"Enter"キーを押してください。

設定項目により、ドロップダウンメニューから選択したり、数値を選択する場合があります。

Common	
Period	8
HShift	0
VShift	0
MA type	Simple (SMA)
Apply to price	Close
Styles	
MA	 Yellow

Common	
Period	8
HShift	0
VShift	0
MA type	Simple (SMA)
Apply to price	Simple (SMA)
Styles	
MA	 Yellow

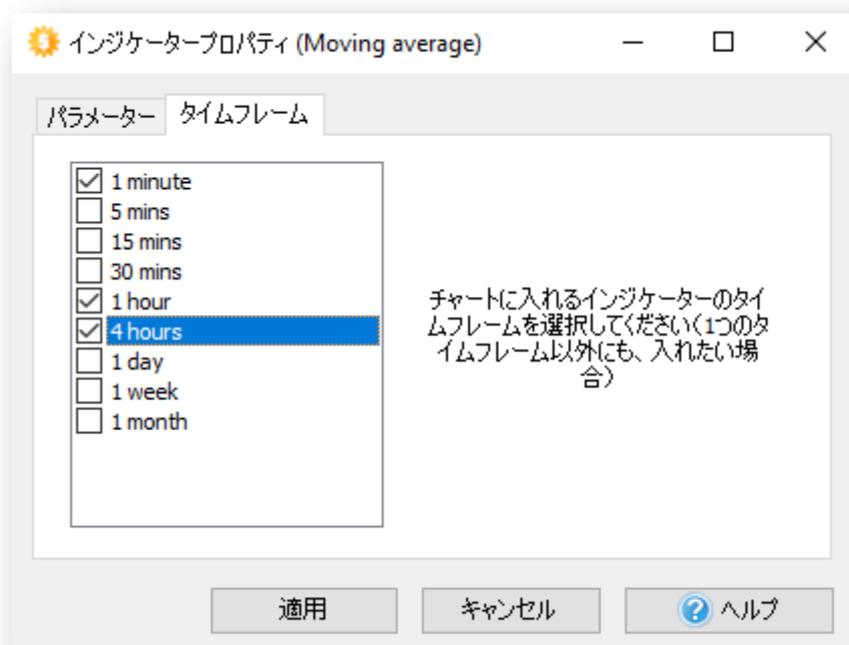
変更をキャンセルするには、キーボードの"Esc"キーを押してください。変更を行うなら、"Enter"キー、または"Tab"キーを押すか、マウスの左クリックをしてください。

各インジケータは表示されているタイムフレームとリンクするようになっています。たとえば、1時間足にインジケータを入れたなら、他の時間足でそのインジケータは表示されません。（5分足、1分足など）

これはソフトウェアの最適化のために行っています。このようにしないと、テストのスピードが遅くなってしまいます。

そのため、テストに必要な時間足だけにインジケータを表示することをおすすめします。

"タイムフレーム"タブから、インジケータを入れる時間足を選択できます。



インジケータを編集するときは、インジケータのライン上で右クリックをしてください。次の画面が表示されます。



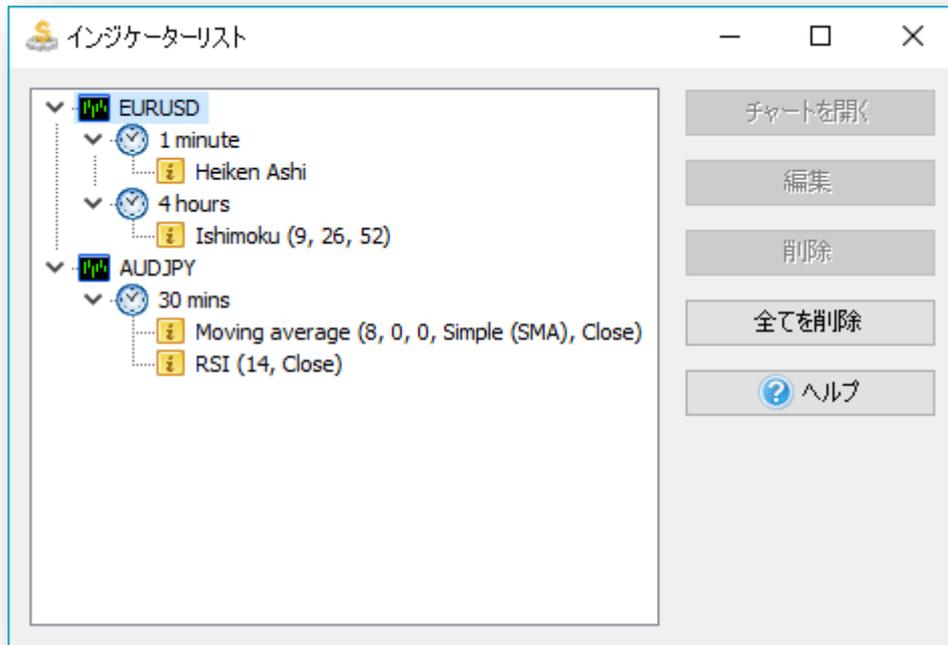
インジケータのプロパティを編集 ("インジケータを編集"ボタン) するか、チャートから削除 ("インジケータを削除"ボタン) するか、選択できます。

オシレーターウィンドウには、2つ以上のインジケータを同時に入れることもできます。
オシレーターウィンドウの上で右クリックをし、「インジケータをウィンドウに追加」から追加をしてください。
オシレータをウィンドウを削除した場合、そのウィンドウに入っている全てのインジケータが削除されます。



また、すべてのチャート・時間枠で使用する全てのインジケータは、ツールバー・ボタンのインジケータ・リスト→現在のチャートで確認・管理できます。





ここで、インジケータの編集、インジケータの削除、すべてのインジケータをまとめて削除ができます。

カスタマイズした.dll拡張子のインジケータをインストールするにはインジケータ・リスト→新規インジケータをインストールボタンで行います。

インジケータをインポートすると、インジケータ・リスト→カスタム・サブメニューで見られます。

インジケータ・リスト→新しいインジケータ・ボタンをインストール

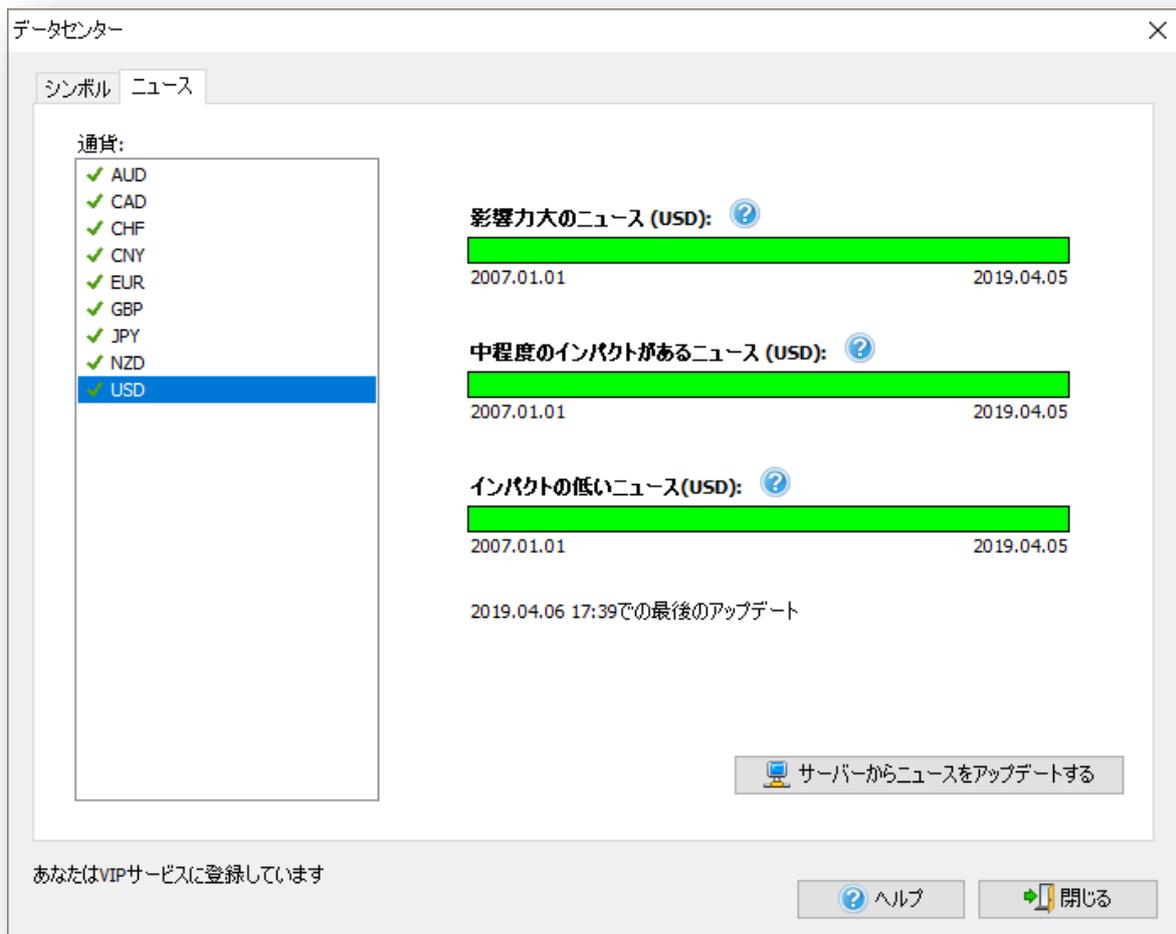
インジケータ・リスト→カスタムサブメニュー

過去ニュース

Forex Tester 4およびForex Tester 5では、ニュースカレンダーを使用することができます。ニュース更新はデータセンターウィンドウからアップデートします。データタブのデータセンターボタンを使い、ウィンドウを立ち上げてください。



左側の[データセンター]ウィンドウの[ニュース]タブには、右側にデータが表示されているサーバーの通貨の一覧が表示されます。3本のバーで、購読に応じたニュースの利用可能性を示します。それぞれの線は、表示されたニュースの開始～終了日を示します。線の色が緑なら、該当期間のデータはすでにダウンロード済であることを示します。バーが灰色の場合、バーの下に指定された期間のニュースがサーバー上で利用可能です。ニュース情報が最後に更新された日時がバーの下に表示されます。



ベーシック（Forexite社の無料データ）購読では、米ドル通貨のメジャーニュースのみが利用可能です。

他のすべての通貨は、標準およびVIP購読で利用できます。

有料データサービスを購読するには、[購読のアップグレード]ボタンをクリックします。

[サーバーからニュースを更新]ボタンをクリックすると、ニュースをすぐに更新できます。

何らかの理由でニュースを更新できない場合は、情報メッセージが表示されます。

デフォルトでは、ニュース表示は有効になっており、チャートの下部にフラグとして表示されます。

フラグの境界線の色（赤、黄、緑）は、このニュースの重要性を示しています。



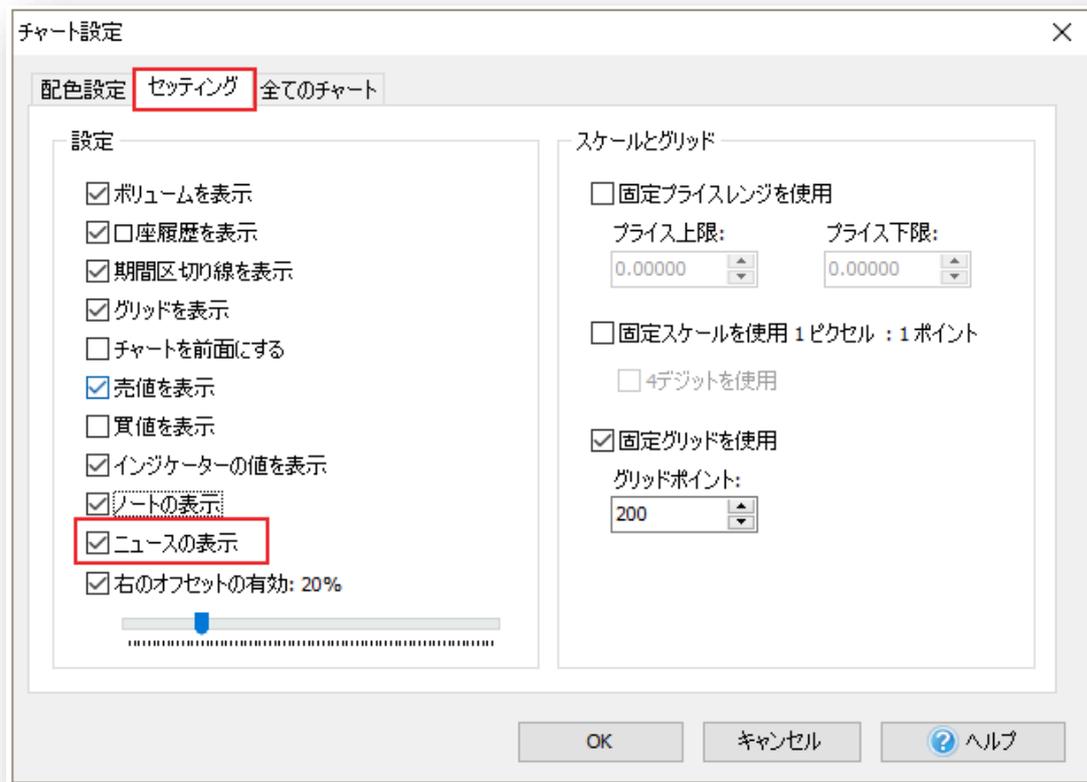
たとえば、赤いフラグのライン-

重要性の高いニュース、このニュースの発信後、実際の数値が発表された後にニュースの影響を受けて通貨ペアの急激な下落/上昇率が予想されます。

黄色：ニュースによって、おそらく少し重要な市場の変動を引き起こすでしょう

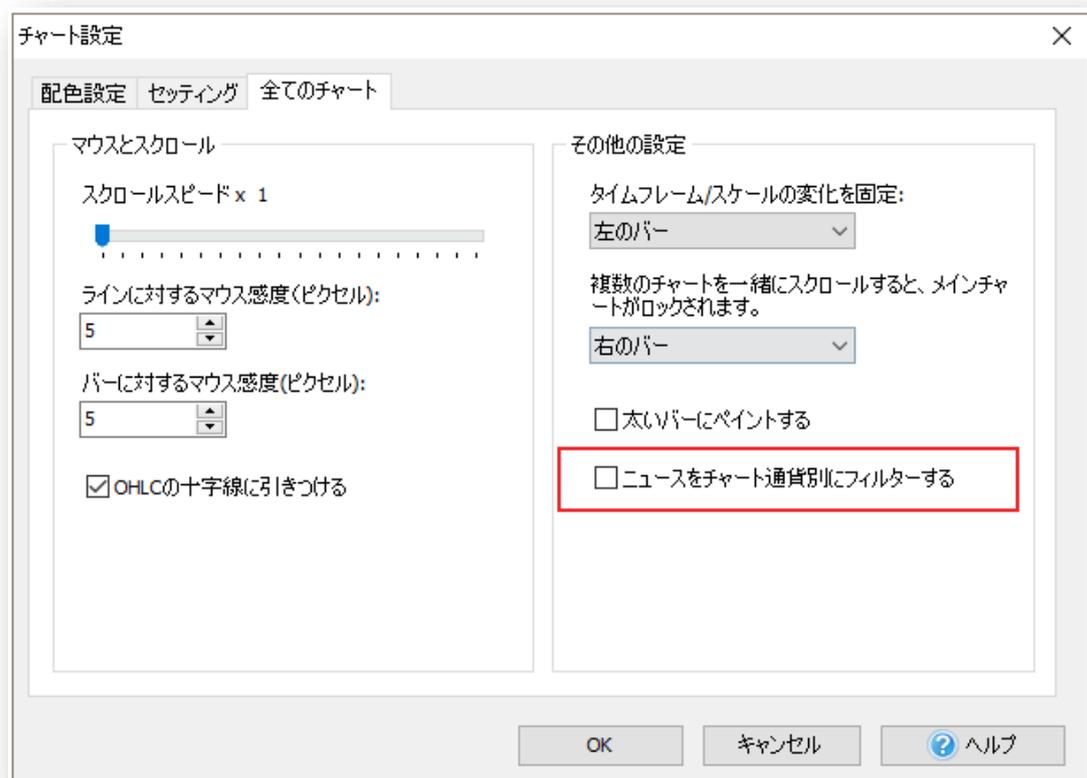
緑のフラグのライン - 重要性が低く、金利の急激な変動は予想されません。

チャートにニュースを表示しないようにするには、マウスの右ボタンをクリックして[ニュースを表示]項目のチェックを外すか、マウスの右クリック=>チャート設定=>設定=>ニュースの表示オプションのチェックを外します。



[チャート設定]ウィンドウ ->

[すべてのチャート]タブでは、チャートの通貨によるニュースのフィルタリングを有効にできます。対応するオプションを有効にすると、チャートに含まれる通貨のニュースのみが表示されます。



画面下部に[ニュース]タブがあります。デフォルトでは、[ジャーナル]タブの右側にあります。

このタブには以下の項目があります。

- 時間 - ニュース発表の日時
- シンボル - このニュースが関連するシンボル（通貨、銘柄）
- イベント - ニュースの名前
- 優先度 - ニュースの重要性。
- 速報値 - 実際のニュースの数値の結果
- 前回は - 前回のニュースの数値の結果
- 予測値 - ニュースの予測値

[ニュース]タブとチャート上のすべてのニュースが同期されています。

[ニュース]タブの適切なラインをクリックすると、それが強調表示されチャートがそれぞれの対応するニュースアイコン（フラグ）に移動します。この場合、フラグは白い縦線でマークされます。



チャート上の対応するニュースのフラグにカーソルを合わせると、ニュースに関する情報のポップアップが表示されます。

異なるシンボルに関する複数のニュースが一度に表示される場合、ニュースアイコンは地球マークで1つのアイコンにまとめられます。

同時に表示されているニュースが1つ以上の場合、アイコン上にその時点のニュースの数を表示する数字が表示されます。

このアイコンの上にマウスを移動すると、これらのニュースの情報がポップアップウィンドウに表示されます。

トレード戦略でニュース情報を利用し易いように、[ニュース]タブのフィルタを使用できます

「フィルタ表示」ボタンをクリックするだけです。

日/時	シンボル	イベント	プライ...	アクチュアル	フォーキャスト	過去
2018.04.05 13:30	USD	Trade Balance		-57.6B	-56.9B	-56.7B ^
2018.04.05 15:30	USD	Natural Gas Storage		-29B	-29B	-63B
2018.04.05 17:00	CHF	Gov Board Member Maechler Speaks			0	0
2018.04.05 18:00	USD	FOMC Member Bostic Speaks			0	0
2018.04.06 00:00	CNY	Bank Holiday			0	0
2018.04.06 00:30	JPY	Household Spending y/y		-0.9%	0.3%	1.9%
2018.04.06 01:00	JPY	Average Cash Earnings y/y		1.2%	0.5%	1.2%

2018.04.10 08:59 (火曜日) 2018.04.05 11:00 P: 0.00000 O: 1.22797 H:1.22815 L: 1.22632 C: 1.22657 V: 59600800

フィルタ名の近くにあるドロップダウンリストをクリックすると、次の項目を選択できます。

- ニュースが表示された日時。
- プロジェクトに関連している1つ以上のシンボル。
- 高、中、低の重要なニュースのみを表示します。

[適用]ボタンをクリックすると、選択したすべてのフィルタがリストとプロジェクト内のチャートに表示されるニュースに適用されます。

日/時	シンボル	イベント	プライ...	アクチュアル	フォーキャスト	過去
2018.04.05 13:30	USD	Trade Balance		-57.6B	-56.9B	-56.7B ^
2018.04.05 15:30	USD	Natural Gas Storage		-29B	-29B	-63B
2018.04.05 17:00	CHF	Gov Board Member Maechler Speaks			0	0
2018.04.05 18:00	USD	FOMC Member Bostic Speaks			0	0
2018.04.06 00:00	CNY	Bank Holiday			0	0

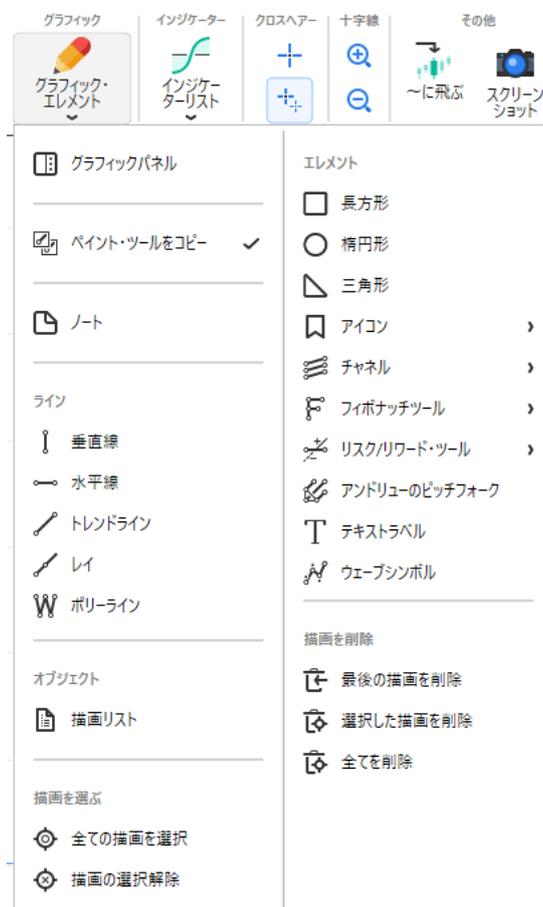
2018.04.10 08:59 (火曜日) 2018.04.05 09:30 P: 1.22289 O: 1.22787 H:1.22835 L: 1.22732 C: 1.22761 V: 61232300

罫線描画ツールの使用方法

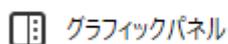
Forex Testerは多くのチャートツールを揃えています。

- ポインタ（矢印ポインタ、十字ポインタ）
- ライン（垂直線、水平線、トレンドライン、レイ、ポリライン）
- 図形（長方形、円、三角形）
- サイン（親指のアップとダウン、上矢印、下矢印、ストップサイン、チェックサイン、左右のプライ斯拉ベル）
- フィボナッチツール（フィボナッチリトレースメント、フィボナッチタイムゾーン、フィボナッチファン、フィボナッチアーク、フィボナッチエクステンション）
- チャネル（フィボチャネル、線形回帰チャネル）
- アンドリューのピッチフォーク
- テキストラベル
- ウェーブシンボル
- リスク/報酬ツール

描画ツール。



ボタンをクリックすると、グラフィックパネルが表示され、すべてのグラフィックツールを便利に



使うことができます。



グラフィックパネルはフローティングタイプで、画面上の任意の場所に自由に移動できます。また、パネルは縦にも横にも表示することができ、Xボタンを押すといつでも閉じることができます。

パネルのボタンを見てみましょう。



- ボタン

十字線は、チャート上の位置を指定および測定するために使用する移動可能な線です。

十字カーソルモードでマウスの左ボタンを押したままいずれかのエリアにドラッグすると、次の情報が得られます。

1. 十字線の始点と終点との間のローソク足の数。
2. ピップスとパーセンテージの価格の変化。
3. 十字線の始点と終点の間隔（日/時/分）。



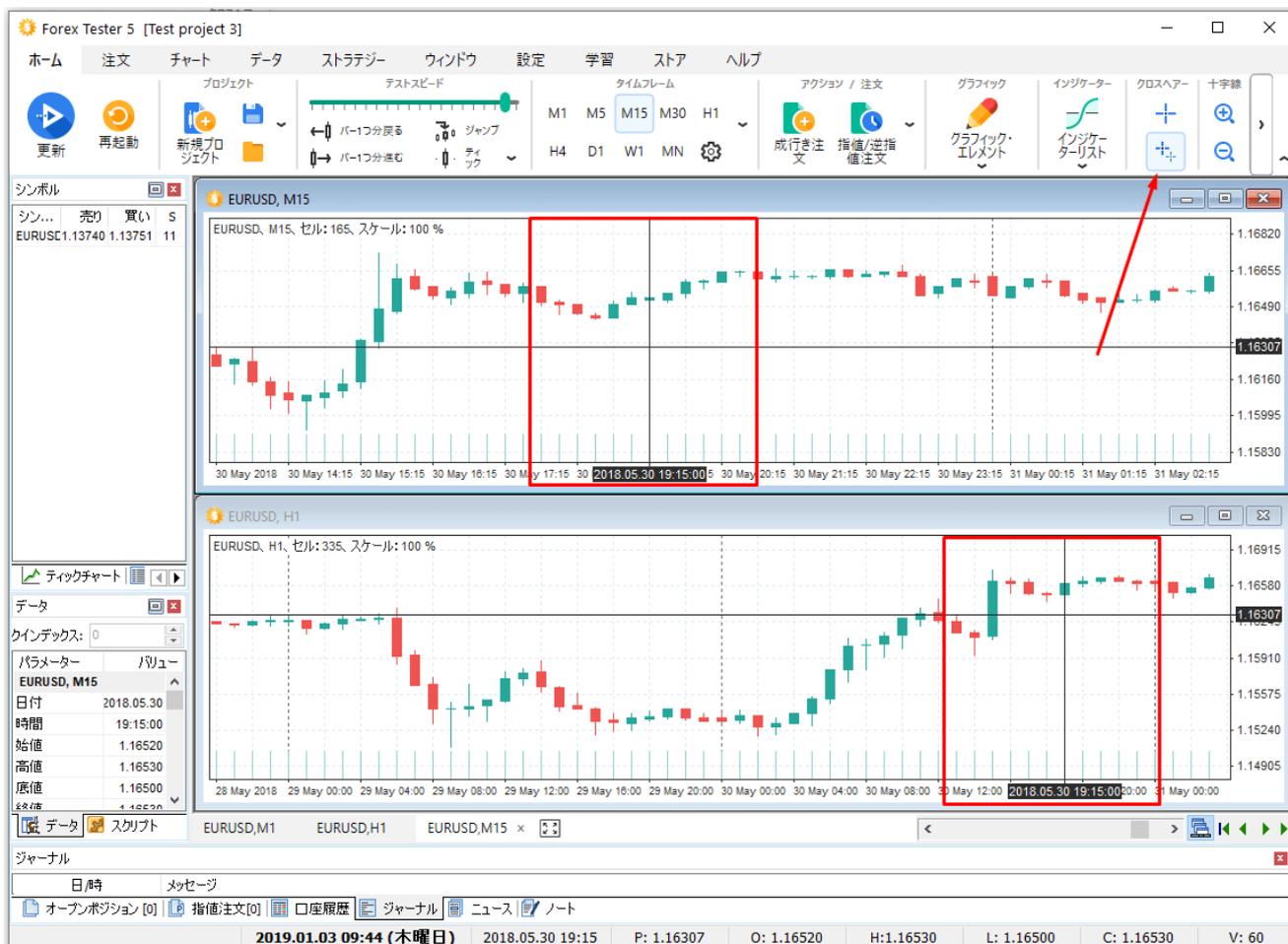
クロスヘア



- このボタンをクリックすると、すべてのチャートで十字線を同期できます。

このモードが有効になっていると、すべてのチャート上に十字型マウスポインタが表示され、すべ

ての時間枠の違いに応じて表示されます。グローバル十字線カーソルを有効/無効にするには、ツールバーのボタンをクリックします。それから十字線カーソルを通常通りに使用してください。



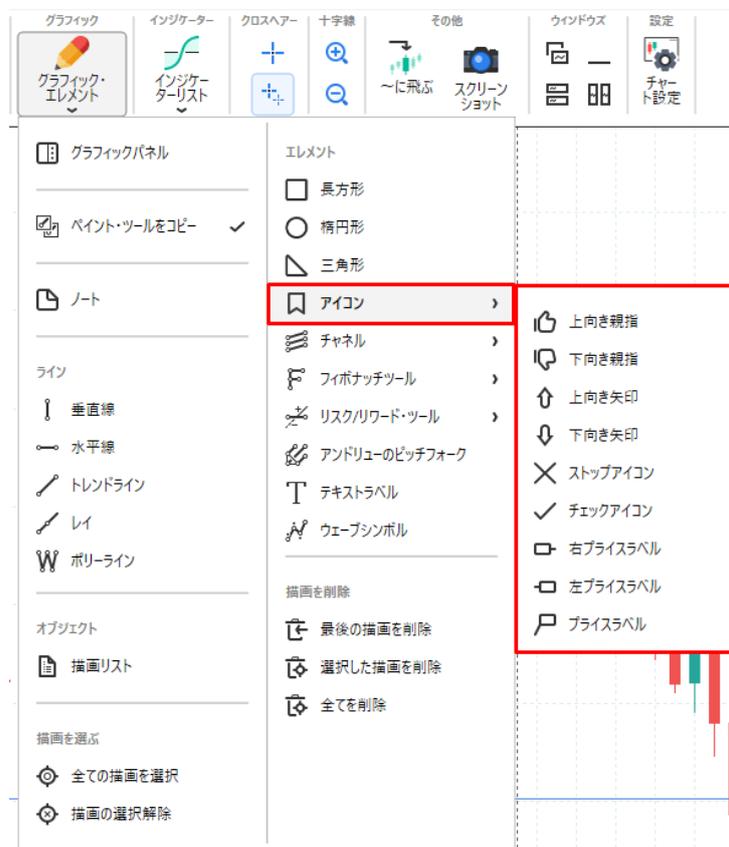
ラインを引くのはとても簡単です。引きたいラインボタンをクリックし、開始ポイントで左クリックをし、マウスを移動させ、次のポイントで左クリックをしてください。（垂直線、水平線を引く場合は、左クリック1回だけです）

描画をやめたいときは、右クリックをしてください。描画作業を停止します。

ポリラインやアンドリュウのピッチフォークのように2点以上をクリックしなくてはならない場合もあります。

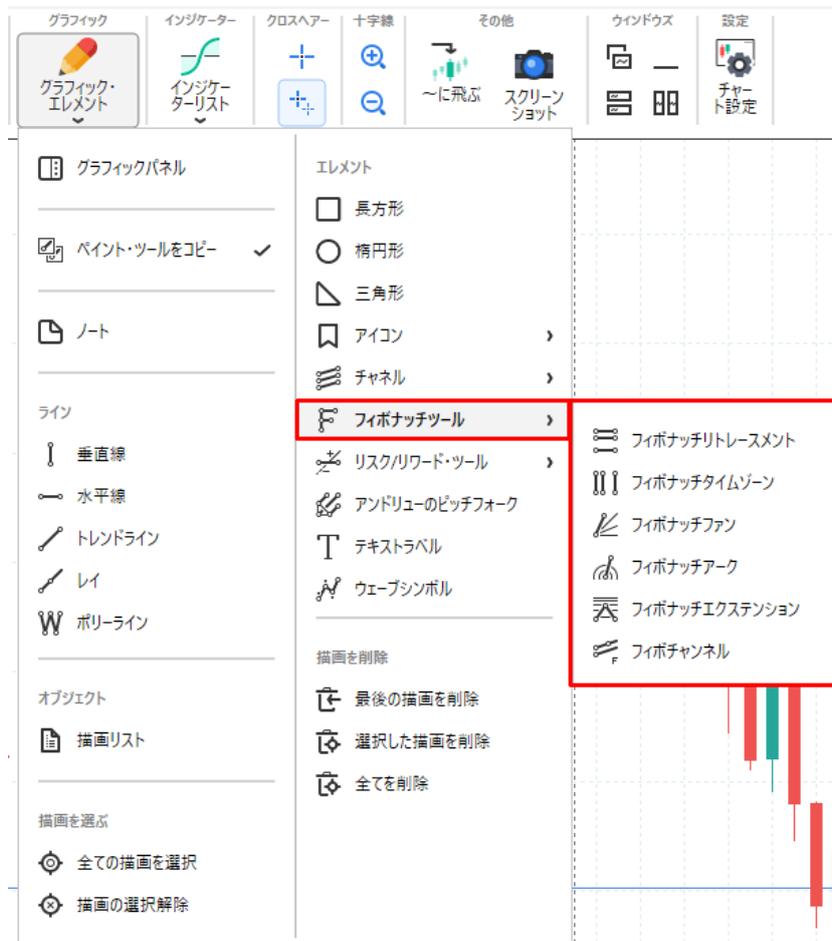


チャンネルグループには、フィボナッチ・チャンネル・ツールとリニア・リグレーション・チャンネルがあります。ボタンを選択してクリックし、開始点を決めます。次に終点をマウスで決定し、左クリックで描画します。チャートに記号を追加する、あるいは選択したいアイコンのボタンをクリックします。



フィボナッチツールは、5つのチャート分析ツールで構成されています：

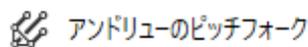
フィボナッチ・レトレースメント、フィボナッチ・タイムゾーン、フィボナッチ・アーク、フィボナッチ・ファンとフィボナッチ・エクステンションです。



これらのツールには、3つの共通の法則があります。

1. **描画エレメント**→**フィボナッチツール**メニューからツールを選びます。
2. 始点を決め、左クリックします。
3. 次のポイントを決めたら、マウスの左クリックで描画します。

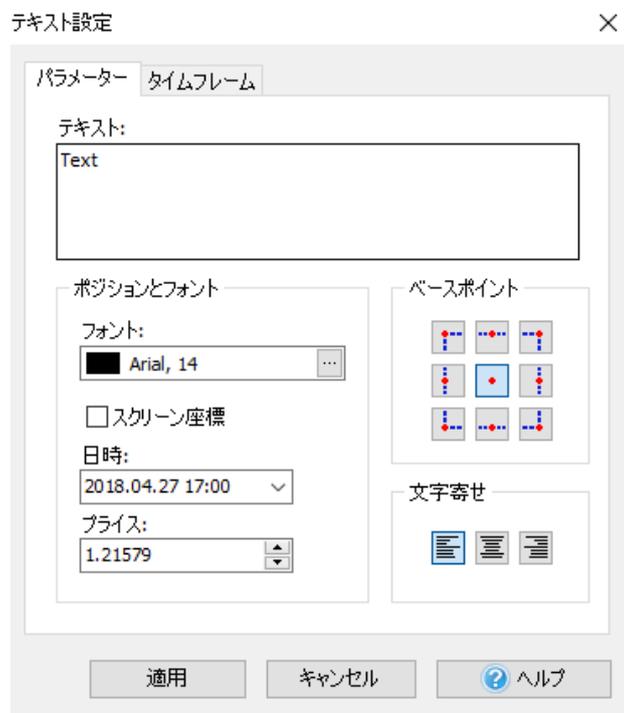
フォレックステスターには、アンドリュウのピッチフォークがあります。ボタンをクリックして、アンドリュウのピッチフォークを追加できます。



マウスの左クリックで基点を設定し、三角形を描くように描画します。マグネット・モードを有効にすると、ローソク足のコントロール点を把握し、三角の二点に引き寄せられます。

テキスト・ラベル・ボタンで、チャートにテキストを書き込めます。

キーボードのCtrl+Tでも、**テキスト・ラベル**の追加ができます。追加したら、マウスで追加したラベルを表示したい位置に移動させます。**テキスト設定**のウィンドウが表示されます。



このウィンドウでは、チャートに表示されるテキストの書き込み(フォント・サイズ・色の設定・テキスト入力)ができます。テキストの追加を終了するには、**適用**ボタンをクリックしてください。このあと、チャート上にテキストが表示されます。



テキスト・ラベルの内容を変更したい場合には、テキスト上でマウスを右クリックし、**テキストの編集**を選択し、変更してください。

ウェーブシンボルツールは、チャートにマークされる表示をウェーブのマークを便利にします。それぞれのシンボルを選択し、左クリックをして、チャートに入力します。

	推進波	調整波 シンプル	調整波 コМПレックス	不確定なスタート
	[I] [II] [III] [IV] [V]	[a] [b] [c] [d] [e]	[w] [x] [y] [z]	[I] or [a] [II] or [b] [III] or [c]
	(I) (II) (III) (IV) (V)	(a) (b) (c) (d) (e)	(w) (x) (y) (z)	(I) or (a) (II) or (b) (III) or (c)
	I II III IV V	a b c d e	w x y z	I or a II or b III or c
	[1] [2] [3] [4] [5]	[A] [B] [C] [D] [E]	[W] [X] [Y] [Z]	[1] or [A] [2] or [B] [3] or [C]
	(1) (2) (3) (4) (5)	(A) (B) (C) (D) (E)	(W) (X) (Y) (Z)	(1) or (A) (2) or (B) (3) or (C)
	1 2 3 4 5	A B C D E	W X Y Z	1 or A 2 or B 3 or C
	[i] [ii] [iii] [iv] [v]	[a] [b] [c] [d] [e]	[w] [x] [y] [z]	[i] or [a] [ii] or [b] [iii] or [c]
	(i) (ii) (iii) (iv) (v)	(a) (b) (c) (d) (e)	(w) (x) (y) (z)	(i) or (a) (ii) or (b) (iii) or (c)
	i ii iii iv v	a b c d e	w x y z	i or a ii or b iii or c

シンボルを続けて入力する

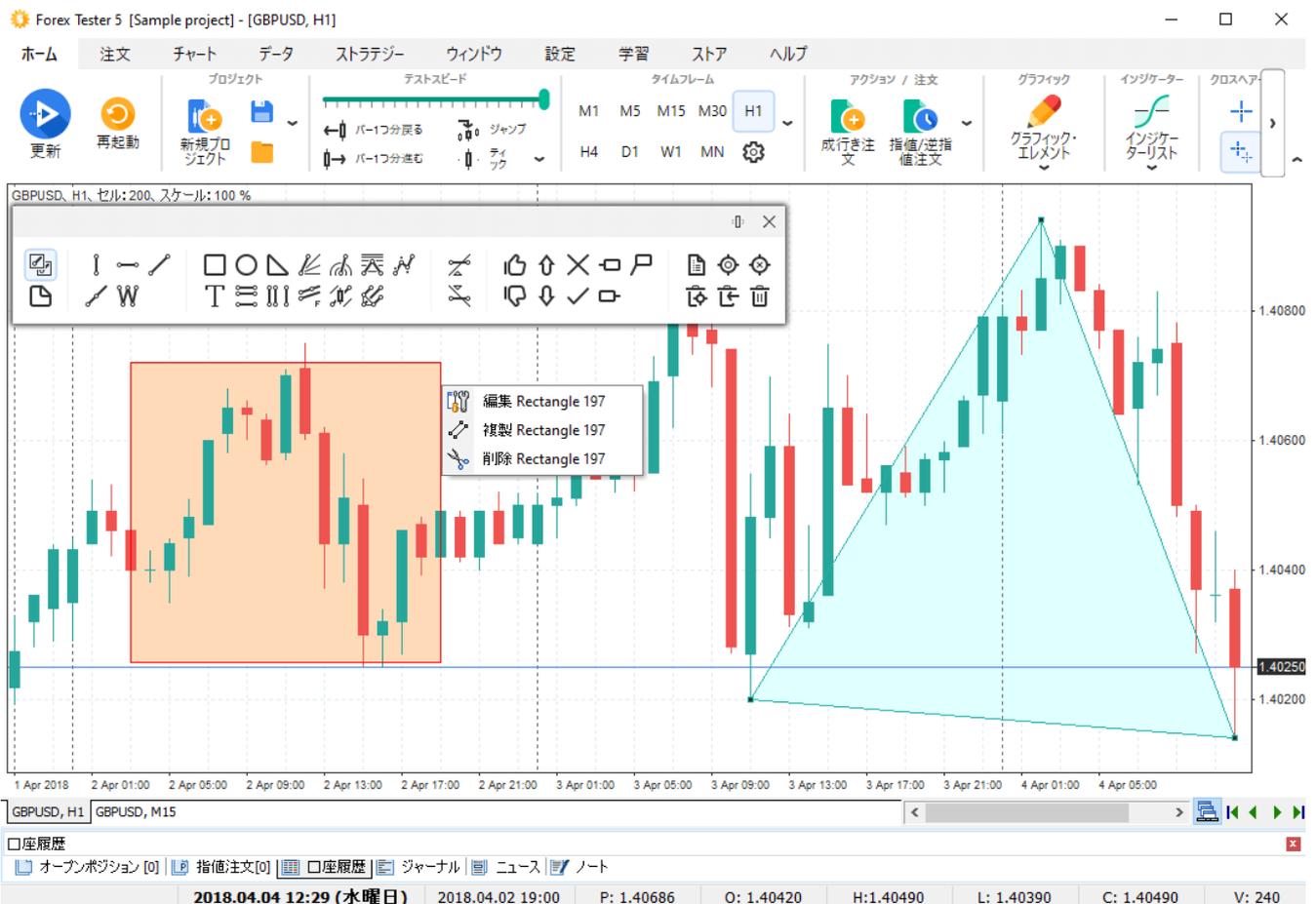
フォント 1: フォント 2: フォント 3:

たとえばリストの[I]一回左クリックすると[I]が、二回左クリックすると、[II]を表示できます。

各ツールには独自のプロパティがあります。

編集したいときは、描画した図形上で右クリックをして"編集"を選んでください。

ツールの複製もできますし、削除も行えます。



ツールを選択したいときは、ダブルクリックをしてください。

図形上に白い丸がでますので、そこをクリックしながら変形させたり、移動させたりします。

この状態キーボードのDeleteボタンを押せば、選択されているすべての図形が削除されます。

選択をやめたいときは、再度、図形上でダブルクリックをしてください。

描画ツールを使うときに便利なホットキーを紹介します。

Ctrl + G - チャート上のすべての描画を選択する

Ctrl + D - チャート上のすべての描画を非選択状態にする

Ctrl + Del - 最後に追加された図形を削除する

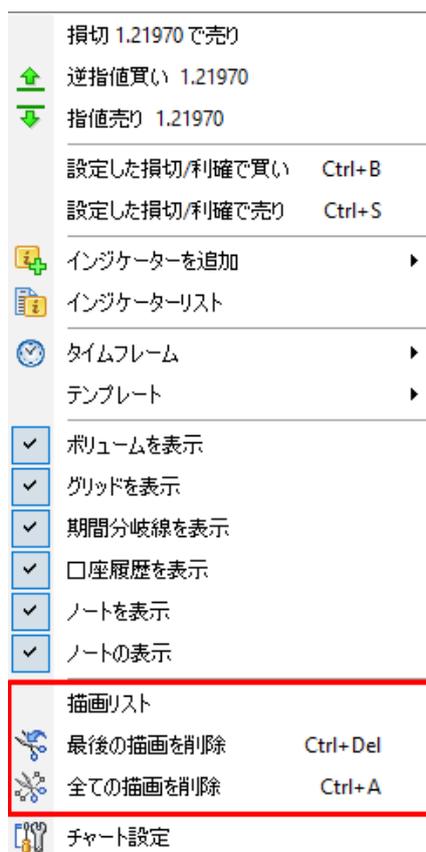
Ctrl + A - すべての図形をチャートから削除する

Delete - 選択した図形を削除する

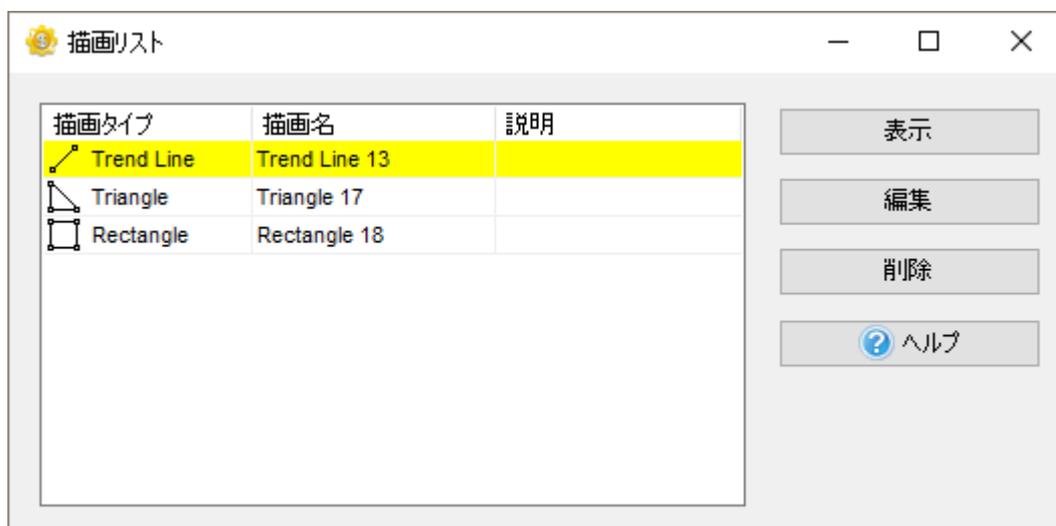
設定タブ上のホットキー ボタン

右クリックで描画エレメントを立ち上げる。からショートカットが確認できます。

このメニューから、描画のリストを開けます。リストには、今使っているチャートに入れた図形が表示され、変更や削除ができます。



描画リストダイアログは下記です。



1つの通貨ペアのすべてのチャートと時間枠でグラフィカルツールを同期させるには、[ペイント]ツールバーのボタン  を使用します。

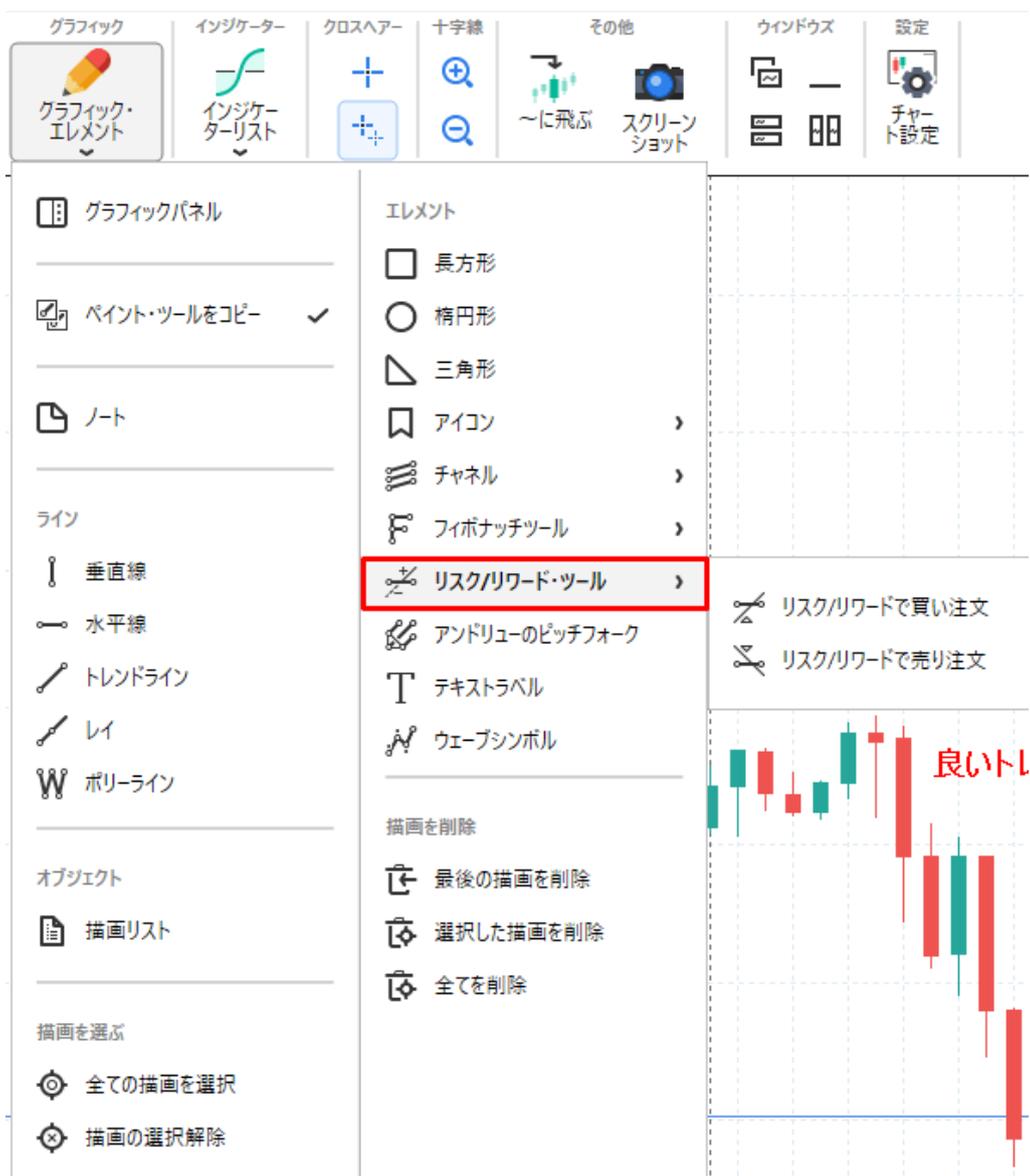
このモードが有効になっていると、チャートの1つに作成されたすべての新しいグラフィカルオブジェクトは、同じ通貨ペアのすべてのチャートに表示されます。

たとえば、1つのチャートにトレンドラインを追加すると、それがすべてのチャートに表示されます。

同様に、（同じ通貨ペアの）異なるチャート上に作成されたグラフィカルツールは同期されています。それを削除すると、関連する他のツールも残りのチャートから削除されます。

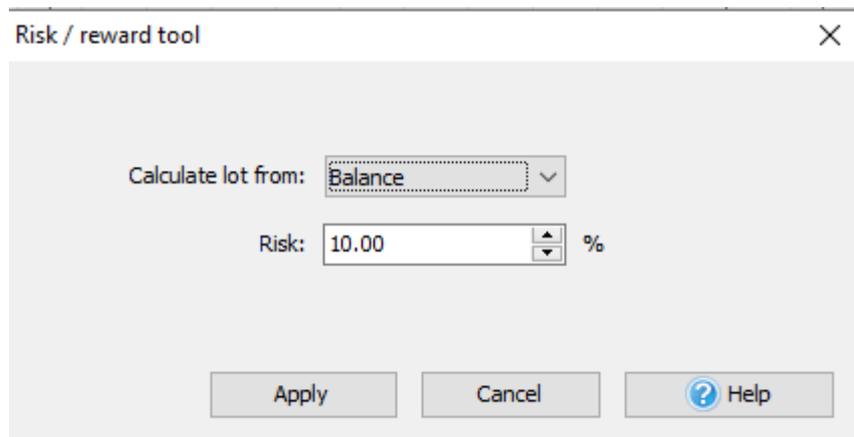
リスク／リターン・ツールは、初期設定に応じて、買いまたは売りの取引の潜在的な損失と利益の差を表示します。

このツールは、「グラフィックエレメント」メニュー（もしくは「グラフィックパネル」）の中にあります。



ツールの描画を開始するには、リスク/リターンを確認したい取引タイプを選択し、リスク/リワードの買いか、リスク/リターンの売りかを選択する必要があります。

必要なリスク/リターンタイプをクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



Risk / reward tool

Calculate lot from: Balance

Risk: 10.00 %

Apply Cancel Help

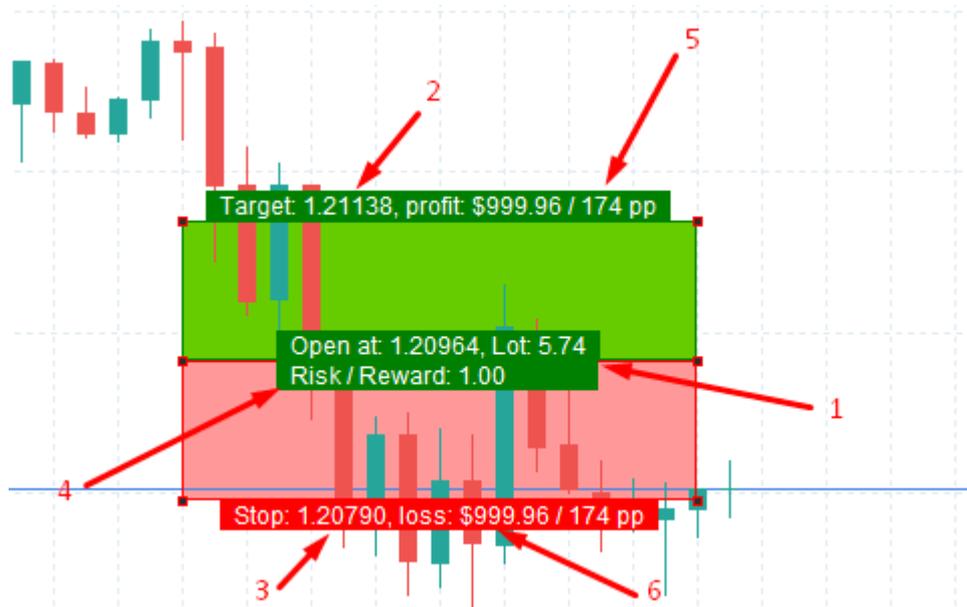
ロット（ポジションサイズ）は残高（デフォルト）、有効資金、カスタムのいずれかの値に基づいて計算することができます。

また、リスクを定義し、「適用」をクリックして承諾してください。

チャート上でツールが表示される場所を選択します。

描画ツールでは、今後の取引に関する以下の情報が表示されます。

1. ロット（ポジションサイズ）。
2. 利益確定レベル。
3. 損切のレベル。
4. リスクとリターンの比率。
5. ドルとポイントでの利益。
6. 米ドルとポイントでの損失。



なお、チャートに適用した後も、ツールの移動、サイズ変更、プロパティの変更、SL（損切）/TP（利確）レベルの変更はいつでも可能です。この場合、すべての値は自動的に再計算されます。

SLやTPのレベルを変更する必要がある場合は、該当する長方形の外側の角を上下にドラッグしてください。

名称、スタイル、ロット計算のリスクなど、ツールのいくつかのパラメータを変更するには、図の境界線または角をマウスの右ボタンでクリックし、「編集」を選択してください。

また、このツールでは指値注文を出すこともできます。図の枠や角を右クリックして、メニューから「指値注文を出す」を選択してください。プログラムは指値注文の種類を自動的に検出し、「オープンで」フィールドの価格に対応するレベルに注文を置き、SLとTPの値を埋めます。

テンプレートとデスクトップの使用

テンプレートは、1つにチャートに入っている全ての設定を保存し、再利用する機能です。インジケータ、描画ツール、色設定などをテンプレートとして保存できます。

テンプレートがあると、テストの設定が簡単になり、テストをしやすくなります。チャート上で全ての設定をした後に、テンプレートとして保存できます。手順は次の通り:

1. チャートタブをクリックします。
2. チャート・テンプレート→テンプレートを保存。



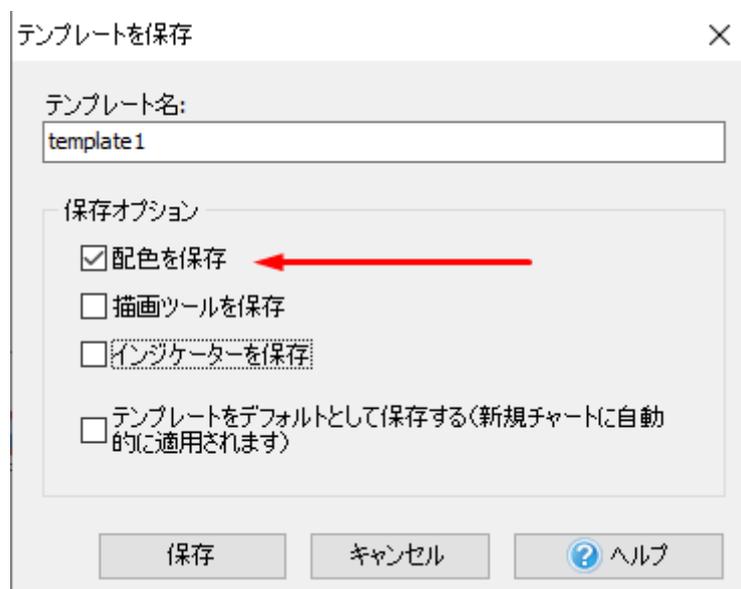
3. テンプレート名を記入し、保存したいオプションにチェックを入れます。

保存オプション

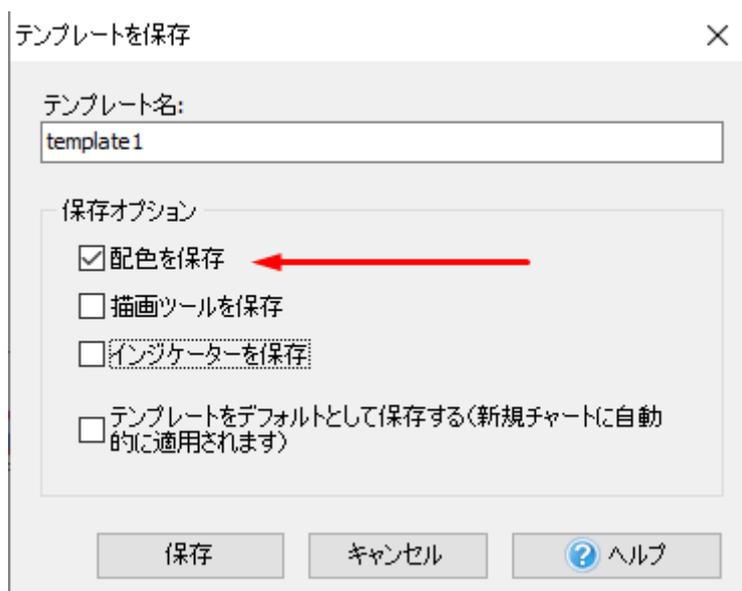
-配色を保存: 現在のチャートのメイン配色と追加の配色を保存します。

-描画ツールを保存: チャートに描いたラインや形などを保存します。

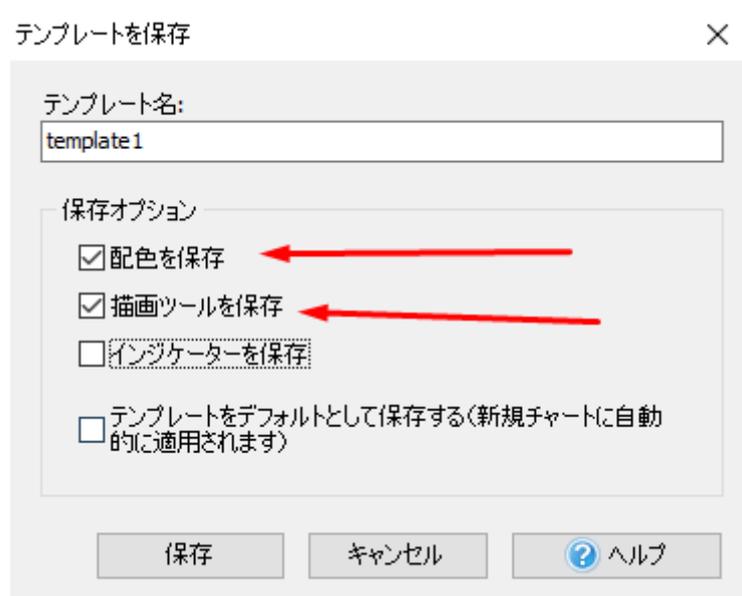
-インジケータを保存: チャートへ入れたインジケータを保存します。



'->チャート、バー、グリッドなどの色を保存します。（色設定の保存だけで、インジケータはチャートに表示されません）

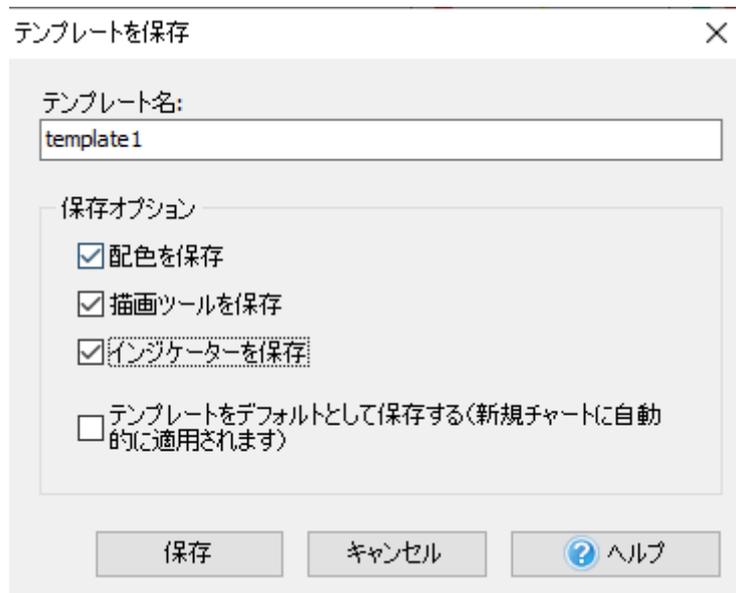


'-> 現在のチャートに入っているすべてのインジケータを保存します。



配色以外に、ライン、フィボナッチツール、図形、チャネル、テキストラベルなどの描画されたものを全て保存します。

注意:（上記のように） unnecessary 保存内容にチェックをはずすことができますし、初期設定のままにすることもできます。



テンプレートを保存

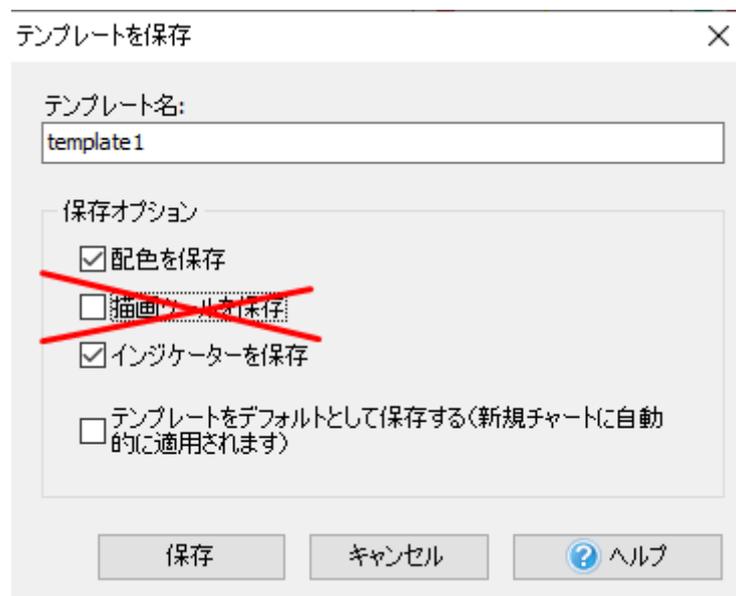
テンプレート名:
template1

保存オプション

- 配色を保存
- 描画ツールを保存
- インジケータを保存
- テンプレートをデフォルトとして保存する(新規チャートに自動的に適用されます)

保存 キャンセル ヘルプ

もしデフォルトのテンプレートを使いたい場合、デフォルトのテンプレートを保存オプションを✓チェックしてください。この場合、保存したテンプレートがすべての新チャートに適用されます。



テンプレートを保存

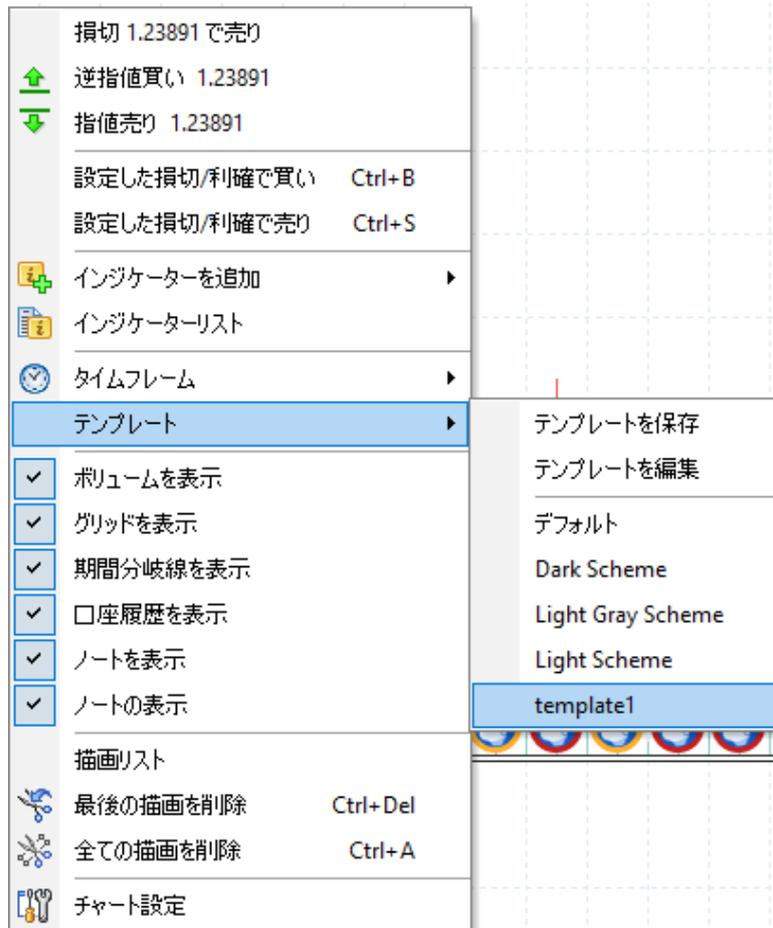
テンプレート名:
template1

保存オプション

- 配色を保存
- 描画ツールを保存
- インジケータを保存
- テンプレートをデフォルトとして保存する(新規チャートに自動的に適用されます)

保存 キャンセル ヘルプ

テンプレートを適用する場合、マウスの右クリックでチャート→テンプレート→<テンプレート名>、またはチャートタブを使い、チャート・テンプレートメニュー→<テンプレート名>で適用してください。

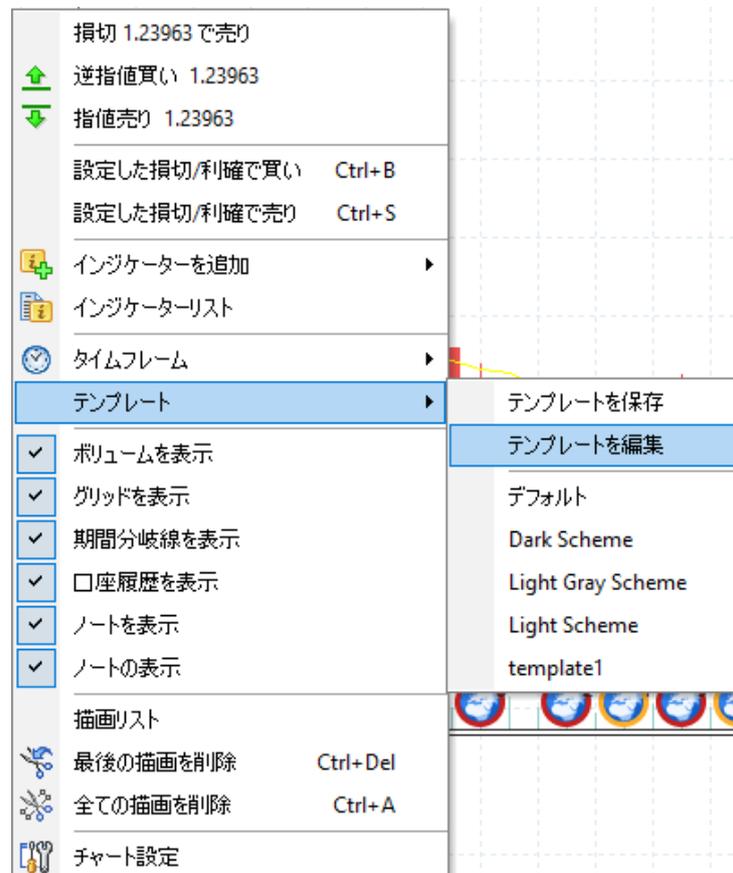


注意：テンプレートの内容に沿い、チャートに変更が加えられます。テンプレートで設定したタイムシフトも復元されます。

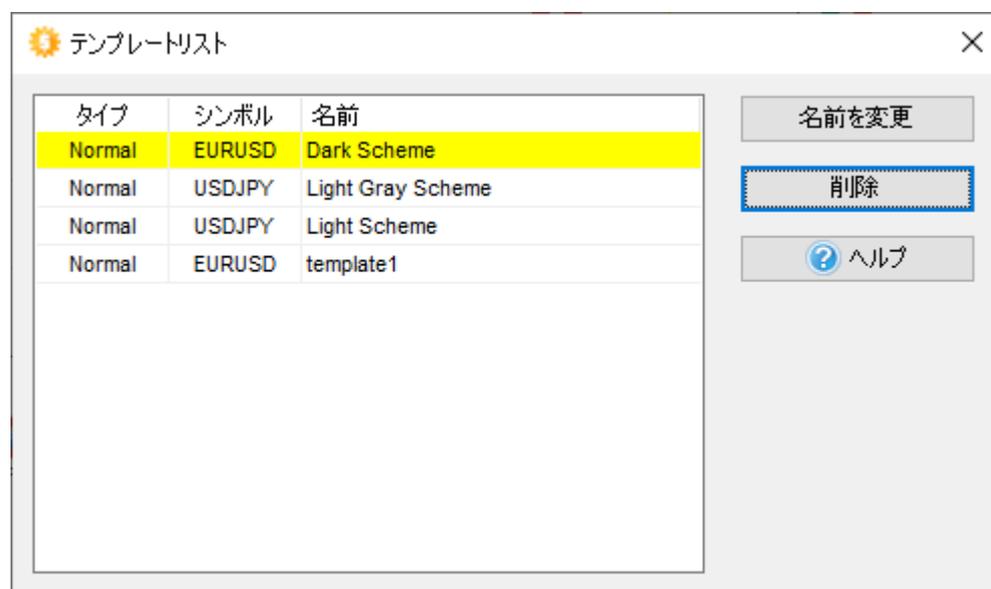
そのため、テンプレートは、特定の時間足に入れた時間足やインジケータなど、完全な状態でチャートへ復元されます。

テンプレートの名前の変更や削除方法は下記になります。

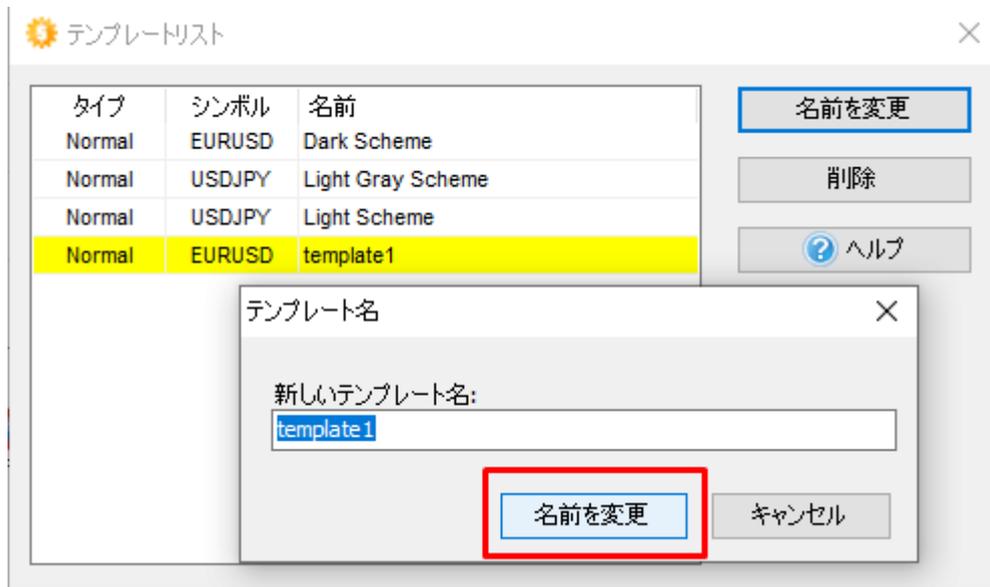
1. チャート上で右クリックをします。
2. **チャート・テンプレート**を選択→**テンプレート編集**:



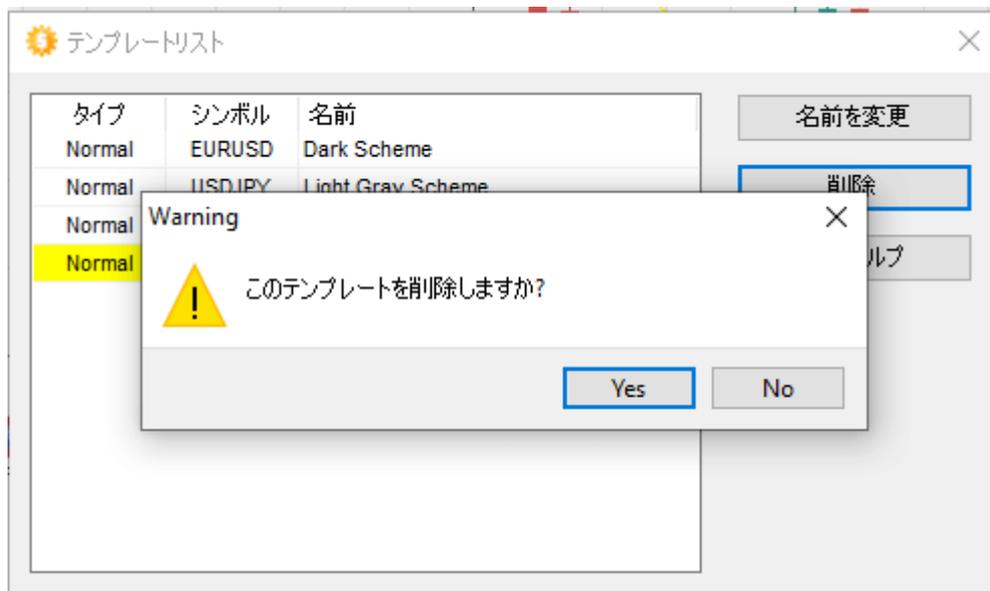
3. テンプレートのリストが表示されます。リストからテンプレートを選択します。



4. "名前を変更"ボタンをクリックし、変更を行います。



テンプレートを削除したいときには、"削除"をクリックします。



あなたのテンプレートを確認するには、マウス右クリック→テンプレートメニュー:



テンプレート --> デフォルトをクリックすると、デフォルト設定のチャートが表示されます。

テンプレートを他のPCへ移行させたいときは、PCの中のForex TesterフォルダーForex Tester (C:\ForexTester folder

)へ行き、Templatesフォルダーを選択し、コピーを行い、保存してください。このフォルダーにテンプレートのファイルが入っています。

Forex

Testerプログラムは、チャート、インディケータ、およびグラフィックツールを単一のファイルとして保存してから、このファイルを再度ロードして必要な設定をすべて復元することを可能にします。

たとえば、プログラムに4つのチャートを追加し、これらのチャートにインジケータとグラフィカルツールを追加してから、それらをデスクトップとしてローカルディスクに保存することができます。

メイン画面→チャートタブ・メニューでメイン画面に保存



Forex Tester 5 [Sample project] - [EURUSD, H4]

ホーム 注文 **チャート** データ ストラテジー ウィンドウ 設定 学習 ストア ヘルプ

更新 新規チャート レンジバー 連行足バー 利確チャート

チャート追加 チャートモード チャートビュー テンプレート

メイン画面 グラフィック インジケータ

メイン画面 クラフィック・エレメント インジケータリスト

統計

パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	29
経過月	0.99
トレード:	
合計トレード:	0
勝ちトレード:	0
負けトレード:	0
連続勝ちトレード:	0

EURUSD, H4, セル: 400, スケール: 100 %

↑ デスクトップをロード
📁 デスクトップを保存
🔄 デフォルトのデスクトップに戻す

その後、保存したデスクトップの名前を入力して、デスクトップを保存するフォルダを選択する必要があります。

デスクトップファイルの拡張子は.dskです。

メイン画面→チャートタブのメイン画面を起動



Forex Tester 5 [Sample project] - [EURUSD, H4]

ホーム 注文 **チャート** データ ストラテジー ウィンドウ 設定 学習 ストア ヘルプ

更新 新規チャート レンジバー 連行足バー 利確チャート

チャート追加 チャートモード チャートビュー テンプレート

メイン画面 グラフィック インジケータ

メイン画面 クラフィック・エレメント インジケータリスト

統計

パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	29
経過月	0.99
トレード:	
合計トレード:	0
勝ちトレード:	0
負けトレード:	0
連続勝ちトレード:	0
連続負けトレード:	0
トレード/日	0.00
トレード/月	0
勝ちトレード/月	0

EURUSD, H4, セル: 400, スケール: 100 %

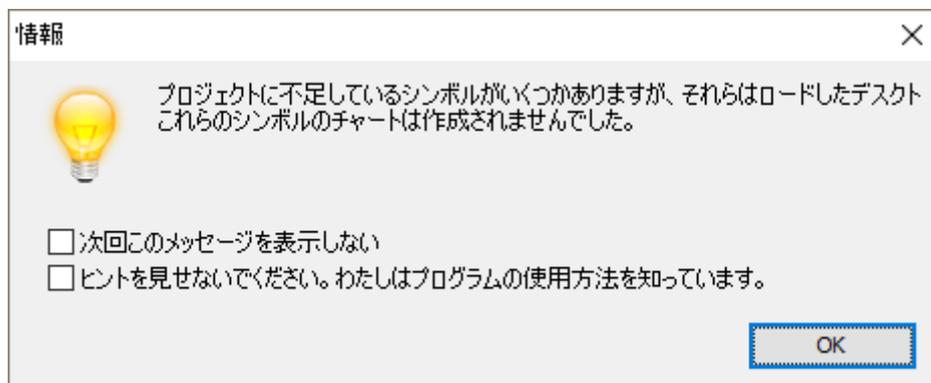
📁 テンプレートを保存
⚙️ テンプレートを編集

default
 Dark Scheme
 Light Gray Scheme
 Light Scheme
 template1

デスクトップは最初に保存された通貨ペアにのみ適用されます。

デスクトップを特定の通貨ペアで保存してから、プロジェクトの作成時に新しい通貨ペアを選択した場合 -

そのデスクトップは適用されません。プログラムはメッセージでそのことについてあなたに警告するでしょう、しかし、あなたは「このメッセージを次から表示しない」のボックスをチェックすることでオフにすることができます。



メイン画面をデフォルトに戻したい場合、メイン画面を選択→メイン画面をデフォルトに戻す。重要！この削除を行う際には、チャートのグラフィック表示設定をチャート・テンプレート→チャートタブのメニューでテンプレートを保存することを推奨します。

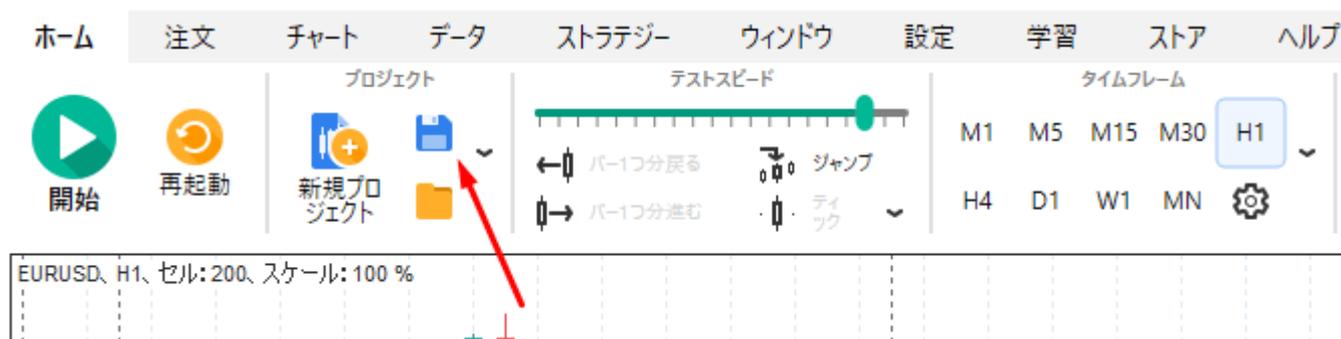
プロジェクト

プロジェクトは、バックテストの全ての状態を保存するファイルです。

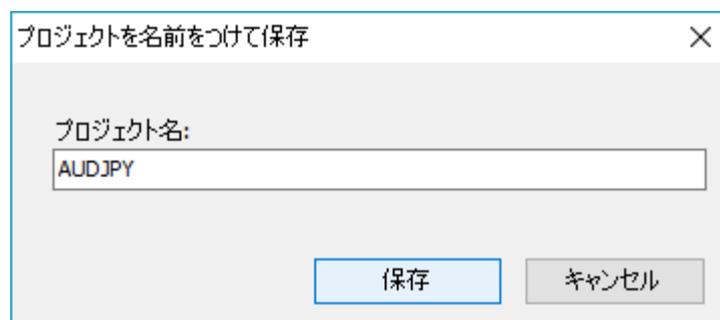
プロジェクトは、注文内容、表示したチャート、チャートへ入れたインジケータを保存します。

プロジェクトを開くと、保存したときのままの状態を再構築します。

便利でカンタンに現在のプロジェクトを保存する方法:ホームタブ⇒プロジェクトを保存ボタンをクリックします。



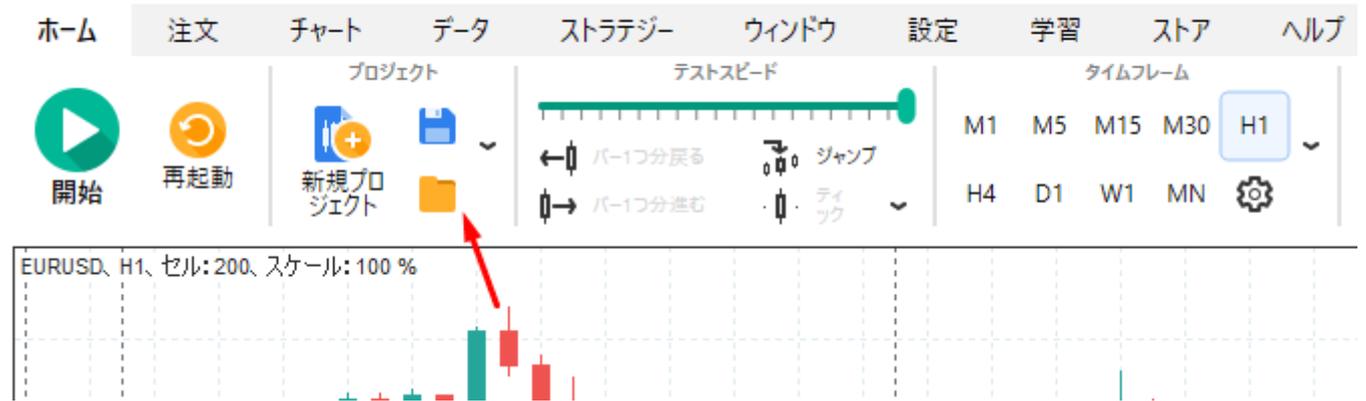
プロジェクト名を入れて保存してください。



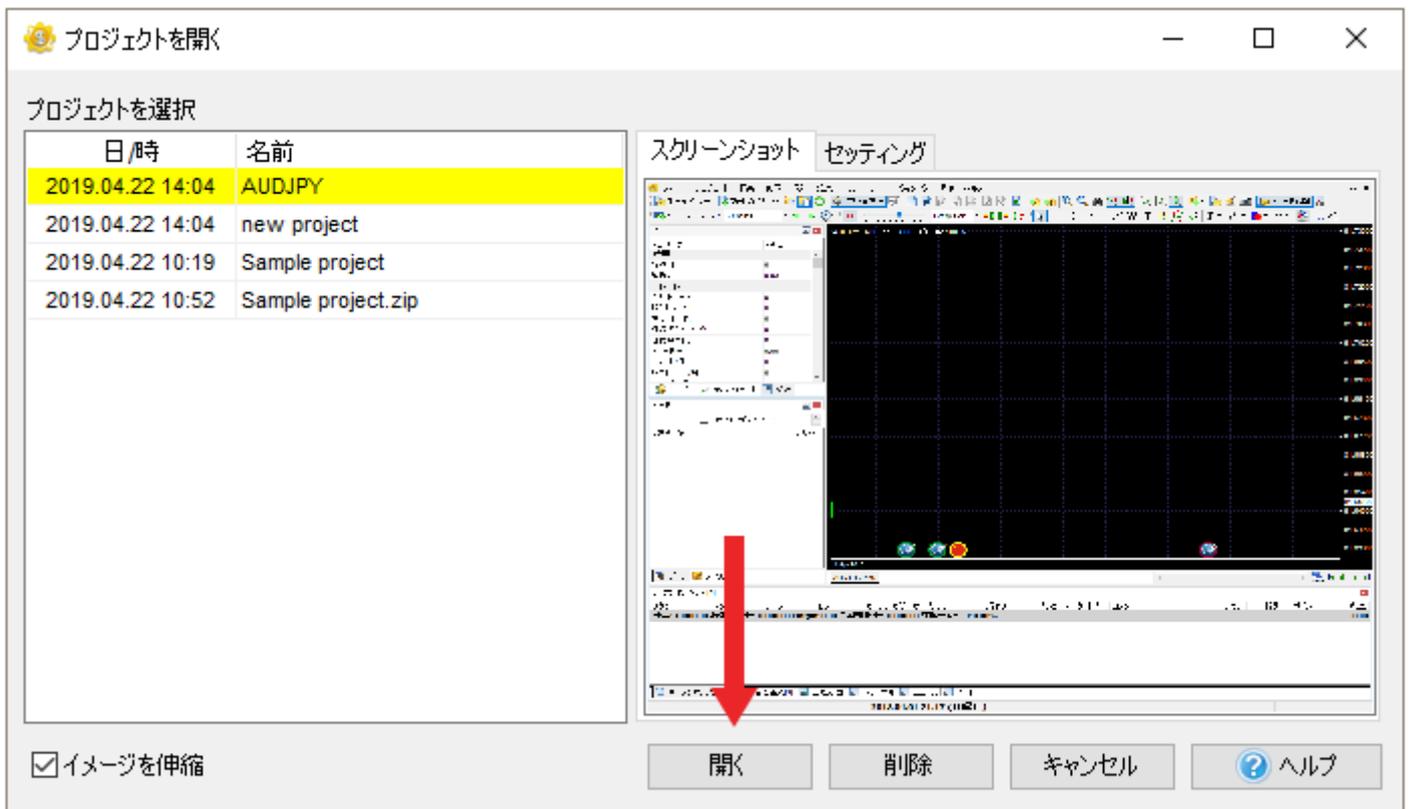
プロジェクト名がForex Testerの一番左上に括弧がついて表示されます。



保存したプロジェクトを再開する時には、"ホームタブのプロジェクトを開くボタンをクリックします"。



保存されたプロジェクト名が、ウィンドウの中でリストになっています。プロジェクトを選択し、"開く"をクリックしてください。



バックテスト中に、他のプロジェクト名として保存することができます。トレード戦略をバックテスト中に変えてたいので、現在までの状態を保存したいときなどに役立ちます。

プロジェクトを使うと時間の節約になります。バックテスト状態を保存し、いつでも好きなときに戻ってきて、保存した時点からトレードを再開できます。

とても便利な機能で、トレードを止めたいところや気になる箇所でも保存ができます。

現在のプロジェクトを開始するにはプロジェクトを初めからボタンをクリックしてください。

これを行うには、プロジェクトを再開をクリックしてください。



保存したプロジェクトを開始するには、ホーム(Home)タブ⇒プロジェクトを開始ボタンでプロジェクトを呼び出します。

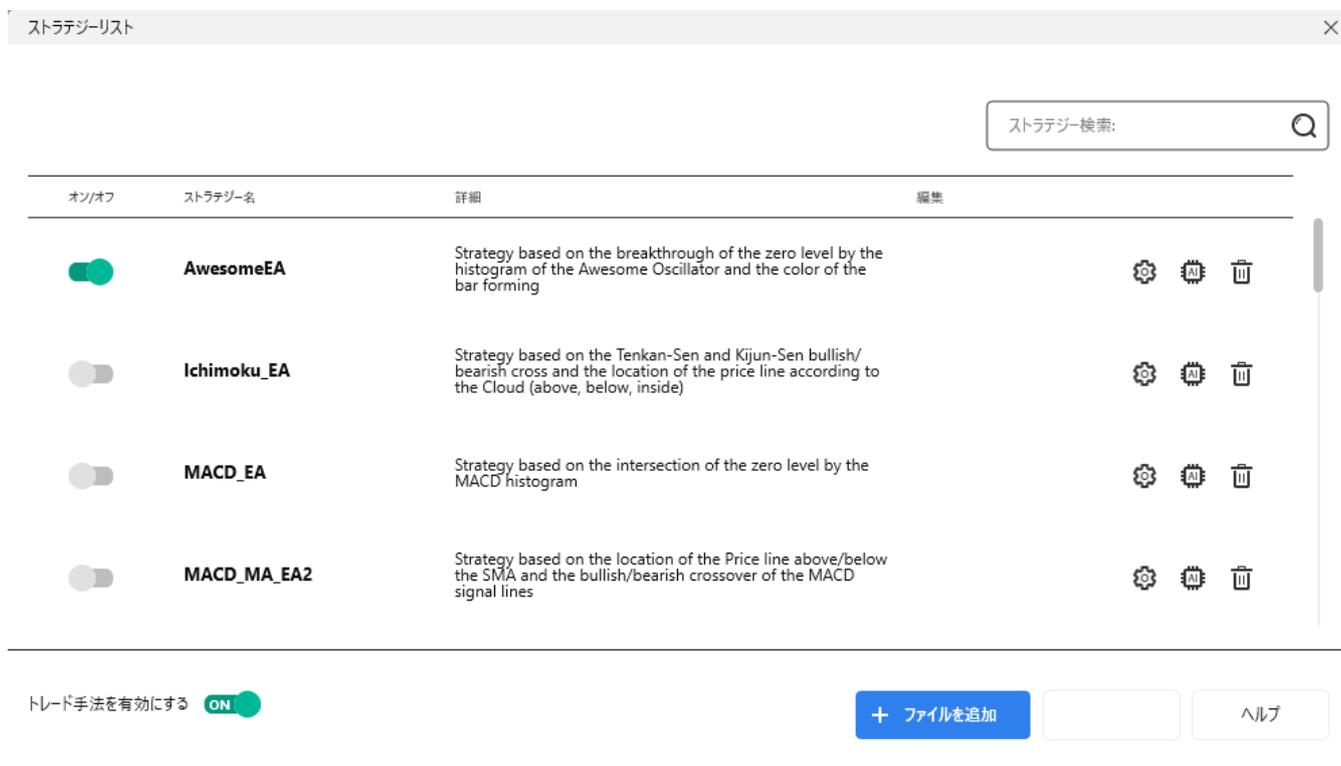
この操作により、現在のトレード内容とアカウント履歴がすべて削除されます。
テストが再開されたら、[テストを開始]ボタンをクリックしてください。

エキスパートアドバイザー

エキスパートアドバイザーは、トレード戦略をベースに、自動で売買を行うプログラムです。フォレックスステスターにプレ・インストールされたEAをバックテストするには、ストラテジータブのストラテジーリストボタンをクリックしてください。



次のウィンドウが表示されます



ストラテジーの実行がオンになっていることを確認ください。ツールバーにある"ストラテジー注文の実行/解除"ボタンをオンにしてください。



参考として、“Awesome Expert Adviser”のEAを動かす方法を紹介します。

1. ツールバー→ストラテジーリスト→AwesomeEA のスイッチを有効にします。



オン/オフ	ストラテジー名	詳細	編集
<input checked="" type="checkbox"/>	AwesomeEA	Strategy based on the breakthrough of the zero level by the histogram of the Awesome Oscillator and the color of the bar forming	
<input type="checkbox"/>	Ichimoku_EA	Strategy based on the Tenkan-Sen and Kijun-Sen bullish/bearish cross and the location of the price line according to the Cloud (above, below, inside)	
<input type="checkbox"/>	MACD_EA	Strategy based on the intersection of the zero level by the MACD histogram	
<input type="checkbox"/>	MACD_MA_EA2	Strategy based on the location of the Price line above/below the SMA and the bullish/bearish crossover of the MACD signal lines	

トレード手法を有効にする ON

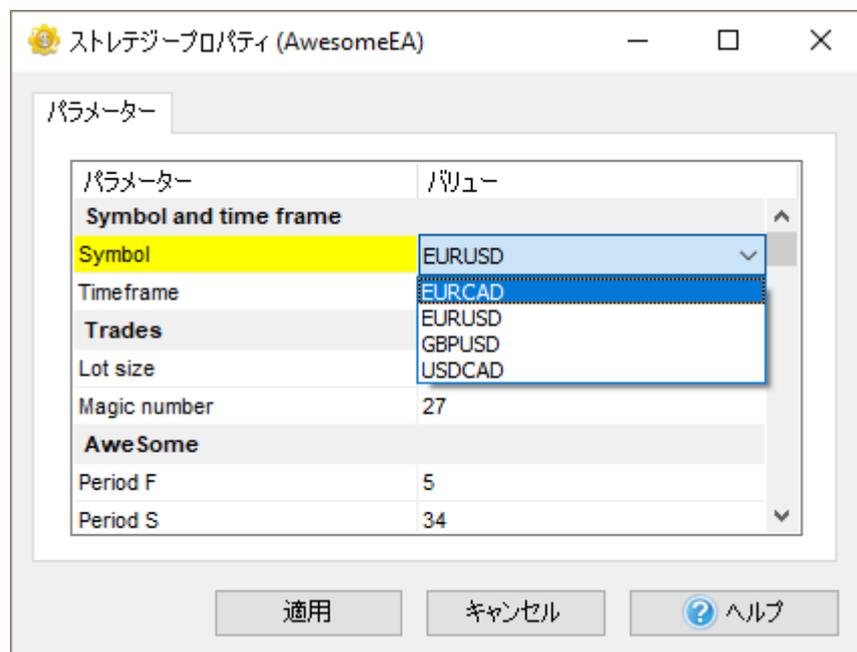
+ ファイルを追加

ヘルプ

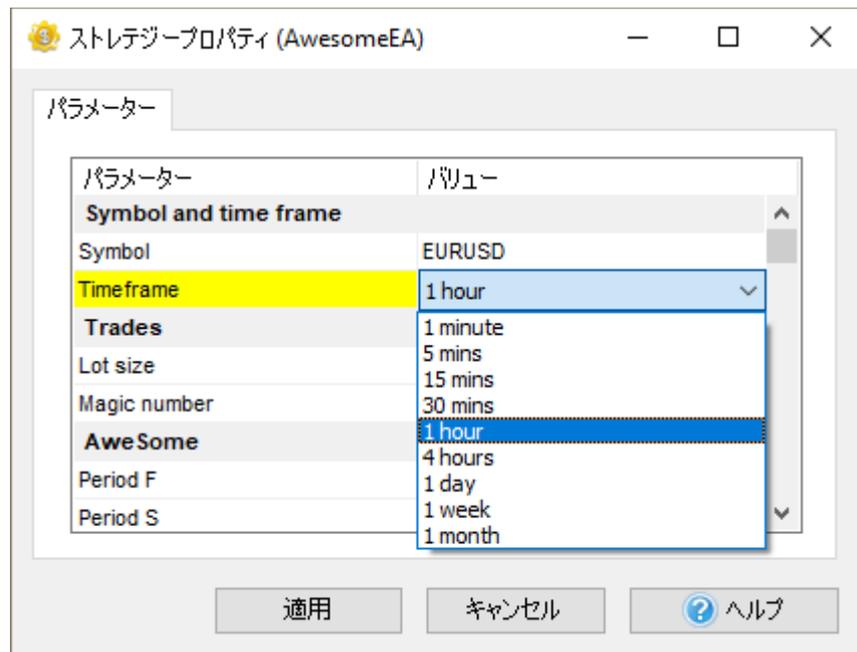
2. ストラテジー名をダブルクリック、またはギアボタン→資産画面が表示されます。



3. シンボルをダブルクリックして、通貨ペアをドロップダウンメニューから選びます。テストをしたい通貨ペア名がない場合は、"[データセンター](#)"からテストをしたい通貨ペアのデータを取得してください。



4. テストをしたい時間足を選択してください。

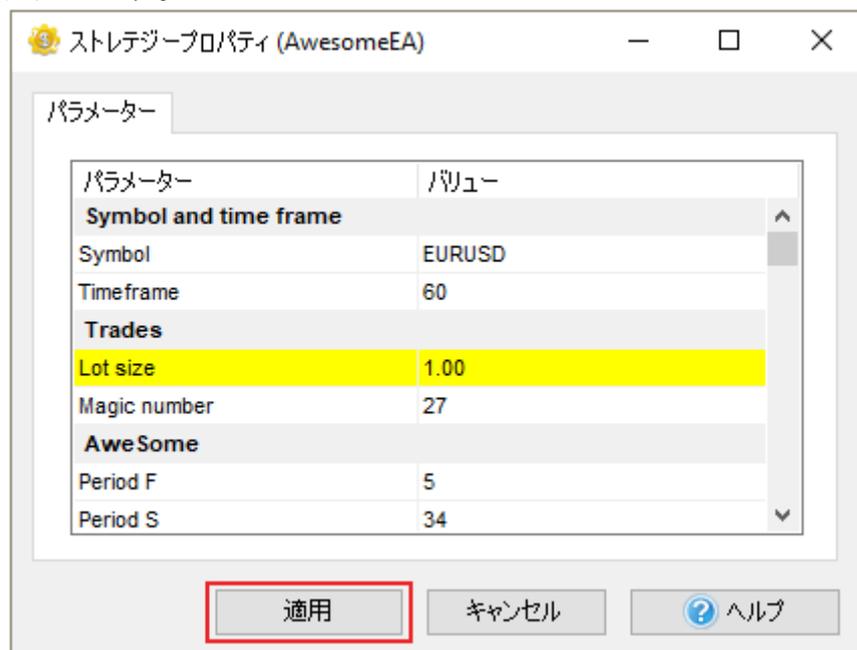


5. ロットサイズを設定

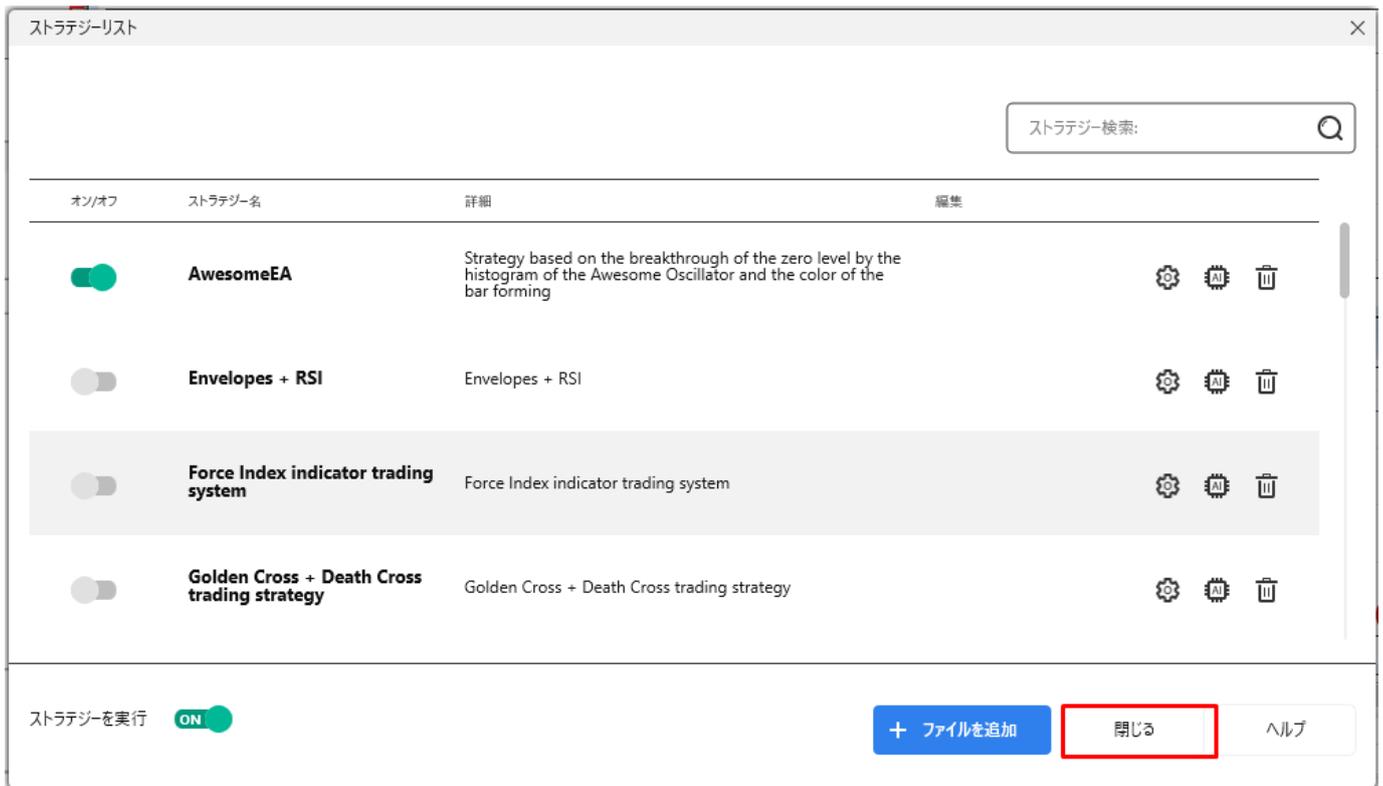
6. 移動平均の「速い」もしくは「遅い」期間を選択

7. 適用する移動平均の種類と価格を選択

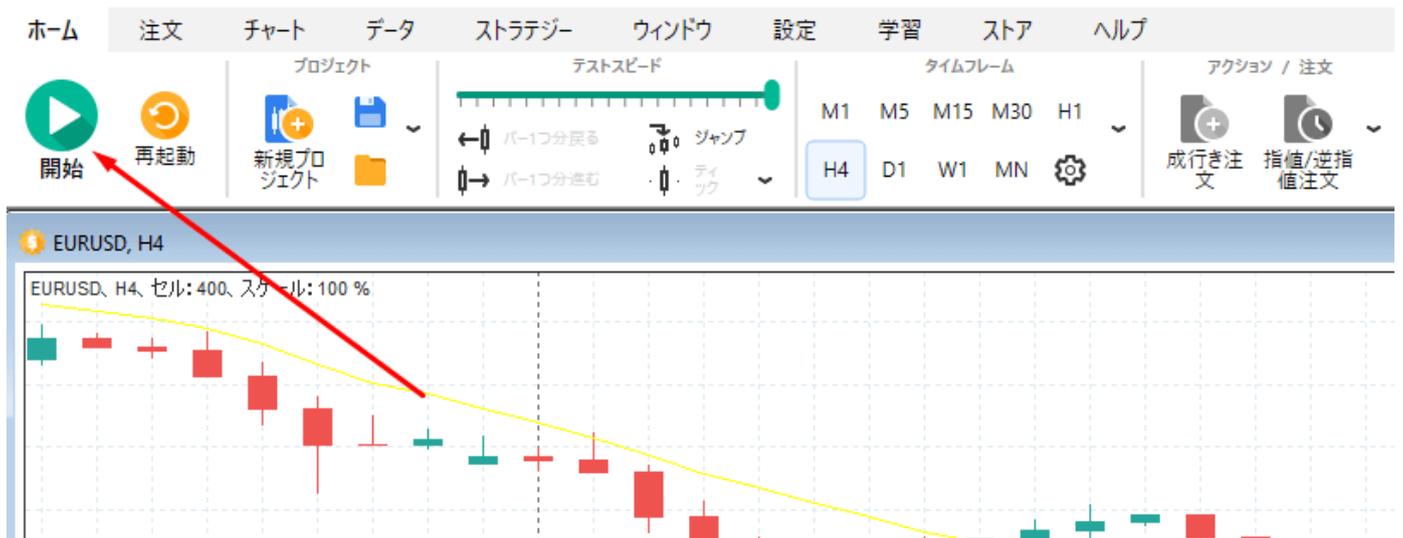
8. "適用"をクリックします。



9. "閉じる"をクリックします。



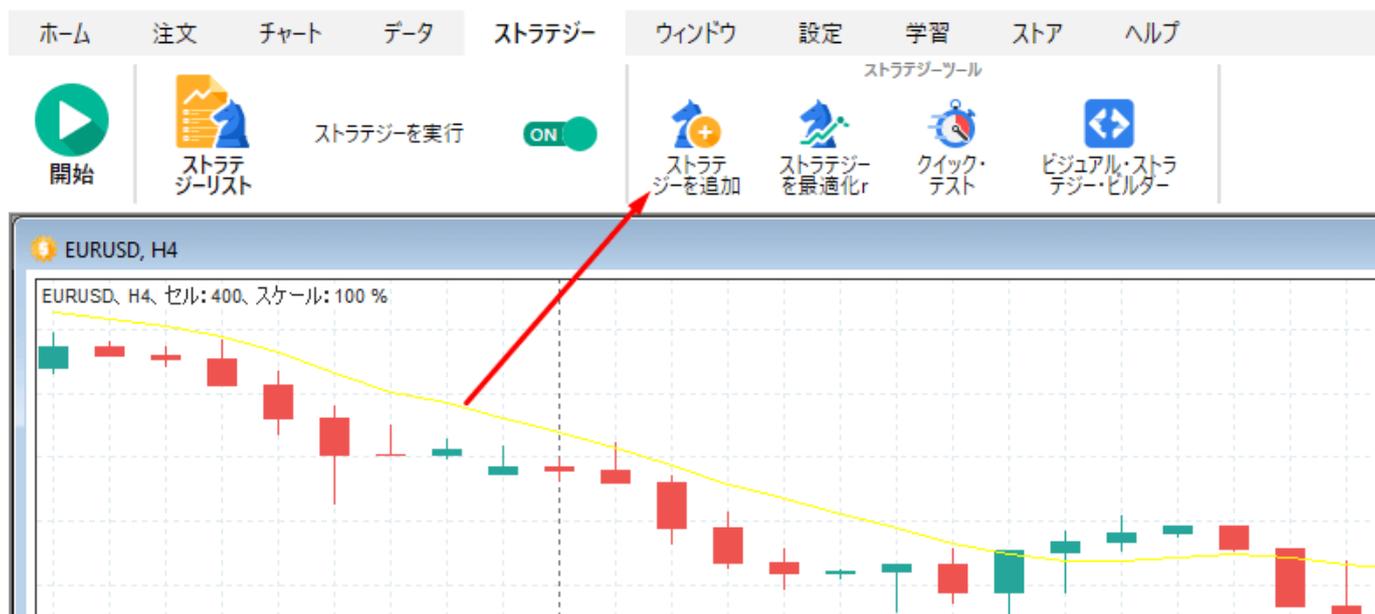
10. "開始"ボタンをクリックします。



Forex Testerは、プログラミングされたトレードルールに沿って、自動で売買を繰り返します。



.dll拡張子を持つカスタムEAファイルを追加するには、**ストラテジータブ**→**ストラテジー**を追加ボタンをクリックしてください。



統計情報

ストラテジー結果の統計情報は、テスト中、テスト後に表示されます。
"統計"ウィンドウには重要な項目が表示されます。

- 合計トレード回数、勝ちトレード回数、負けトレード回数
- 勝ちトレードの最大利益、負けトレードの最大損失
- 利益合計
- 1ヶ月当たりの利益
- 勝ちトレードと負けトレードの平均
- 最大ドローダウン
- その他いろいろ

パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	10
経過月	0.34
トレード:	
合計トレード:	12
勝ちトレード:	6
負けトレード:	6
連続勝ちトレード:	5
連続負けトレード:	3
トレード/日	1.15
トレード/月	35
勝ちトレード/月	18
負けトレード/月	18
1トレードの最大利益	1637.05
1トレードの最大損失	1206.25
収益:	
総利益	385.51
利益計	2351.10
損失計	1965.59
利益/月	1126.47
平均利益	391.85
平均損失	327.60
最大ドローダウン	4650.57
プロフィットファクター	1.20
利率, %	3.86
その他,統計:	
最大ロット	7.00
レステレージョンファクター	0.08
リライアビリティファクター	0.24
勝率, %	50
負け率, %	50

シンボル | ティックチャート | 統計

トレードストラテジーを分析するため、利益チャートを追加するには、チャートタブの利益チャートボタンをクリック

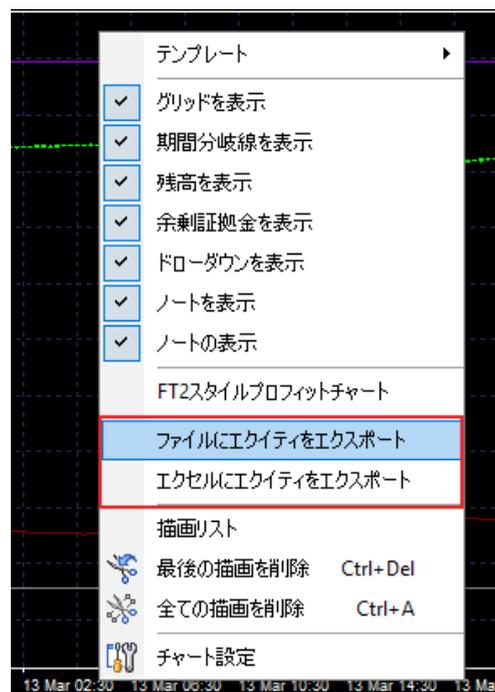
プロフィットチャートは独立したチャートで3つのラインとロウソク足で構成されています。

1. バランスラインは緑の線で、口座資金の変化を表示します。
2. マージンラインはグレーです。
3. ドローダウンラインは赤色です。
4. 利益チャートは、利益がどのように変化したか、ヴィジュアルでわかるようにロウソク足で表示されます。



残高と有効資産の主な違いは、残高のラインは取引が終了した時にのみ反映されるのに対し、有効資産のラインは開始した取引の口座内のすべての変化を表示することです。

利益チャートをファイルやエクセルにエクスポートして、さらに分析することができます。チャートの任意の場所で右クリックし、「純資産をファイル/エクセルにエクスポート」を選択するだけです。



バランスと資産の違いですが、バランスラインはトレードが決済されたときに変更されますが、資産ラインは含み損/含み益の状態も反映して描かれます。



統計ウィンドウを無効にするには、ウィンドウメニューで統計をクリック [損益]の行の[アカウント履歴]タブで、損益をポップスで確認できます。

フィルターを非表示

日付毎に表示: 全ての日付 | シンボル: EURUSD | タイプ: 全て | 利益タイプ: 全て | 適用 | クリア

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済ブラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益
15	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 06:00	1.22433	0.00000	0.00000	2018.01.17 18:01	1.22511		0.00	-0.05	-78	-0.83
16	eurusd	buy	0.01	2018.01.17 18:01	1.22511	0.00000	0.00000	2018.01.17 21:00	1.22123		0.00	-0.05	-388	-3.93
17	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 21:00	1.22123	0.00000	0.00000	2018.01.18 10:00	1.22171		0.00	-0.05	-48	-0.53
利益 損失: 13.25 (1411 points) デモ口座: 10000.00 出金 0.00													210	10013.25

2018.01.19 12:29 (金曜日)

トレード分析をより便利にするために、さまざまなフィルタを使用できます。
“フィルタを表示”リンクをクリックしてください。

口座履歴

フィルターを表示 | フィルター適用なし

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済ブラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益
3	audjpy	sell	0.01	2018.04.06 01:00	82.28100	0.00000	0.00000	2018.04.06 04:00	82.33900		0.00	0.00	-5800	-0.06
4	audjpy	buy	0.01	2018.04.06 07:00	82.38100	0.00000	0.00000	2018.04.06 13:00	82.46100		0.00	0.00	8000	0.09
5	audjpy	sell	0.01	2018.04.06 16:00	82.23900	0.00000	0.00000	2018.04.08 23:00	82.06100		0.00	0.00	17800	0.19
6	audjpy	buy	0.01	2018.04.09 07:00	82.37900	0.00000	0.00000	2018.04.09 08:00	82.16500		0.00	0.00	-21400	-0.23
利益 損失: 0.20 (18300 points) デモ口座: 10000.00 出金 0.00													10000.20	

2018.04.09 10:59 (月曜日)

以下のいずれかの項目でフィルタを適用できます。

1. 日付フィルター - 発注、決済、発注と決済、発注または決済の日付で注文を表示します。
2. シンボル - 選択したシンボル（銘柄）だけを表示します
3. タイプ - 買いまたは売りまたはすべての注文を表示
4. 利益チャートは、ローソク足の組合せがどのようにエクイティー（先物口座の価値）が刻々と変化するのかをリアルに視覚的に描き出します。

次に、[適用]をクリックして値をフィルタ処理するか、[クリア]をクリックしてフィルタをリセットします。

フィルターを非表示															
日付毎に表示		全ての日付		シンボル:	EURUSD	タイプ:	全て	利益タイプ	全て	適用	クリア				
チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	決済時間	決済プラ...	コメント	スワップ	報酬	ポイント	利益	
15	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 06:00	1.22433	0.00000	0.00000	2018.01.17 18:01	1.22511		0.00	-0.05	-78	-0.83 ^	
16	eurusd	buy	0.01	2018.01.17 18:01	1.22511	0.00000	0.00000	2018.01.17 21:00	1.22123		0.00	-0.05	-388	-3.93	
17	eurusd	sell	0.01	2018.01.17 21:00	1.22123	0.00000	0.00000	2018.01.18 10:00	1.22171		0.00	-0.05	-48	-0.53	
利益/損失: 13.25 (1411 points) デボジット: 10000.00 出金 0.00													210	10013.25	
2018.01.19 12:29 (金曜日)															

統計ウィンドウを消したいときは、"表示 → パネルを表示 →> 統計"をオフにしてください。

最適化

フォレックステスター5は、AIベースのアルゴリズムを用いたストラテジー最適化ツール機能から始めます。

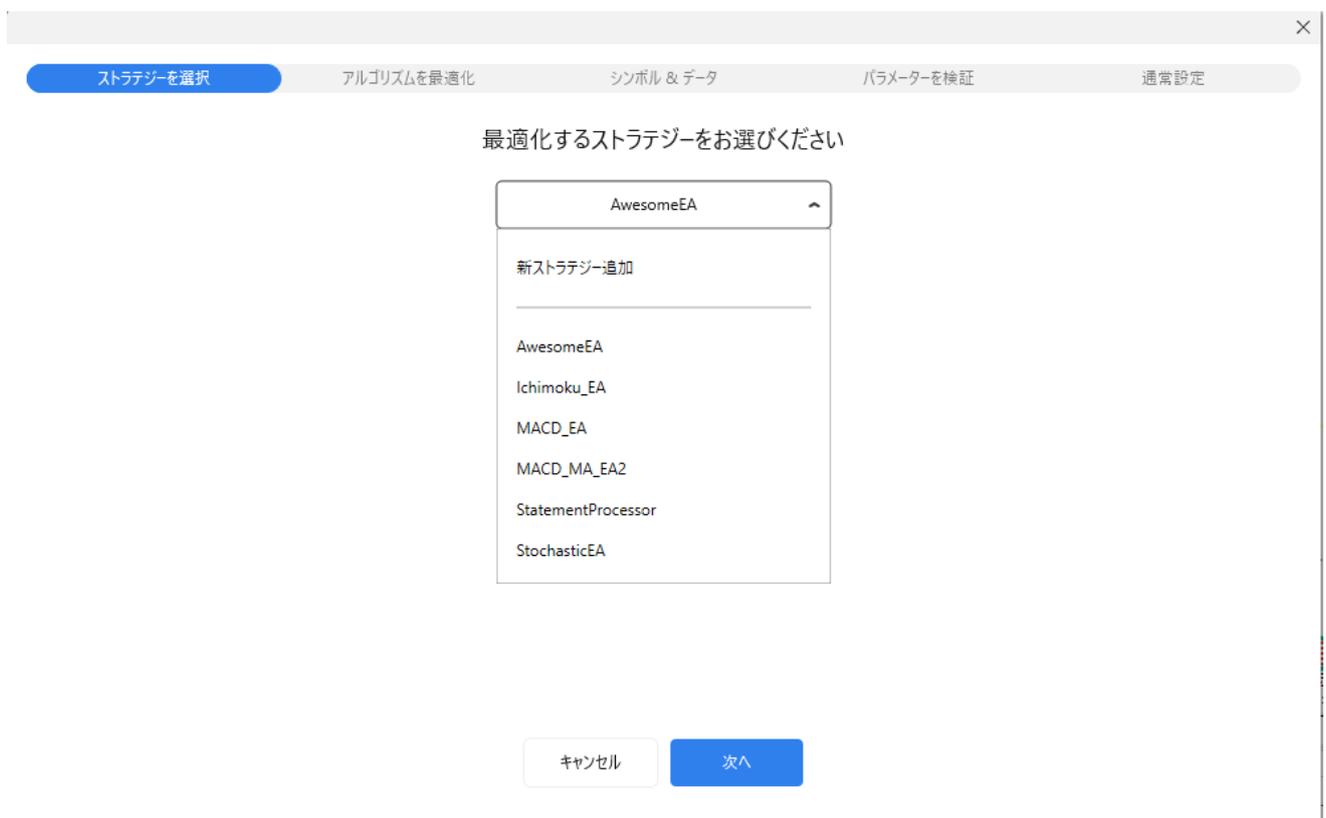
この機能は、自動(エキスパートの)ストラテジーで最善の利益を得るのに最適なパラメーターの選択を可能にします。

ストラテジータブで、ストラテジー最適化ツールを探します。該当のボタンをクリックし、ストラテジーを開始します。



最適化する前に、準備と初期設定を行う必要があります。

第一段階では、ストラテジー(EA)をリストから探し出し、カスタマイズしたいストラテジーを**新ストラテジーを追加**メニューのアイテムで選びクリックします。



このガイドでは、AwesomeEAストラテジーを例にしてこのツールの使い方を見て行きましょう。ストラテジーを選んだら、次へボタンをクリックして、次の段階に進みましょう。

第二段階では、最適化するアルゴリズムを選択しましょう。

1. グリッド全体。このアルゴリズムは最もシンプルで、AI手法だけでは十分でないものです。すべてのテストを繰り返し反復し、与えられた一つの通貨ペアのヒストリカルデータであらゆるパラメータを検証します。

より多くの組み合わせ、より多くの反復により、結果を得るまでの時間が多くかかります。
手法の精度は最も高いです - 99%までの精度はあるものの速度は遅いです。
グリッド全体は、データサービス購入者でないすべてのユーザーも利用できます。

- ニューラルネットワークとは、AIベースのアルゴリズムです。
複雑な数学的関数に裏打ちされたこのアルゴリズムを用いれば、高いレベル - およそ~95%の精度で戦略に最適なパラメータを選べます。
最小のデータ・セットでこの精度を引き出せるため、可能な全ての可能性を検証しようとするグリッド全体テストに比べ、10~100倍の高速で結果を得られます。
- XGブースト。AIベースのアルゴリズムです。
最も便利で、パワフルなML技術を用い、並列ツリー・ブースティングで最も有効性の乏しいオプションを可及的速やかにフィルタリングします。
XGブーストはニューラルネットワークと同等の精度の結果(~95%)の結果をロスなしでもたらしめます。

×

戦略を選択 **アルゴリズムを最適化** シンボル & データ パラメータを検証 通常設定

アルゴリズムを最適化

 グリッド全体	 ニューラルネットワーク	 XGBoost
 99%  x1	 95%  x100	 89%  x200

XGBoost

AIベースのXGBoostアルゴリズムは、機械学習アプローチを活用しています。現存する最もパワフルで高度に発達した機械学習メソッドと考えられており、XGBoostは並列ブースティングを行い、不適切なオプションを速やかに排除します。ニューラルネットワークよりもパラメータの取捨選択が早く、結果に対して同程度(95%以上)の正確性を維持します。

戻る 次へ

アルゴリズムを選択したら、次へボタンをクリックしましょう。

第三段階では、シンボルと時間枠を選びます。
アルゴリズム最適化の反復を行うデータの日付を設定する必要があります。

たとえばこんな感じです：

- 1分足データを使用(精度は低いがベーシック・スタンダードデータ購入者に最適)
又は
- ティックデータ付の1分足を使用(精度が高くVIPデータ購入者に推奨)

より高度な設定 ボタンは、特定のパラメータ設定を可能にします：
ティック生成方法と、フローティング・スプレッドの使用です。

OHLCでティックを生成 - この方法を選択すると始値/高値/安値/終値の1-4ティックが一つのバーを生成します。始値＝高値、終値＝安値の場合には、4ティック以下でもバーが生成されます。

ランダム値でティック生成 -

1分のバーの中にあるティックの数がこのバーの値と等しく、ティックは一つのバーからランダムに割り当てられた数から生成します。バックテストの品質向上と速度から言えば当社としては前者を推奨します。

1分足ティックデータのオプションを有効にした場合、フローティングスプレッドを使うのオプションが高度な設定の画面でできます。この機能は、デイトレーダー(時間足で M1, M5, M15, M30, H1)で最も精度の高い検証結果が得られます。

全てのシンボルとデータ品質のパラメータ設定が終了したら、次へボタンをクリックしてください。

第四段階では、ストラテジーのパラメータの最適化ができるよう設定します。

デフォルトでは、全てのパラメータはオフになっており、最適化したい数値をオプションとして設定する必要があると思われるものだけをオプション設定します。

たとえば、ロットサイズのパラメータを有効にしてみましょう。

×

ストラテジーを選択 アルゴリズムを最適化 シンボル & データ **パラメーターを検証** 通常設定

パラメーターを検証

パラメーター	最適化	開始	終了	ステップ
Symbol	最適化 <input type="checkbox"/>	設定値: AUDUSD		
Timeframe	最適化 <input type="checkbox"/>	設定値: 15		
Lot size	最適化 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="0.1"/>	<input type="text" value="0.5"/>	<input type="text" value="0.1"/>
Magic number	最適化 <input type="checkbox"/>	設定値: 27		
Period F	最適化 <input type="checkbox"/>	設定値: 5		
Period S	最適化 <input type="checkbox"/>	設定値: 34		

戻る 組み合わせ数の最大値 1 期待される組み合わせ数 1 予想される期間 - 次へ

自動設定値、最小、最大、段階値のコラムの入力は任意ですが、その場合アルゴリズムはパラメータで裁量選択されます。(自動設定にお任せできない場合)、ご自身で値を入力しましょう。

この例の場合、最適化するロットサイズを下記のパラメータは次の通りです。

最小 = 0.1

最大 = 0.5

段階値 = 0.1

もし自動設定値にリセットしたい場合、キーボードのバックスペースボタンを長押ししたまま画面の空白部分をクリックし、入力したシンボルを削除してください。

最小、最大、段階値の空欄に、上記の数値を入力してください。この欄を空欄にしておくと、アルゴリズムのパラメータの裁量で自動的にロット数が決められます。

もし自動設定にリセットする必要がある場合、キーボードのバックスペースボタンを長押ししたまま画面の空白部分をクリックし、入力したシンボルを削除してください。

すべての最適化への設定が終了したら、次へのボタンを押して継続してください。

ストラテジーを選択
アルゴリズムを最適化
シンボル & データ
パラメーターを検証
通常設定

通常設定

デポジット

10000

基準適用を停止

収益率が基準以下

5000

収益率が基準以上

14000

戻る
組み合わせ数の最大値
1
期待される組み合わせ数
1
予想される期間
-
開始

最適化への最終ステージをはじめるにあたり、入金する有効証拠金(残高)と、最適化を直ちに停止する状況を定義します。残高は、「残高不足」「上限目標値」の二項目を定めてください。取引終了値は、有効証拠金高より少ない/多い数値を入れることが重要です。準備ができたなら、**開始ボタン**を押して、最適化のプロセスを始めます。もしパラメータを変更したい場合、**前に戻るボタン**を使いましょう。

ヒント:

マウスカーソルをステージのヘッダ近くに移動させれば、あなたが設定したパラメーター情報を確認できます。

ストラテジーを選択
アルゴリズムを最適化
シンボル & データ
パラメーターを検証
通常設定

通常設定

デポジット

10000

基準適用を停止

収益率が基準以下

5000

収益率が基準以上

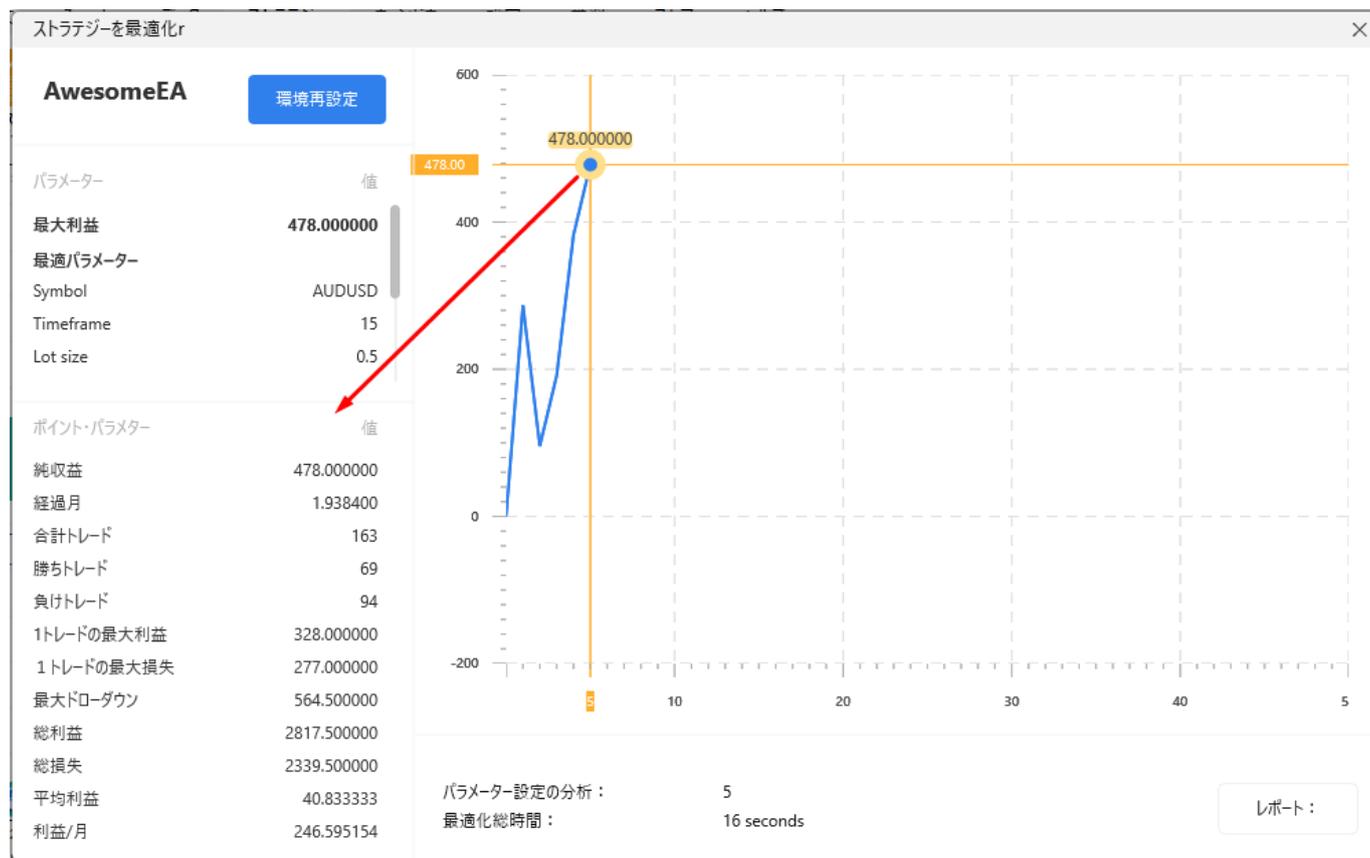
14000

戻る
組み合わせ数の最大値
1
期待される組み合わせ数
1
予想される期間
-
開始

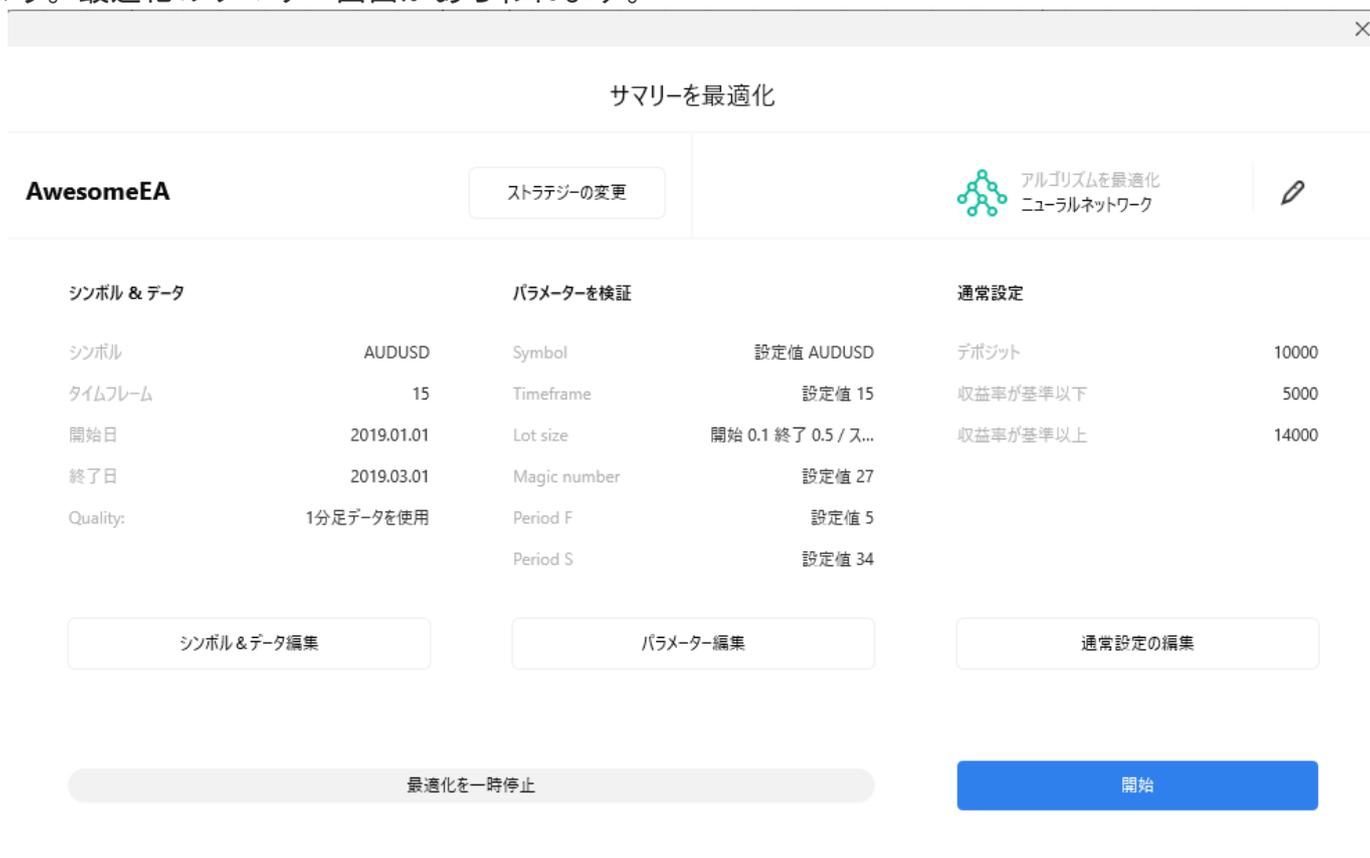
Symbol	設定値	AUDUSD
Timeframe	設定値	15
Lot size	開始	0.1 終了 0.5 / ステップ 0.1
Magic number	設定値	27
Period F	設定値	5
Period S	設定値	34
MA type	設定値	Simple (SMA)
Apply to price	設定値	Close price, Close

検証のプロセスの間、現在の反復とすべてのプロセスでチャートにコントロールポイント(制御点)があらわれるのが分かるでしょう。

ある特定のポイントの詳細情報をみたい時には、マウスカーソルをその上に置いてみます。一時停止ボタンを使い、どのような理由であれ必要な時に最適化プロセスを中断できます。



検証のどの時点であれどれかの設定を変更したい場合、画面左上の再設定ボタンをクリックしましょう。最適化のサマリー画面があらわれます。



重要事項：検証を再スタートすることなく、ストラテジーのパラメーターと通常の設定を変更できます。ストラテジー、シンボルとデータの変更は、再検証を新たにはじめる帰結を招き、それまでの検証結果は失われます。

準備ができれば、最適化を再開ボタンを押して、テストを続けます。

最適化が終了したら、このテストのトレードの総合統計レポートをみて、最大利益を出すベストなパラメータを得られるでしょう。

それぞれの反復の終わりに、最適な設定と利益を画面左上で確認できます。

今回の事例では、ロットサイズ=0.5の時に、最大の利益に達したことが示されました。

